

EzDent-i

ユーザーマニュアル

バージョン : 3.3

- ・ 日本語

ユーザーマニュアル情報

本ユーザーマニュアルは、EzDent-i の使用説明の目的のみで使用されます。本文書は著作権者の許可なく印刷及び複製できません。

(株)Ewoosoft のユーザーマニュアルは、1) インストール及びサーバーのマニュアルと 2) ユーザーマニュアルで 1 セットとなっています。EzDent-i のインストールや機能を把握するために、まず本マニュアルをしっかりと読みいただくことをユーザーに推奨いたします。また、本マニュアルは別途の通知なく変更される場合がございます。製品と一緒に配布されたマニュアルは、製品の最新バージョンの内容が含まれていない場合がございますのでご注意ください。

製品及び本マニュアルに関するご質問は、下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先

- Website: <http://www.ewoosoft.com/>
- TEL: +82-1588-9510

文書情報

- 文書名: EzDent-i ユーザーマニュアル
- 出版日: 2022 年 8 月
- マニュアルバージョン: 3.3.0
- 関連 EzDent-i バージョン: 3.3

カスタマー注意事項

- (株)Ewoosoft は、ユーザーに通知せずに製品の機能と性能を改善する場合がございます。
- 製品の一部機能は特定の国や言語、通貨に対応していない場合がございます。
- (株)Ewoosoft の同意なしで製品を複製及び配布することは違法です。
- ユーザーは本製品をご使用になる前に、本マニュアルを十分に熟知していただきますようお願いいたします。
- EzDent-i の機能を最大限に活用するため、本マニュアルに記載された動作環境を遵守してください。
- 画像や情報などのような患者のデータを転送する場合は、使用する国家の個人情報に関する法律および規制に従う必要があります。

UDI 情報



(01)08800019700357

サイバーセキュリティ

この指針は、ウイルスや悪性コードのようなサイバーセキュリティの危険な要素からプログラムを守る際に役立ちます。

- EzDent-i をインストールしてご使用になる前に、信頼できるウイルス対策ソフトウェアやアンチスパイウェアプログラムでコンピュータシステムを点検してください。
- 適切なウイルス対策ソフトウェアをインストールしアクティブ化してください。
- ウイルス対策ソフトウェアを常に最新バージョンにしてください。
- OS に最新のセキュリティアップデートが適用されているか確認してください。
- コンピュータのファイアウォールを設定してください。
- Windows 10 以上のバージョンでは、Windows ファイアウォールが基本インストール/設定されています。

サイバーセキュリティに関するご質問や、トラブルは下記の連絡先にお問い合わせください。

- カスタマーサポートセンター: +82-1588-9510
- ホームページ: www.ewoosoft.com

EzDent-i の主な機能

EzDent-i は他のモダリティの使用が準備された状態で、次の機能を実行できます。

- 患者情報の管理
- 歯科用 X 線モダリティからの画像の取得・保存
- 画像の取得のための画像処理ツール・ビューアーの提供
- 歯科専用ツールとコンサルト画像による診断機能の向上
- 患者の画像を活用したレポートの作成

EzDent-i は、ネットワーク環境で使用できます。複数台のコンピュータにインストールすると、患者や画像のデータベースを複数の作業空間で共有し、使用できます。



EzDent-i の一部機能は、別途の対応オプション、またはその機能に対応している装置を所有しているユーザーのみ使用できます。以下の機能を使用する場合は、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- PACS 転送
- Insight Navi
- サービスタブ
- Smart Pay
- TRAgent

目次

ユーザーマニュアル情報.....	i
EzDent-iの主な機能.....	iii
目次.....	v
Chapter 1. EzDent-iの基本	13
1. EzDent-iとは?	15
2. 動作環境.....	16
3. EzDent-i使用前の準備事項.....	17
3.1 EzDent-iのインストール.....	17
3.2 EzServerの設定.....	18
3.3 EzDent-iライセンスのアクティブ化.....	19
4. EzDent-iスタートと終了.....	20
5. EzDent-iメインメニュー.....	22
5.1 開く.....	22
5.2 エクスポート.....	23
5.3 CTファイルのエクスポート.....	26
5.4 分析.....	27
5.5 ファイル情報.....	27
5.6 設定.....	29
5.7 情報.....	29
5.8 動画チュートリアル.....	29
5.9 ログアウト.....	30
6. ヘルプ.....	31
Chapter 2. EzDent-iの設定	33
1. 簡単設定.....	35
2. 設定開始.....	36
3. 設定初期化.....	37
4. 環境.....	38
4.1 全般.....	38
4.2 データベース.....	41
4.3 患者.....	42
4.4 リンク/電子メール.....	43
4.5 クリニック情報.....	44

5.	撮影	45
5.1	全般	45
5.2	コンソールプログラム	47
5.3	ディレクトリ	48
5.4	SmartPay	49
6.	ビューアー	50
6.1	全般	50
6.2	Windowing.....	51
7.	測定/注釈	52
7.1	ツール	52
7.2	測定	53
7.3	注釈	53
7.4	プリセットメモ	54
8.	シミュレーション	55
8.1	全般	55
8.2	デフォルトインプラントモデル	56
9.	レポート	57
9.1	全般	57
9.2	テキスト	58
10.	DICOM	59
10.1	DICOMプリント	59
10.2	DICOM転送	60
11.	サービス	61
11.1	全般	61
12.	その他	62
12.1	個人情報の保護	62
Chapter 3. 患者タブ		63
1.	患者タブの画面構成	65
1.1	ワークスペース	65
2.	患者の検索	66
2.1	登録済みの患者の検索	66
2.2	拡張検索(患者)	67
2.3	最近見た患者の検索	67
2.4	医師別担当患者の検索	68
3.	患者編集	69
3.1	新規患者登録	69

3.2	登録済みの患者情報の確認	70
3.3	登録済みの患者情報の変更	71
3.4	登録済みの患者の削除	71
4.	撮影情報のエクスポート	72
5.	患者情報のエクスポート	74
6.	エクスポート	75
7.	データグループ	76
8.	患者画像の分類・管理	78
8.1	患者画像の分類	78
8.2	患者画像の管理	80
9.	ツールの説明	82
9.1	主要ツール確認	82
Chapter 4. 撮影タブ		83
1.	撮影タブの画面構成	85
1.1	ワークスペース	85
2.	口腔外の撮影モダリティから画像取得	86
3.	IOスキャナから画像取得	87
4.	口腔内の撮影モダリティから画像取得	88
4.1	IOセンサー / IOカメラ	88
4.2	TWAIN	91
5.	コンピュータに保存されている画像をEzDent-iに保存	93
6.	ツールの説明	96
6.1	主要ツール確認	96
Chapter 5. ビューアータブ		97
1.	ビューアータブの画面構成	99
1.1	ワークスペース	99
1.2	ツールバー	99
2.	画像調節	101
2.1	画像の明るさの調節	101
2.2	画像のコントラストの調節	102
2.3	画像のシャープ度の調節	103
2.4	画像の白黒反転	103
2.5	フィルム効果適用	104
2.6	画像の初期化	105
2.7	IOセンサーフィルタリング	105

2.8	プレゼンテーションモード	106
3.	レイアウト設定	107
3.1	レイアウト変更	107
3.2	デフォルトレイアウトに設定	109
3.3	お気に入りに追加	109
3.4	お気に入りに追加	109
4.	インプラントシミュレーション	113
4.1	インプラント挿入(オプション:自動/手動)	113
4.2	長さ測定挿入	116
4.3	挿入されたインプラントのコピー・ペースト	117
4.4	インプラント変更	117
4.5	挿入されたインプラント情報の表示	118
4.6	インプラント削除	118
5.	歯のホワイトニングシミュレーション	119
5.1	エリアを使用したホワイトニング効果の適用	119
5.2	ブラシを使用したホワイトニング効果の適用	120
6.	下顎管シミュレーション	121
7.	ユーザーキャリブレーション	122
8.	オーバーレイを含めて画像をエクスポート	125
9.	PACS転送	126
10.	Insight Navi	127
10.1	Insightツールバー	127
10.2	Insight Naviの実行	127
10.3	Insight Naviの構成	128
10.4	Insight Naviの動作	130
10.5	IOセンサー画像での保存	132
10.6	Insight Naviの終了	132
11.	画像情報	133
11.1	画像情報の追加	133
12.	ツールの説明	134
12.1	主要ツール確認	134
12.2	拡張ツール確認	135
Chapter 6. コンサルトタブ		137
1.	コンサルトタブの画面構成	139
1.1	ワークスペース	139
2.	カートの種類と使用法	140

2.1	Favorites	140
2.2	Recent List	140
3.	カート編集	141
3.1	Favoritesにコンサルトコンテンツを追加	141
3.2	Favoriteに追加されているコンサルトコンテンツの削除	142
3.3	よく使用するカテゴリをカートに追加	143
4.	コンサルトコンテンツを検索後に実行	144
5.	カテゴリ編集	146
5.1	カテゴリ追加	146
5.2	カテゴリ名変更	147
5.3	追加したカテゴリの削除	148
5.4	カテゴリにコンテンツ追加	148
5.5	カテゴリにコンテンツフォルダを追加	150
5.6	現在コンサルト中のコンテンツをカテゴリに追加	152
6.	レイアウト変更	153
7.	ツールの説明	154
7.1	主要ツール確認	154
Chapter 7. レポートタブ		155
1.	レポートタブの画面構成	157
1.1	ワークスペース	157
2.	レポート作成	158
2.1	画像挿入	158
2.2	テキスト挿入	160
3.	レポート編集	161
3.1	画像ボックスの挿入	161
3.2	テキストボックスの挿入	161
3.3	レポート用紙の向き変更	162
3.4	レポート用紙のサイズ変更	162
3.5	レポートテンプレートの変更	162
3.6	レポートテンプレートマネージャー	164
3.7	レポートテンプレートの編集	165
4.	位置の移動・サイズ変更	166
4.1	グリッド	166
4.2	ルーラー	166
4.3	すべてのオブジェクトをグループ化	167
5.	レポートの保存・インポート	168

5.1	レポートの保存	168
5.2	レポートのインポート	169
6.	レポートのエクスポート	170
6.1	電子メール送信	170
6.2	エクスポート	171
6.3	レポートの印刷	172
7.	DICOM印刷	174
7.1	DICOM印刷設定	174
7.2	DICOM印刷	177
8.	ツールの説明	178
8.1	主要ツール確認	178
8.2	拡張ツール確認	179
Chapter 8. サービスタブ		181
1.	サービスタブの画面構成	183
1.1	ワークスペース	183
2.	サービスタブスタート	184
3.	注文の作成	185
4.	注文の管理	189
4.1	リストの並び替え	189
4.2	注文状態の確認	189
4.3	注文の確認	189
5.	結果の確認	191
5.1	サービスタブで確認	191
5.2	患者タブで確認	193
Chapter 9. VTFMXLayoutEditorツール		195
1.	VTFMXLayoutEditorの用途	197
2.	VTFMXLayoutEditorの実行	198
3.	FMX追加・変更・削除	199
3.1	新規FMX作成	199
3.2	既存のFMXレイアウトの変更	202
3.3	FMXレイアウト名変更	202
3.4	FMXレイアウトの削除	202
Chapter 10. インプラントデータベースエディタ		203
1.	インプラントデータベースエディタの用途	205
2.	インプラントデータベースエディタの実行	206

3.	インプラントデータベースエディタの機能.....	207
3.1	追加.....	207
3.2	編集.....	209
3.3	削除.....	211
3.4	インポート/ エクスポート	212
3.5	表示/ 非表示	214
Chapter 11.	TRAgent	215
1.	TRAgentの使用	217
1.1	スタート	217
1.2	終了.....	217
1.3	Setting	217

Chapter 1. EzDent-i の基本

1. EzDent-i とは？	15
2. 動作環境	16
3. EzDent-i 使用前の準備事項	17
4. EzDent-i スタートと終了	20
5. EzDent-i メインメニュー	22
6. ヘルプ	31

1. EzDent-iとは？

EzDent-i は、歯科で使用する患者の画像を保存・管理・診断し、画像の取得も可能な Dental Imaging Software です。EzDent-i はユーザーが必要とする様々な画像の管理や処理をサポートします。それだけでなく、EzDent-i の外部から画像を読み込み、保存することができます。

2. 動作環境

- Server PC

	推奨動作環境	必須動作環境
CPU	デュアルコア @3.40GHz	クアッドコア @3.4GHz以上
RAM	4GB	8GB以上
HDD	500GBの空き容量	1TB以上の空き容量
OS	Windows 10	Windows 10または11
ディスプレイ	1280 × 1024	1920 × 1080以上
ネットワーク	100MイーサネットLAN (CAT 5 cable) またはワイヤレスネットワーク802.11n	1GイーサネットLAN (CAT 5E cable)以上 またはワイヤレスネットワーク802.11ac以上

- Client PC

	推奨動作環境	必須動作環境
CPU	デュアルコア @2.7GHz	デュアルコア @3.2GHz以上
RAM	4GB	4GB以上
HDD	11GBの空き容量	15GB以上の空き容量
OS	Windows 10	Windows 10 または11
ディスプレイ	1024 × 768	1920 × 1080以上
ネットワーク	100MイーサネットLAN (CAT 5 cable) またはワイヤレスネットワーク802.11n	1GイーサネットLAN (CAT 5E cable)以上 またはワイヤレスネットワーク802.11ac以上

3. EzDent-i使用前の準備事項



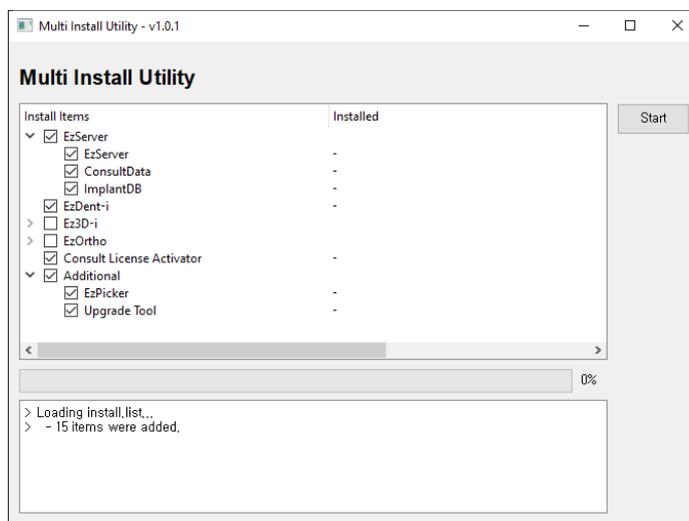
- 製品のインストール及び EzServer の設定に関する詳しい内容は、一緒に提供されている「インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

3.1 EzDent-i のインストール

- Windows OS 環境で EzDent-i サーバー、またはクライアントをインストールするために MultiInstallUtility.exe を実行します。

MultiInstallUtility.exe

- インストールオプションを設定できる Multi Install Utility ウィンドウが表示されます。



EzDent-i v3.3のすべての機能を円滑に使用するには、下記の項目をすべてインストールする必要があります。



- サーバーコンピュータ
 - EzServer v5.2.0以上
 - Consult Data
 - Implant DB
- クライアントコンピュータ
 - EzDent-i



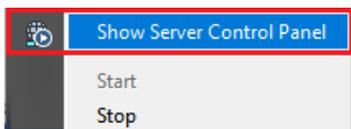
Ewoosoftの統合ログインを使用するにはEwoosoftが提供するカスタムブラウザであるEzWebAgentを含むEzCommonToolsをユーザーのコンピュータにインストールする必要があります。統合ログインを使用する製品を初めてインストールする場合、製品インストール時にEzCommonToolsのインストールが自動で実行されます。

- インストールしようとするすべての項目を選択し、『Start』ボタンをクリックすると選択した製品を順番にインストールします。

3.2 EzServer の設定

Master Adminアカウントを利用してEzServer Web Consoleにログインし、サーバー設定とユーザーアカウントを管理できます。

1. トレイアイコンで Server Control Panel を右クリックすると表示されるコンテキストメニューから『Show Server Control Panel』を選択してください。



2. 『Open Web Console』ボタンをクリックすると EzServer Web Console ウィンドウが表示されます。



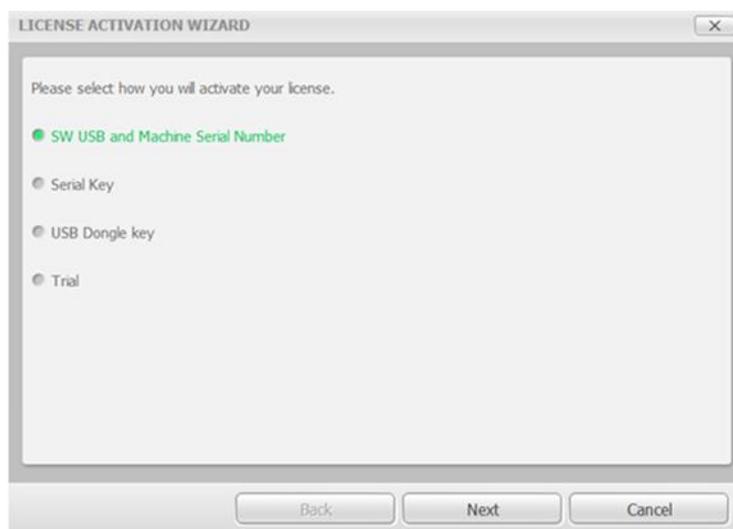
NOTE

- または、デスクトップ画面で EzLauncher を実行した後、EzServer Web Console を選択して進めることもできます。



3.3 EzDent-i ライセンスのアクティブ化

EzDent-iを使用するには、提供されたライセンスキーとユーザー情報を入力して製品をアクティブ化しなければなりません。ライセンスがアクティブ化されていない場合、製品を実行するとライセンスをアクティブ化するためのウィンドウが表示されます。



ライセンスアクティブ化及び非アクティブ化に関する詳しい内容は「インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

4. EzDent-i スタートと終了

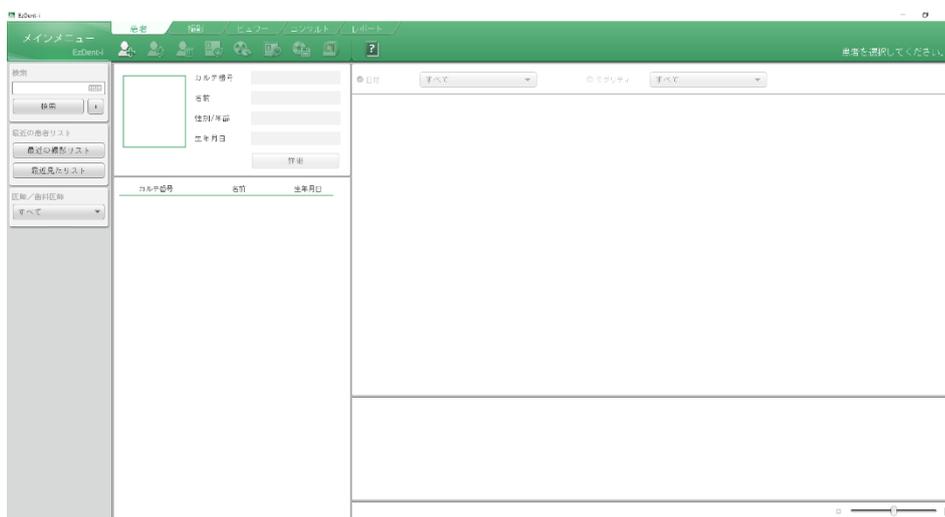
1. デスクトップ画面にある EzDent-i のアイコンをダブルクリックすると、ロード画面が表示され EzDent-i が実行されます。



>> EzDent-i アイコン

>> EzDent-i 実行

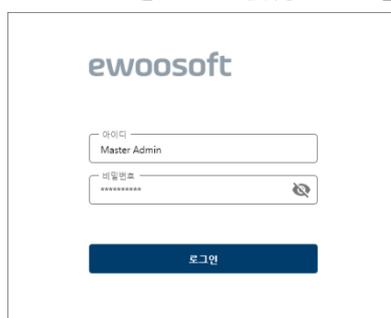
2. EzDent-i が実行され、初期画面が表示されます。



サーバーでログイン機能をアクティブ化した場合、ログインウィンドウが表示されます。ID とパスワードを入力した後、『ログイン』ボタンをクリックすると EzDent-i を使用できます。



NOTE



EzServer Web Console を利用してユーザーアカウントを作成・管理できます。詳しい内容は「Chapter 2. EzDent-i の設定 → 4. 環境 → 4.1. 全般」の EzServer Web Console の項目をご参照ください。

EzDent-i を正常的に実行するためには EzServer の動作が必要です。
EzServer の動作有無はデスクトップ画面からタスクバー右下の Tray Icon から確認できます。



-  EzWebServer Service 動作中
-  EzWebServer Service 未動作

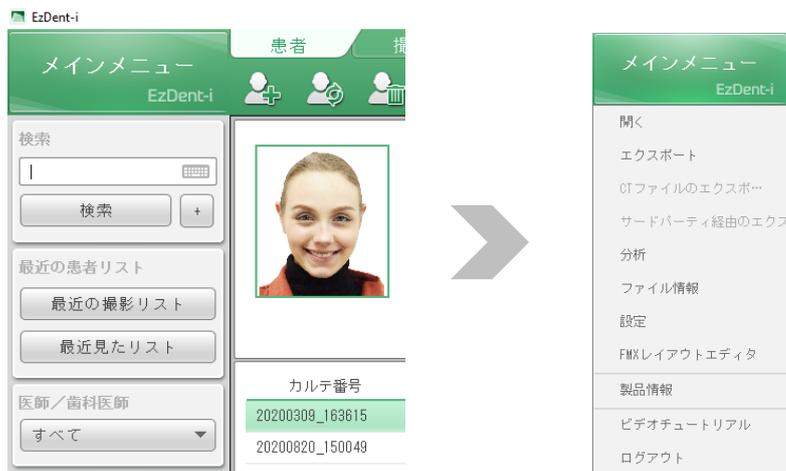
Tray Icon を右クリックして、Server Control Panel を実行したり、または EzWebServer Service を開始/終了したりできます。

3. EzDent-i を終了する時は、右上の終了ボタンをクリックします。



5. EzDent-iメインメニュー

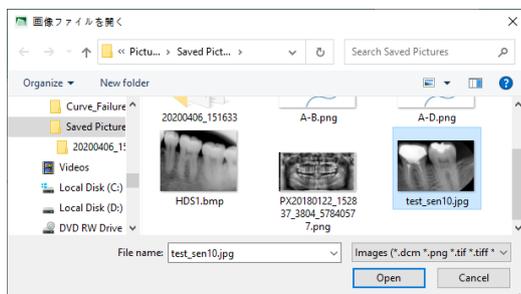
EzDent-i の様々な設定はメインメニューの各項目から設定できます。メインメニューは、開く・エクスポート・CT ファイルエクスポート・ファイル情報・設定などの項目から構成されています。



5.1 開く

ローカルコンピュータに保存された画像を EzDent-i で開いて確認し、保存できます。

1. メインメニューの『開く』メニューをクリックします。『画像ファイルを開く』ウィンドウが表示されます。
2. 希望する画像を選択し、『開く』ボタンをクリックします。



3. 選択した画像がビューアタブの画像エリアに表示されます。



5.2 エクスポート

EzDent-i に保存されている画像を CD/DVD、またはファイル形式で保存し、EzDent-i の外部に保存できます。

1. エクスポートするファイルを選択して、メインメニューの『エクスポート』メニューをクリック、またはツールバーにあるエクスポートアイコン()をクリックします。

- 患者タブの患者画像を右クリックし、『エクスポート』を選択するとメインメニューの『エクスポート』と同じ機能が使用できます。



- 患者タブでは「Ctrl」キー+マウスを左クリックし、複数の 2D 画像を選択し、『エクスポート』することもできます。



- 複数の 2D 画像ファイルをエクスポートする場合、すべて同じファイルフォーマットで保存されます。(サポートファイル形式:オリジナルファイルのフォーマット・BMP・JPG・PNG・TIF)

2. 『エクスポート』ウィンドウが表示されたら、エクスポートするファイルの保存形式を選択します。



- ファイルの種類
 - 『CD/DVD』形式: 画像を CD に書き込みエクスポート
 - 『ローカルディスク』形式: 画像をファイル形式でローカルコンピュータに保存
- その他オプション
 - シンプルビューアー追加: 当該画像に関する患者情報を一緒にエクスポート
 - 画像情報ファイルを追加: 画像に関する情報テキストファイル(.txt)と一緒にエクスポート
 - マルチフレーム画像添付: マルチフレーム画像を含めてエクスポート
- Zip ファイルで圧縮
 - 『Zip ファイルで圧縮』をチェックすると、外部に保存したい画像情報ファイルと画像ファイルを Zip ファイルでまとめて『エクスポート』できます。
 - パスワードを入力すると、圧縮ファイルを暗号化し、守ることができます。
 - パスワードは最大 12 桁まで入力できます。



マルチフレーム画像添付チェックボックスは、マルチフレーム DICOM の画像が含まれた場合にのみアクティブ化されます。



ファイル名の変更

ファイル名をダブルクリックするか、マウスを右クリックして『Rename』を選択し、変更できます。ただし、CT ファイルの場合はファイル名を変更できません。



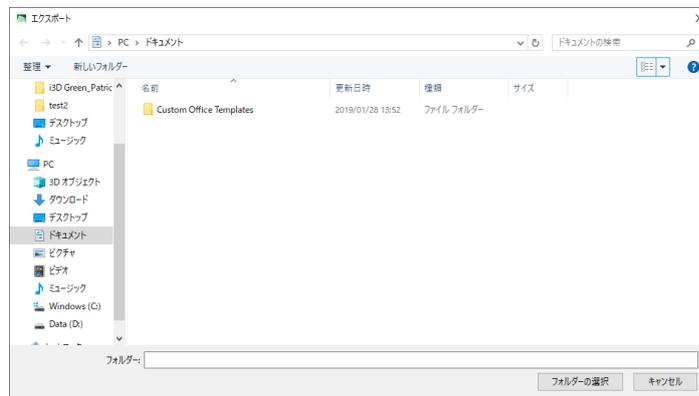
患者情報の匿名化

『設定→その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化でエクスポートが選択されている場合、エクスポート時に以下のようにオプションがアクティブ化します。

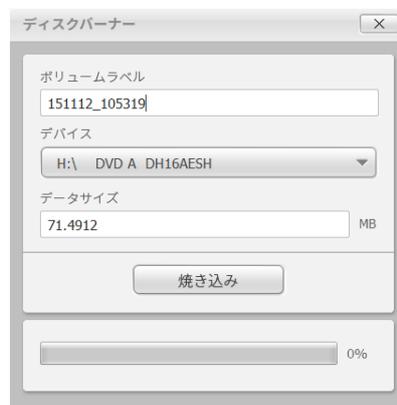


当該オプションで『使用』を選択すると、患者情報を匿名化してエクスポートできます。

3. 『ローカルディスク』形式が選択された場合、『エクスポート』ボタンをクリックすると、画像ファイルの保存位置を指定するエクスポートウィンドウが表示されます。画像ファイルの保存位置を設定します。



4. 『CD/DVD』形式を選択する場合、『エクスポート』ボタンをクリックすると『ディスク書き込み』ウィンドウが表示されます。



5. 空き CD/DVD RW を入れ、『ディスク形式』からディスクの種類を選択します。CD/DVD RW に既存データがある場合、既存データを削除し、データを上書きします。
6. 『書き込み』ボタンをクリックすると、CD/ DVD の書き込みが実行されます。

Unclose された状態で書き込みされ、Unclose された CD を入れた場合は、上書き機能は提供されません。

書き込みが可能なディスクがない場合、次のような警告ウィンドウが表示されます。



7. 保存された位置に保存が完了すると、CD/DVD、またはローカルコンピュータに画像の入ったフォルダが作成されます。

5.3 CT ファイルのエクスポート

EzDent-i に保存されている CT 画像を CD/DVD、またはファイル形式でエクスポートできます。

1. エクスポートする CT ファイルを選択し、メインメニューの『CT ファイルのエクスポート』メニューをクリックします。

次のようにダウンロード進行状況が表示され、ダウンロードの完了後に『エクスポート』ウィンドウが表示されます。



2. 『エクスポート』ウィンドウが表示されたら、『保存ファイル形式』を選択します。



『CD/DVD』を選択した場合、画像を CD/DVD に書き込んでエクスポートが可能です。『ローカルディスク』の形式は画像ファイルをローカルコンピュータに保存し、エクスポートできます。

3. 『Zip ファイルで圧縮』をチェックすると、外部に保存したい画像情報ファイルと画像ファイルを Zip ファイルでまとめて『エクスポート』できます。

パスワードを入力すると、圧縮ファイルを暗号化し、守ることができます。

パスワードは最大 12 桁まで入力できます。

患者タブの患者画像リストの中から CT 画像を右クリックし、『エクスポート』を選択するとメインメニューの『CT ファイルエクスポート』と同じ機能が使用できます。



5.4 分析

OrthoVision、または V-Ceph プログラムを EzDent-i から実行する場合は、メインメニューの『分析』メニューをクリックします。プログラムが同じコンピュータにインストール済みで、設定で連携されている場合、『分析』メニューから分析プログラムが実行できます。



EzDent-i と分析プログラムを連携する詳しい方法は「Chapter2.EzDent-i の設定 → 4.環境 → 4.4 連携/電子メール」をご参照ください。

5.5 ファイル情報

メインメニューの『ファイル情報』メニューから、当該ファイルに関する患者情報・ファイル情報・撮影情報などが確認できます。

- 患者タブの画像リストの中から、情報を確認したい画像をクリックして選択します。



- 次の 2 つの方法のうち、好きな方法で『ファイル情報』ウィンドウを実行します。

- 画像を右クリックして『ファイル情報』を選択します。



- メインメニューの『ファイル情報』メニューを選択します。



3. 『ファイル情報』ウィンドウが表示され、選択した画像の情報が確認できます

- 『ファイル情報』ウィンドウに表示される患者情報は、DICOM ファイルのヘッダーに保存されている情報を表示します。(DICOM 画像の場合)
- 患者タブに表示されている情報は、EzDent-i のデータベースに保存されている患者情報を読み込んだもので、上記『ファイル情報』ウィンドウに表示される患者情報と一致しない場合があります。

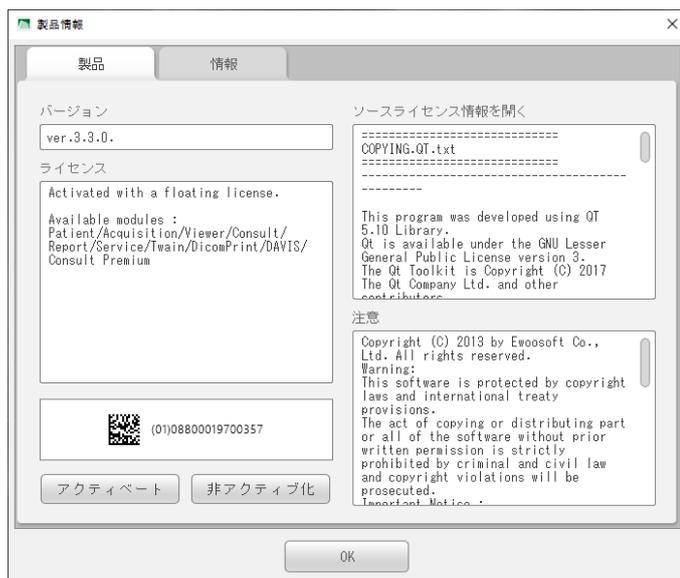
カルテ番号	20200309_163615
名前	Doe Jane
性別/年齢	女性/29Y7M
生年月日	1991/01/23

5.6 設定

設定変更に関する内容は本マニュアルの「Chapter 2.EzDent-i の設定」をご参照ください。

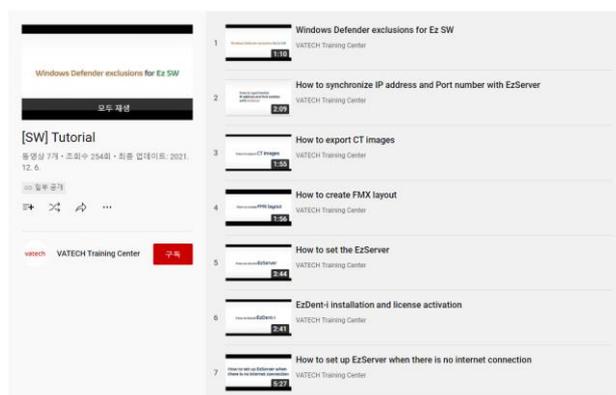
5.7 情報

メインメニューの『製品情報』メニューは、現在ローカルコンピュータにインストールされている EzDent-i の情報を表示します。



5.8 動画チュートリアル

EzDent-iを使用するためのサーバー設定と、EzDent-iの主な機能に関するチュートリアル動画の一覧を確認できます。この機能を利用するには、ユーザーのPCをインターネットに接続する必要があります。



5.9 ログアウト



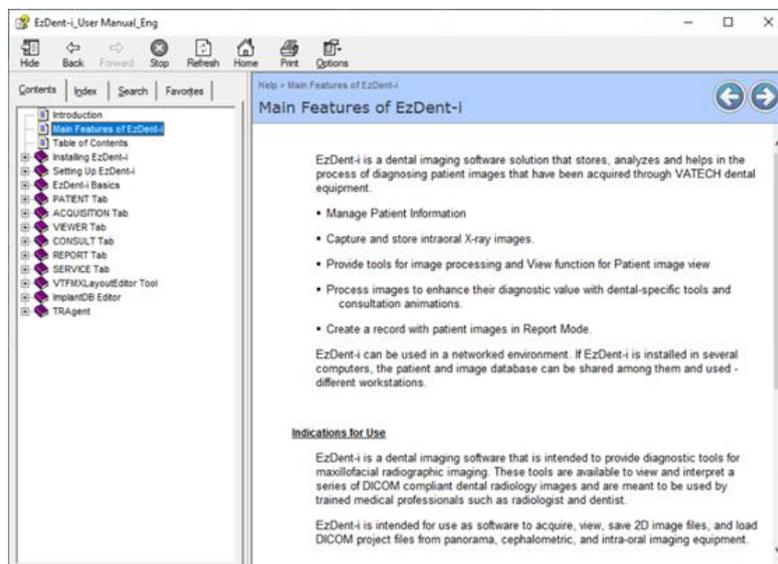
- EzDent-i からログアウトする場合、統合ログインを使用中の他の連携製品からもすべてログアウトされます。

EzDent-iから現在ログインしたアカウントをログアウトします。サーバーでログイン機能を非アクティブ化する場合、本項目は非表示になります。

6. ヘルプ

電子マニュアルを活用し、必要な機能をより早く簡単に検索することができます。

1. ツールバーの『ヘルプ』をクリックし、電子マニュアルを確認することができます。



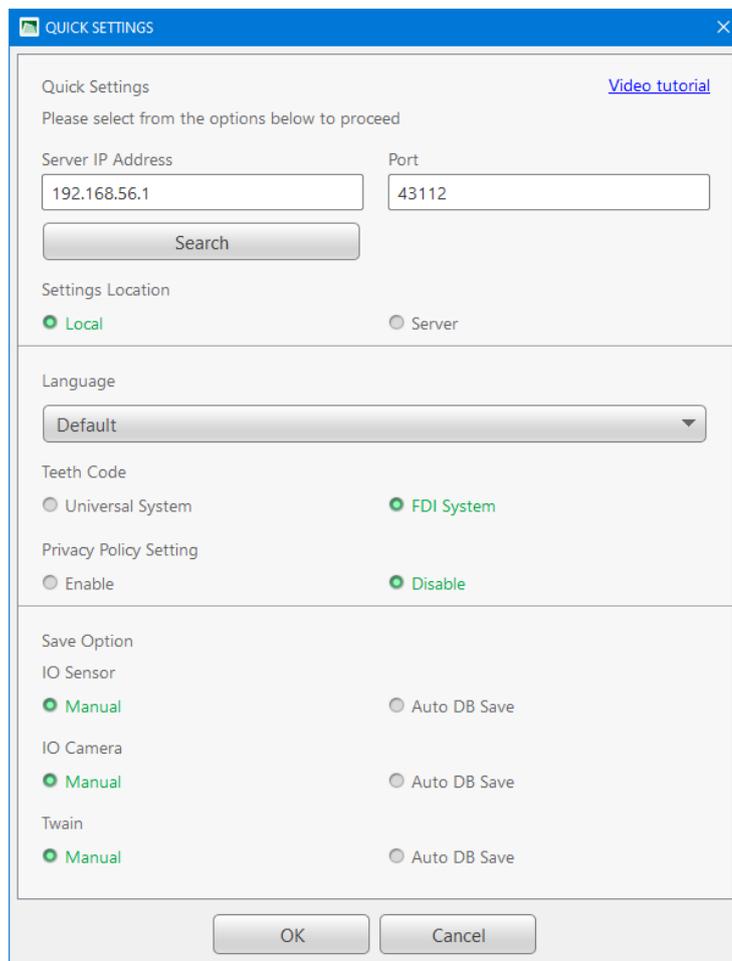
Chapter 2. EzDent-i の設定

1. 簡単設定	35
2. 設定開始	36
3. 設定初期化	37
4. 環境.....	38
5. 撮影.....	45
6. ビューアー.....	50
7. 測定/注釈.....	52
8. シミュレーション	55
9. レポート.....	57
10. DICOM	59
11. サービス.....	61
12. その他.....	62

1. 簡単設定

EzDent-i プログラムのインストール後、初めて実行する場合、次のような簡単設定ウィンドウが表示されます。

簡単設定ウィンドウで最初に、サーバーの IP アドレス設定・ローカル/サーバー設定・言語設定・歯式図設定・画像保存オプション設定を行なうことができます。



- Port ナンバーのデフォルト値が自動で表示されます。
 - EzDent-i v3.1 以上のバージョンを新たにインストールした場合 : 43112
 - 以前のバージョンをアップデートした場合 : 55005
- 当該情報を入力しない場合、プログラム実行時に何度もポップアップが表示されます。
- より詳しい設定が必要な場合は、メインメニューの設定機能をご利用ください。

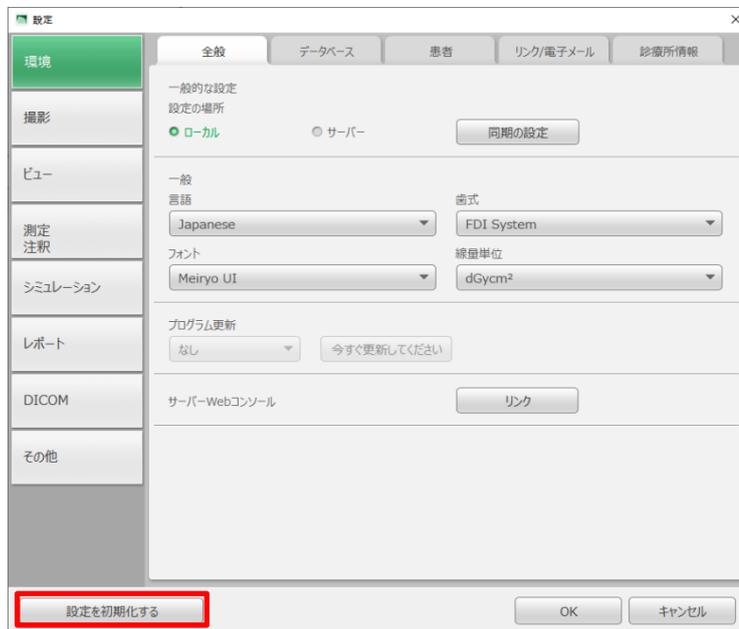
2. 設定開始

EzDent-i 全般のシステムや機能に関する設定ができます。メインボタンをクリックし、『設定』を選択します。すると『設定』ウィンドウが表示されます。設定に関する詳しい説明は次のとおりです。



3. 設定初期化

EzDent-i の設定値をデフォルト値に戻したい場合は、『設定を初期化する』ボタンをクリックします。環境のデータベースタブを除くすべての設定が変更されるため、設定の初期化時にはご注意ください。



4. 環境

4.1 全般

EzDent-i と関連する構成や連携・ネットワークなどの環境設定ができます。



1. 設定情報

EzDent-i 設定を Server PC と同様に、または別に設定できるよう選択するオプションです。

『設定の場所』で『サーバー』を選択する場合、Server PC の設定値が反映されます。EzDent-i Server データベースの変更は、EzDent-i Viewer にリアルタイムで反映されます。

『ローカル』を選択する場合、Server PC と別に設定値を決めることができます。データベースが連携されていないため、Server からデータベースを読み込むことはできません。したがって、ローカルを選択した場合には、定期的に『設定同期』ボタンをクリックし、Server とデータベースを同じように維持します。

2. 全般

プログラムの言語・フォント・歯数・線量単位などをユーザーが設定できます。

■ 言語

EzDent-i で使用する言語を設定します。EzDent-i は韓国語、英語など 16 か国語をサポートします。言語の設定を変更後、EzDent-i を再起動します。



言語によっては特定のフォントがサポート外の場合があります。
選択した言語に応じて日付の形式が自動で設定されます。

- フォント

EzDent-i に適用するフォントのタイプを選択します。EzDent-i では『MS Gothic』フォントの使用を推奨します。

- 歯数

歯数の表記法を設定します。選択した System に応じて、歯数が異なります。

- FDI(Federation Dentaire Internationale) System の歯数



- ユニバーサルシステムの歯数



- 線量単位

照射量の表記時、照射量の単位を選択します。(線量単位: $mGym^2 \cdot Gycm^2 \cdot dGycm^2 \cdot uGym^2 \cdot mGycm^2$)

3. プログラムアップデート

プログラムを自動でアップデートするか、ユーザーが直接アップデートを行うかを選択します。

- 『自動』を選択した場合は、VTPatchManager により EzDent-i が最新バージョンにアップデートされます。
- 『手動』を選択した場合は、右の『今すぐアップデート』ボタンをクリックするとアップデートが始まります。
- アップデートを行わない場合は『未使用』を選択してください。

4. EzServer Web Console

EzServer の設定を開くために『接続』ボタンをクリックします。ユーザーアカウント管理、ログイン機能設定、セキュリティコード設定などが行えます。詳しい内容は「インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

- ユーザーアカウントによる権限制限

サーバーでログイン機能をアクティブ化した場合、ログインしたユーザーのアカウントによって一部機能が制限される場合があります。Master Admin アカウントを利用して各アカウントの権限を制御できます。デフォルトは以下のとおりです。

アカウント	権限の制限
Master Admin	制限なし
Admin	ユーザーアカウント管理
Doctor	ユーザーアカウント管理、データ削除、共有データ編集
Staff	ユーザーアカウント管理、データ削除、データの追加と編集、データ移動、共有データ編集

- セキュリティコード

サーバーでセキュリティコード機能をアクティブ化して適用したい機能を選択した場合、当該機能の実行時にセキュリティコードを確認するウィンドウが表示されます。ログインしたユーザーが権限を持っており、セキュリティコード機能を非アクティブ化した場合、別途の確認手続きなしで当該機能を実行します。ただし、ログイン機能を使用していない場合はセキュリティコード機能を非アクティブ化できません。

初期セキュリティコードは数字の「0000」であり、EzServer Web Console でセキュリティコードを変更できます。

5. テーマ

ユーザーが Green または Kids スキンから好きなスキンを選ぶことができます。スキンを変更しても、使える機能は変わりません。スキンを保存してから EzDent-i を再起動すると、選択したテーマが適用されます。

4.2 データベース

The screenshot shows the '設定' (Settings) window with the 'データベース' (Database) tab selected. The window has a sidebar on the left with menu items: 環境 (Environment), 撮影 (Imaging), ビュー (View), 測定注釈 (Measurement Annotation), シミュレーション (Simulation), レポート (Report), DICOM, and その他 (Others). The main area is divided into sections: 'サーバー' (Server) with fields for '住所' (Address) containing '127.0.0.1' and 'ポート' (Port) containing '43112', and a 'サーバーの検索' (Search Server) button; 'EZPICKER' with an 'EZPICKER IPアドレス' (EZPICKER IP Address) field containing '172.26.80.40' and radio buttons for '使用する' (Use) and 'なし' (None), where 'なし' is selected. At the bottom are buttons for '設定を初期化する' (Reset Settings), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

1. サーバー

EzServer がインストールされたコンピュータの IP アドレスを入力します。当該アドレスを検索する場合は、『サーバーの検索』ボタンをクリックします。

2. EZPICKER

PMS S/W と EzDent-i が連携できるようにサポートしてくれるプログラムです。EzPicker IP アドレスは、EzDent-i Server が設置されたコンピュータの IP アドレスを入力します。詳細は Service Manual でご確認いただけます。

4.3 患者



1. カルテ番号

患者を登録する際のカルテ番号を自動で入力するか、手動で入力するか選択します。『自動』を選択する場合、患者番号が自動で作成されて入力されます。

2. 患者名オプション

患者名の表記形式を指定します。日本語の場合、『姓・名前』の選択を推奨します。

3. 最近の患者リスト

- 『デフォルトリスト表示方式』: プログラムを初めて実行した時に、患者リストの表示方法を設定します。最近撮影した患者、または最終閲覧した患者のみリストに表示するように設定したり、最近の患者リストを非表示にしたりできます。
- 『患者画像の自動表示』: 患者画像の自動表示オプションをアクティブ化する場合、プログラムを実行すると、選択した患者の画像が右のウィンドウに自動で表示されます。患者画像の自動表示オプションを非アクティブ化する場合、プログラムを実行すると、選択した患者の画像が自動で表示されず、患者をダブルクリックして選択した場合にのみ画像が表示されます。

4. VIRTUAL KEYBOARD

- バーチャルキーボードの表示タイプを指定します。必要に応じて全体キーボードまたは数字パッドのみ表示するように指定できます。

4.4 リンク/電子メール

EzDent-i と 3D ビューアーの連携や電子メール関連の設定を行ないます。



1. リンク

- EzDent-i に保存されている CT 画像をダブルクリックした時に、本項目に設定されている 3D ビューアーを通じて画像が表示されます。3D ビューアーで連携を希望するプログラムを選択します。EzDent-i は基本的に、弊社の 3D Imaging Viewer である Ez3D-i と連携しています。Ez3D-i がインストールされている場合、ビューアータブで CT 画像をダブルクリックすると Ez3D-i が自動で実行されます。
- もし他社の 3D Imaging Viewer の連携を希望する場合、3D ビューアーのパスを該当のビューアーの .exe ファイルの位置に設定してください。
- 複数の 3D ビューアーの使用を希望する場合は、上記と同じ方法で Second/Third 3D ビューアーの項目に 3D ビューアーを追加で登録することができます。
- 分析プログラム(Ceph Analysis Software): EzDent-i は矯正プログラムと連携できます。分析プログラムで『EzOrtho』、『OrthoVision』、または『V-Ceph』を選択してから、該当のプログラムの実行ファイルの位置を設定します。
- 『データグループ』項目を『使用』に選択すると、2D・3D データをグループ化できるように患者タブで該当のアイコンがアクティブ化されます。

2. 電子メール送信者情報

レポートタブでレポート、または患者の画像を電子メールで送信する際に、送信者の情報を入力します。ユーザーの電子メールアドレス、該当アカウントのパスワード、送信者名などを入力します。『テスト』ボタンをクリックすると、電子メールの連携が正常に行われたのかテストできます。

- EzDent-i で定義されたドメイン(Gmail・Yahoo・Hotmail・AOL・Outlook)のうち、一つを設定する場合には次の情報が自動で入力されます。
 - SMTP サーバーアドレス・ポート・セキュリティ
- 電子メール情報を入力後、『テスト』ボタンをクリックして正常な動作が行なえるか必ず確認してください。

4.5 クリニック情報

The screenshot shows the 'EzDent-i' settings window with the 'Clinic Information' tab selected. The window is divided into several sections:

- Environment (環境):** A sidebar menu with options like '撮影' (Photography), 'ビュー' (View), '測定注釈' (Measurement Annotation), 'シミュレーション' (Simulation), 'レポート' (Report), 'DICOM', and 'その他' (Others).
- General (全般):** The active tab, containing 'Clinic Information' (診療所情報) and 'Clinic Logo' (診療所ロゴ).
- Clinic Information (診療所情報):** Fields for 'Clinic Name' (診療所名称), 'Website' (ウェブサイト), 'Phone Number' (電話番号), 'Fax Number' (FAX番号), and 'Address' (住所).
- Clinic Logo (診療所ロゴ):** Radio buttons for 'Text' (テキスト) and 'Logo Image' (ロゴイメージ). The 'Text' option is selected. A dropdown menu shows 'Adobe Devanagari' as the font style.

Buttons at the bottom include 'Reset to Initial' (設定を初期化する), 'OK', and 'Cancel' (キャンセル).

1. クリニック情報

ユーザーのクリニック情報を入力します。クリニック名・Web サイト・電話・FAX・住所などのクリニック情報を入力すると、レポート作成時にヘッダーまたはフッターに表示されるクリニック情報が設定されます。

2. クリニックのロゴ

クリニックのロゴの『テキスト』と『ロゴイメージ』を登録すると、EzDent-i の画面左下に基本的に設定されて表示されます。

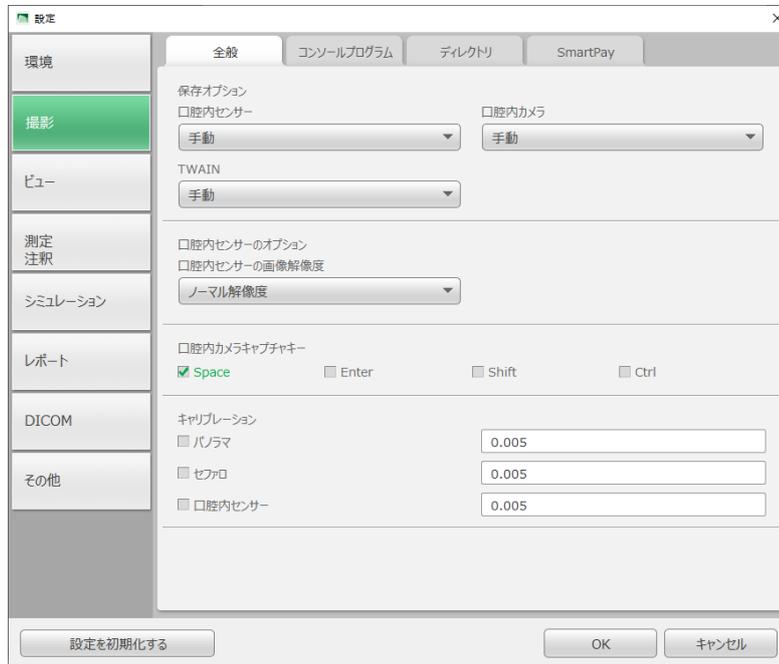
- 『テキスト』の場合、設定されたテキストに応じてクリニック名が表示されます。
- 『ロゴイメージ』を読み込む場合、該当のイメージが 200x45 の比率で縮小されて表示されます。登録されたクリニックのロゴはレポートに反映され、ユーザーのクリニック広報に活用できます。



ロゴイメージの場合、PNG・JPG・BMP・TIFF 形式のファイルのみ使用できます。画像は元のサイズと関係なく、200x45 の比率に縮小されて表示されます。

5. 撮影

5.1 全般



1. 保存オプション

IO センサー/IO カメラ、または Twain で取得した画像を自動でデータベースに保存するか、手動で保存するかを選択します。『手動』設定時、取得した画像の中から必要な画像を選択し、『DB への保存』ボタンをクリックすると選択した画像がデータベースに保存されます。『自動』設定時、画像を取得すると自動でデータベースに保存されます。

作業者を『使用』に設定した場合、撮影タブのコントロールパネルに作業者 ID を設定できる項目が追加されます。

2. 画像の解像度

- 画像解像度を『高解像度』に設定する場合、高解像度モードをサポートするモダリティ (例: EzSensor Soft) では高解像度モードで撮影されますが、それ以外のモダリティの解像度には影響を与えません。

- 『DAP プリセット』を使って性別、年齢、歯数別の DAP(面積線量)値を指定すると、IO センサー画像のファイル情報から DAP 値を確認できます。

- 『変更』ボタンをクリックすると、入力できるようになります。
- 歯数別に DAP の値を入力するか、最初の値を入力してから『Apply All』をクリックしてすべての歯に同じ値を適用します。
- 『保存』ボタンをクリックして入力値を保存すると、IO センサー装置を利用して画像を取得する時、患者の性別、年齢、選択した歯数に対応する値が画像に適用されます。



正しくない DAP 値を入力すると、画像に間違っただけの情報を表示することになります。
各 DAP 値につきましては IO センサー装置のマニュアルをご参照ください。

3. IO カメラキャプチャーキー

IO カメラ使用時、キーボードで画像撮影ができます。撮影タブで該当のキーを押すと撮影できます。

4. キャリブレーション

キャリブレーションがされないパノラマ・セファロ・IO センサー画像に設定したキャリブレーション値が、自動で反映されるようになります。キャリブレーション設定を希望する場合、チェックボックスをクリックします。

5.2 コンソールプログラム

口腔外の撮影モダリティの画像取得時に使用されるプログラムを連携する設定です。Vatechの口腔外の撮影モダリティ、またはIOスキャナと連動するためには、撮影プログラム情報を以下のように入力します。



1. コンソールプログラム

- コンソールプログラムと撮影設定の同期

チェックボックスを選択すると、コンソールプログラムと設定を同期し、コンソールプログラムパス・キャプチャーメッセージ・患者情報ファイルパス・エクスポートファイルパスが自動で設定されます。

ただし、コンソールプログラムがインストールされていないか、サポート外のバージョンの場合には、自動同期機能をサポートしておらず、次の下位項目を手動で入力する必要があります。

- コンソールプログラムパス

:プログラムの実行ファイルの位置を入力します。ユーザーが撮影プログラムをデフォルト設定でインストールした場合、「C:/Ez Scan/Ez-iScan x64/IScanSW.exe」の入力が必要です。

- キャプチャーメッセージ

:画像が取得される際に、プログラムから特定のイベントメッセージを送信します。撮影プログラムの場合、『キャプチャーメッセージ』の欄に「Captured」を入力します。

- 患者情報ファイルパス

:患者の情報の位置を入力します。撮影プログラムの場合、患者情報のファイルは「C:/VCaptureSW/exe/PatientInfo.ini」の位置にあります。

- エクスポートファイルパス

:撮影プログラムの場合、「C:/VCaptureSW/Output.ini」の入力が必要です。

2. 撮影ボタンのアクティブ化

撮影タブにある撮影ボタンの CT・パノラマ・セファロ・Others それぞれのアクティブ化の可否が設定できます。

3. IO スキャナプログラム

IO スキャナプログラムと連携するための項目が設定できます。

- IO スキャナプログラムパス

:プログラムの実行ファイルの位置で、ユーザーが撮影プログラムをデフォルト設定で設置した場合、「C:/Ez Scan/Ez-iScan x64/IScanSW.exe」の入力が必要です。

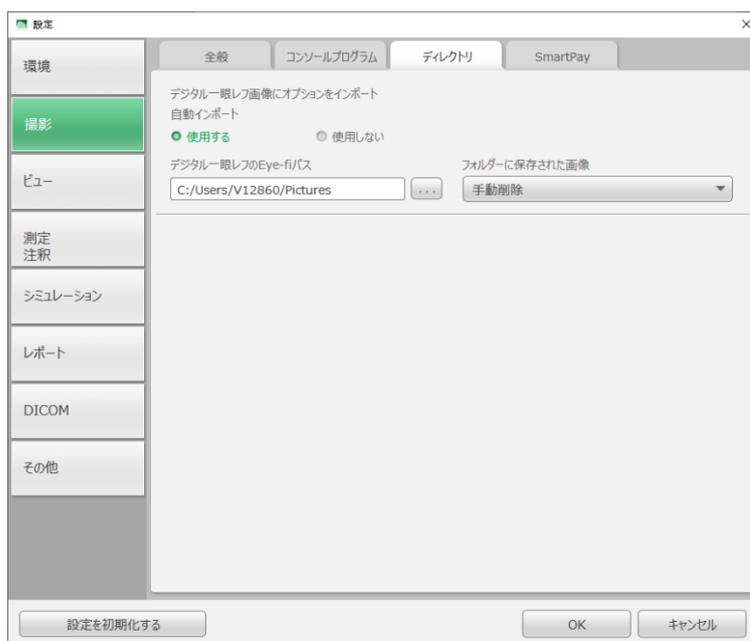
- エクスポートファイルパス

:撮影プログラムの場合、「C:/Ez Scan/Exchanging/Output.xml」を入力します。



コンソールプログラムの場合、当該プログラムで提供するパスやファイル名が変更される場合、当該内容が本マニュアルにすぐに反映されないことがあります。

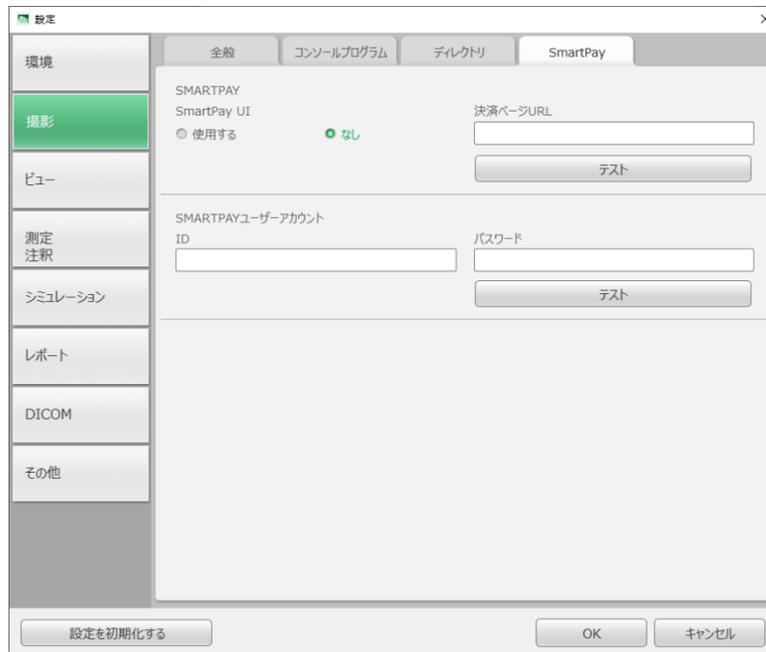
5.3 ディレクトリ



DSLR での撮影時、指定されたフォルダからの画像の自動インポート設定ができます。『自動インポート』オプションのラジオボタンを『使用』に選択し、『DSLR Eye-fi パス』を指定してください。

5.4 SmartPay

※ 注意: このセクションの内容は、「Smart Pay」サービスのユーザーにのみ適用されます(該当する国:韓国)。



1. SmartPay UI

SmartPay UIを『使用』に設定した場合、撮影タブの撮影ボタンが SmartPay 用に変更され、メインメニューには『決済システムの同期』の項目が追加されます。

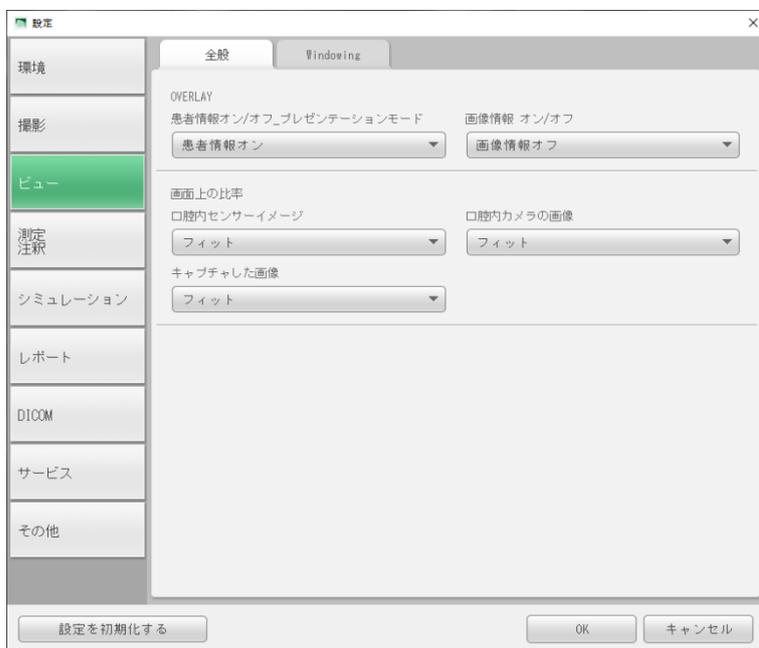
決済 Web ページの URL には、<https://smartpay.vatech.biz/>を入力します。

2. SmartPay ユーザーアカウント

SmartPay 機能の使用を希望する場合、決済システムのユーザーアカウント情報の入力が必要です。ユーザーIDとPasswordは、Vatech Korea のホームページ(www.vatechkorea.com)で作成できます。

6. ビューアー

6.1 全般



1. OVERLAY

プレゼンテーションモードで、『患者情報の表示/非表示』機能のデフォルト値を設定できます。『画像情報オン/オフ』機能を利用して、画像情報を常に表示するように設定できます。

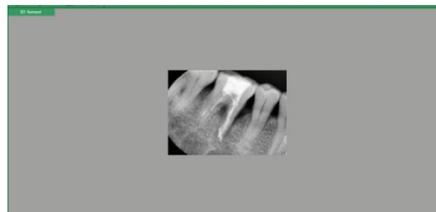
2. 画面上の比率

IO センサー画像、3D カメラ画像、キャプチャー画像がそれぞれワークスペース画面に表示される比率を選択します。

例えば、IO センサー画像のコンボボックスを『フィット』に設定すると、ワークスペースに合うサイズの画像が提供されます。当該項目を『40%』に設定する場合、実際の画像の 40%のサイズで画像が表示されます。



IO センサー画像を『フィット』に設定した場合



IO センサー画像を『40%』に設定した場合

6.2 Windowing



1. ウィンドウ

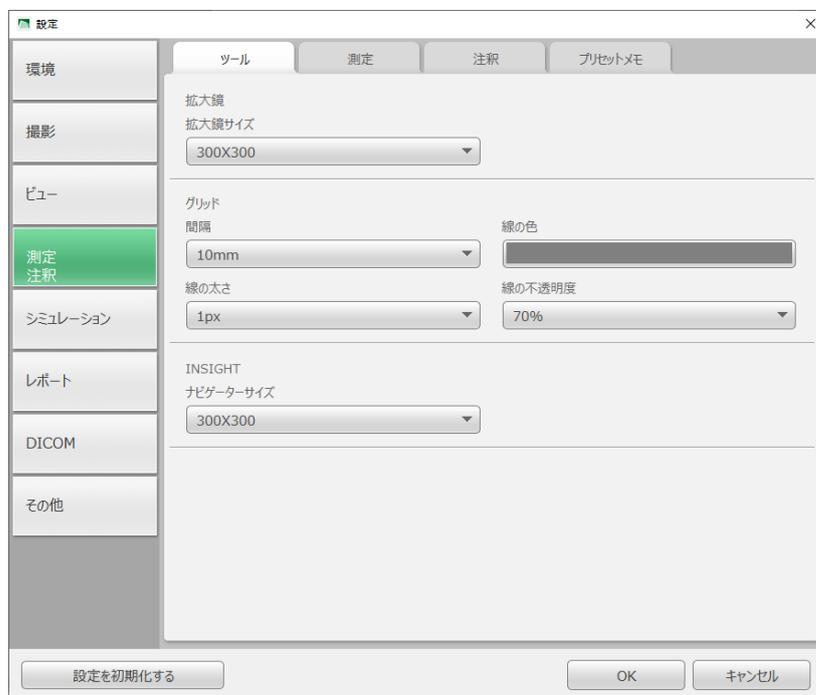
DICOM ファイルのウィンドウ効果を画像に適用する時、DICOM タグファイルに自動で作成された値を使用する場合には『DICOM タグ』を選択し、ユーザーが入力した値を使用する場合には『ユーザー定義』を選択します。『ユーザー定義』を選択する場合、ユーザーが Width とレベル値を入力します。EzDent-i では、『DICOM タグ』に設定することを推奨します。

2. プリセット

ビュータブで画像を表示する時に適用する画像効果を設定します。設定値は Pano、Ceph、IO Sensor、Image Plate モダリティ画像に限り、最初に適用されます。過去に EzDent-i を利用して確認した画像を再確認する場合、各画像の Tag ファイルに保存されている値が適用されます。

7. 測定/注釈

7.1 ツール



1. 拡大鏡

希望する比率を設定し、ビューアータブで『拡大鏡』ツールをクリックします。



2. グリッド

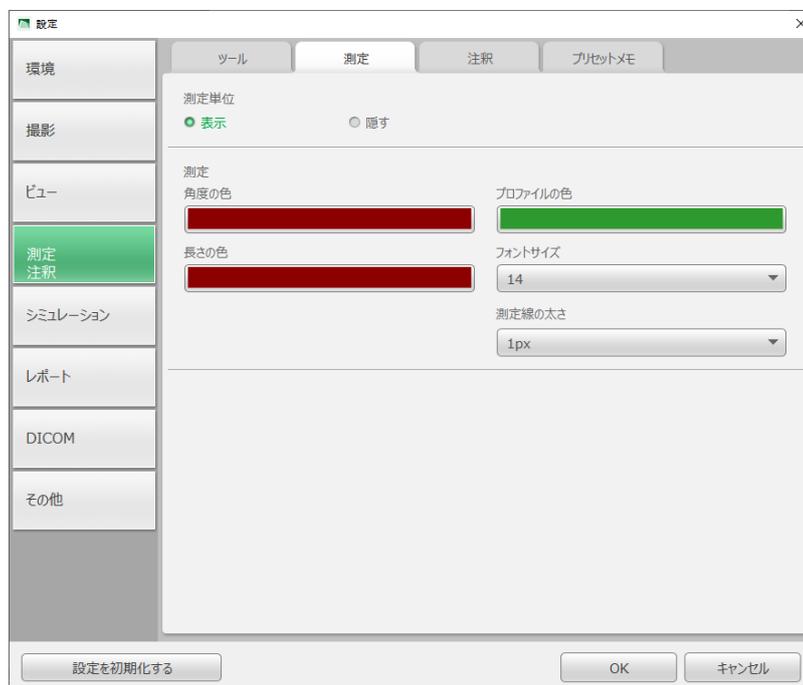
ビューアータブやコンサルタブで患者の非対称を確認する時に使用する『グリッド表示/非表示』機能のデフォルト値を設定します。グリッドの間隔・カラー・太さ・透明度が設定できます。

3. INSIGHT

ビューアータブでマルチフレーム画像を確認するための、ナビゲーターのサイズが設定できます。

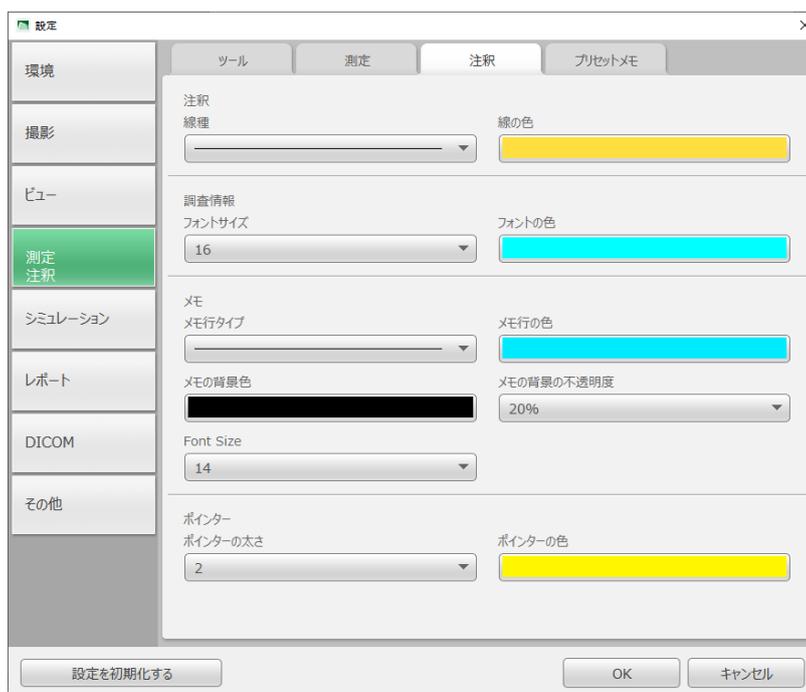
7.2 測定

ビューアタブのツールバーにある『測定』ツールのプロパティを設定します。ツールから書かれる線のカラーや太さなどを設定します。



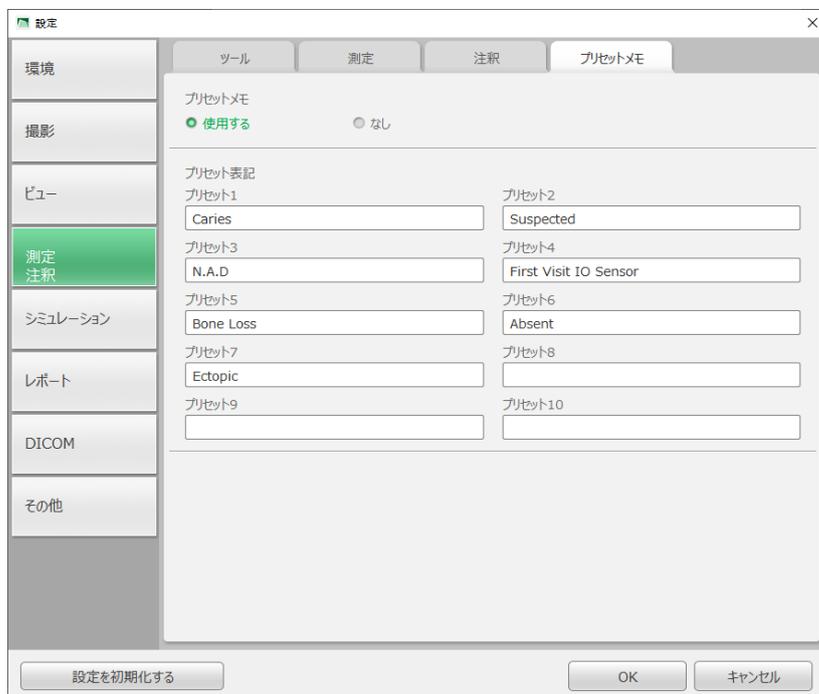
7.3 注釈

ビューアタブのツールバーにある『注釈』ツールのプロパティを設定します。ツールから書かれる線のカラーやフォントサイズなどを設定します。



7.4 プリセットメモ

ビューアタブのツールバーにある『メモ』ツールを使用する時に、よく使用するテキストを保存します。

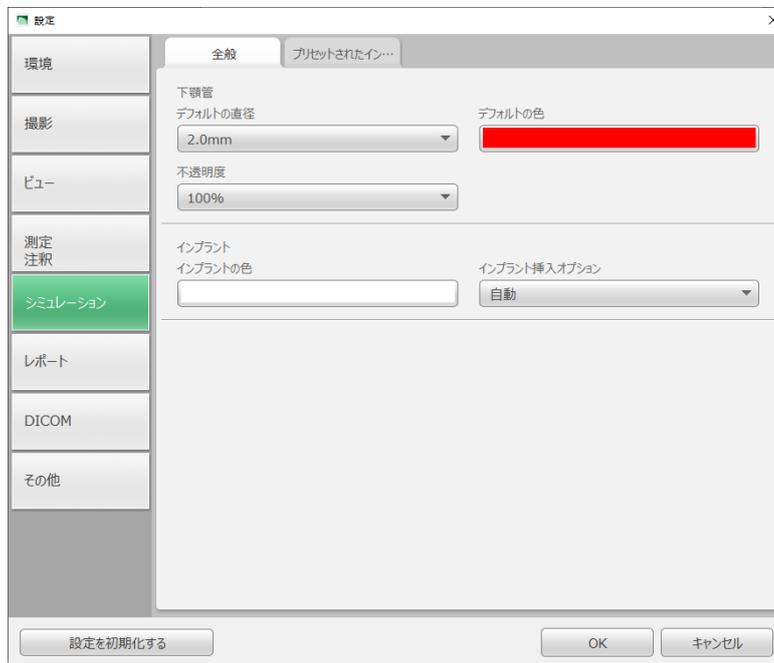


1. 『プリセットメモ→プリセット表記』にお好きなメッセージ(例: Tooth Extraction Case)を入力し、ウインドウ下の『OK』ボタンをクリックします。
2. ビューアタブに移動し、ツールバー(注釈)の『メモ』アイコンをクリックします。
3. 画像にメモを残したい位置をクリックすると、プリセットメモに保存されたテキストリストが表示されます。お好きなプリセットテキストを選択すると、メモが画像に挿入されます。



8. シミュレーション

8.1 全般



1. 下顎管

ビューアタブの『下顎管描画』機能のプロパティを設定します。

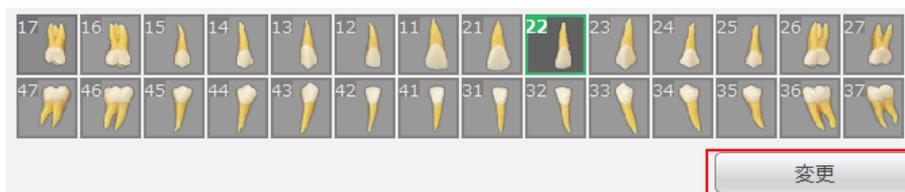
2. インプラント

ビューアタブの『インプラントの挿入』機能のプロパティと挿入方法を設定します。『インプラント挿入オプション』を『自動』に設定する場合、ユーザーが選択した特定の歯数に応じて任意の位置にインプラントが自動で挿入され、『手動』に設定する場合、ユーザーがマウスで直接選択した位置にインプラントが挿入されます。

8.2 デフォルトインプラントモデル

ビューアタブのシミュレーション項目の『インプラントの挿入』ボタンをクリックすると、インプラントが挿入されます。この時、基本的にそれぞれの歯に挿入されるインプラント情報が決まっています。本設定で基本的に設定されているインプラントの情報を変更します。詳しい方法は以下のとおりです。

1. 変更を希望する歯を選択し、『変更』ボタンをクリックします。すると、『編集』ウィンドウが表示されます。



2. 『編集』ウィンドウで、デフォルト値の変更を希望するインプラントの会社やモデルなどを選択します。



3. 選択したインプラントプロパティに合わせて情報と画像が表示されます。

適用を希望する全歯を選択し、希望するインプラントのメーカー、モデルを選択した後に『保存』ボタンをクリックすると、選択した値で当該歯のインプラント既定値が変更されます。『全体選択』オプションのチェックボックスをクリックすると、ユーザーが指定したインプラントがデフォルトインプラントとして登録されます。

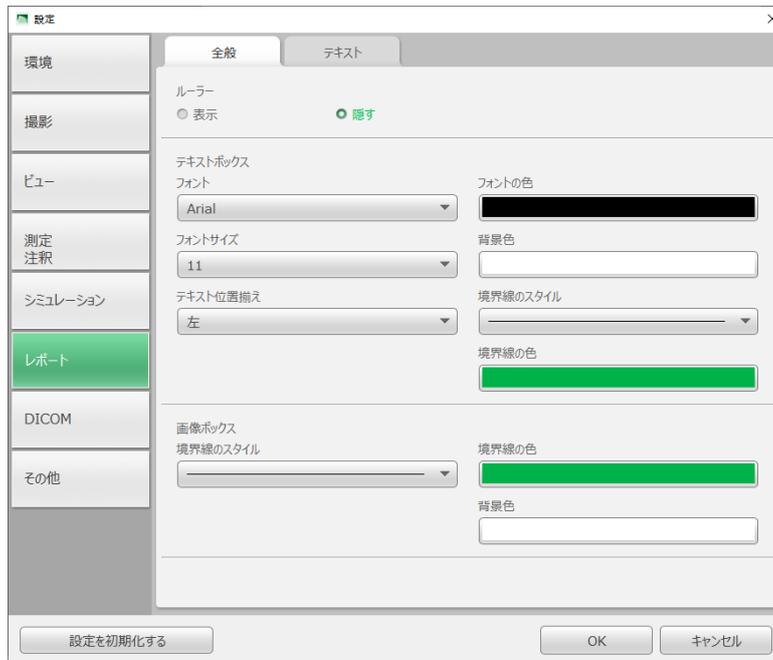


インプラント情報が編集ウィンドウに表示されない場合、製品インストール時に ImplantDB.exe のプログラムがインストールされたか確認してください。ImplantDB のインストール方法は「インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

9. レポート

9.1 全般

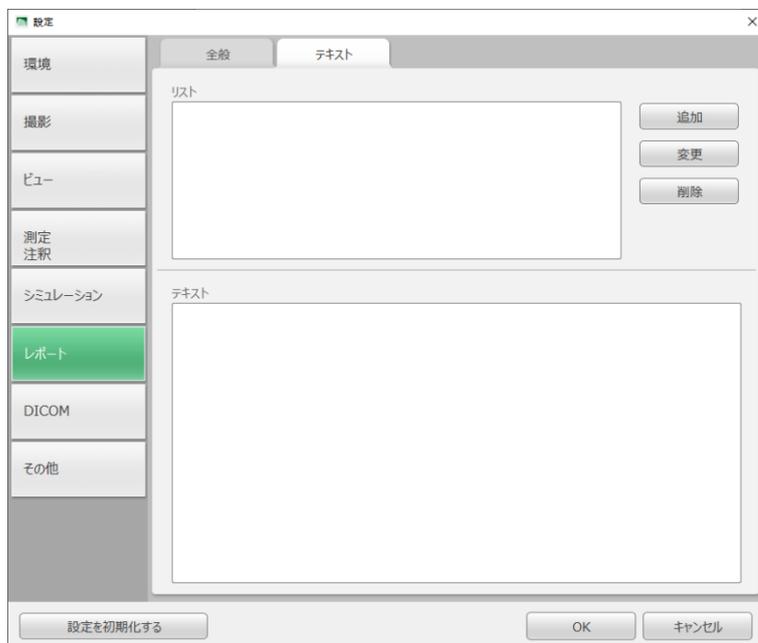
レポートタブの『テキストボックス追加』『画像ボックス追加』ボタンをクリックする時にレポートに表示されるボックスのプロパティを設定し、レポート画面のルーラーを表示・非表示にすることができます。



テキストボックスや画像ボックスのプロパティは、レポートに挿入されたテキストボックスや画像ボックスでマウスを右クリックし、『プロパティ』を選択して設定変更することもできます。

9.2 テキスト

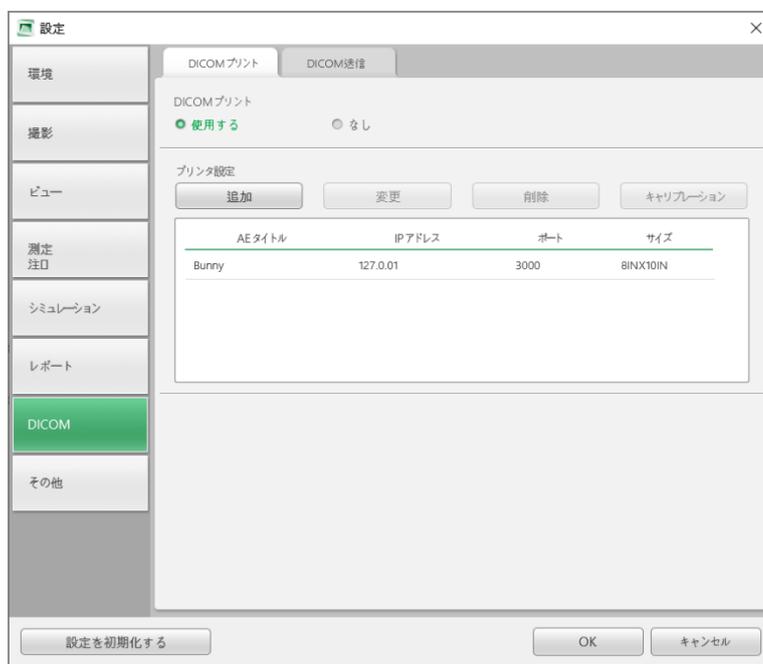
レポートタブでよく使用するメッセージを設定のテキストタブに保存し、テキストボックスを挿入すると、保存したテキストを読み込んで使用できます。詳しい使用方法は「Chapter 7.レポートタブ」をご参照ください。



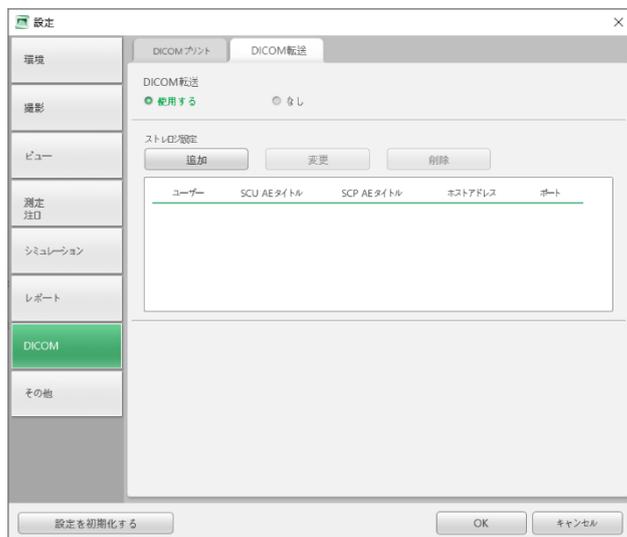
10. DICOM

10.1 DICOM プリント

DICOM Print の登録・変更・削除・プロパティ設定を行ないます。



10.2 DICOM 転送



- DICOM転送
 DICOM転送を『使用する』に設定した場合、ビュータブのツールバーに『PACS転送』アイコンが追加されます。
- ストレージサーバーリスト
 ストレージサーバーリストで登録されたストレージサーバーを確認できます。
 ストレージサーバーを追加するには『追加』ボタンをクリックします。『ストレージサーバー追加』ウィンドウが表示されたら、サーバーの情報を入力してから『接続確認』ボタンをクリックしてストレージサーバーが接続されたかどうか確認します。確認できたら、『保存』ボタンをクリックしてサーバーを追加します。

11. サービス

※ 注意: このセクションは、vatech hub のユーザーにのみ適用されます。

11.1 全般

サービスタブを使用するためには、リモート判読サービスのvatech hubと連携している必要があります。

vatech hubと連携するために、URLを直接入力します。(www.vatech-hub.com)



vatech hub から受け取った結果を EzServer に保存する時は、TRAgent で vatech hub の ID/PW を入力してください。

12. その他

12.1 個人情報の保護

個人情報の保護ルールを設定できます。



1. プライバシーポリシー設定

個人情報取扱い方針機能の使用の有無を設定します。個人情報取扱い方針機能を「使用」に設定した場合のみ、下にある「画面に患者の個人情報を表示」、「患者情報の匿名化」項目がアクティブ化します。

2. 患者情報を画面に表示する

プログラムに表示する患者情報の項目を選択します。適用する患者情報を項目別を選択できます。

選択した項目の患者情報のみプログラムに表示され、選択していない項目の患者情報は文字数に合わせて***で表示されます。

ただし、患者の検索及び患者の追加・変更機能では匿名化されません。

3. 患者情報の匿名化

匿名化項目を選択する場合、選択した各機能が実行される時に患者情報の匿名化関連の機能がアクティブ化されます。適用する患者情報の中で、個別の項目を選択する機能はサポート外です。

匿名化項目が選択されていない場合には、各機能の実行時に匿名化関連の UI が表示されません。

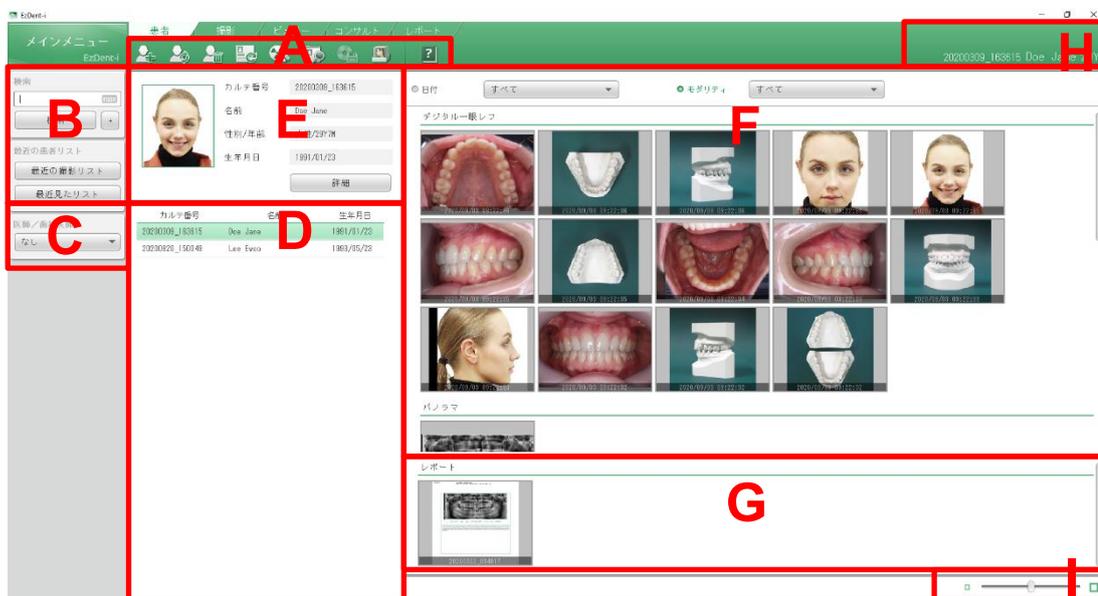
Chapter 3. 患者タブ

1. 患者タブの画面構成	65
2. 患者の検索	66
3. 患者編集	69
4. 撮影情報のエクスポート	72
5. 患者情報のエクスポート	74
6. エクスポート	75
7. データグループ	76
8. 患者画像の分類・管理	78
9. ツールの説明	82

1. 患者タブの画面構成

患者の情報と画像を管理するタブです。

1.1 ワークスペース



- **A セクション**: 患者の追加・変更・削除・情報非表示などを行なうツールバーです。
- **B セクション**: 患者の検索や、最近画像を撮影した患者、または最近画像を確認した患者のみを指定し、最近の患者リストを表示できます。
- **C セクション**: 現在選択された医師名で、担当医師が指定された患者のリストが表示されます。
- **D セクション**: 患者の検索で『検索』ボタンをクリックすると、検索された患者リストが表示されます。
- **E セクション**: D セクションで選択された患者の詳しい情報が表示されます。
- **F セクション**: 現在選択された患者に関する保存済みの画像が表示されます。
- **G セクション**: 現在選択された患者に関する保存済みのレポートが表示されます。
- **H セクション**: 現在選択された患者のカルテ番号・氏名・満年齢が表示されます。
- **I セクション**: 検索された画像のサイズを右下のサムネイルスライダーで変更できます。

2. 患者の検索

2.1 登録済みの患者の検索

1. 患者の検索で、検索したい患者名、またはカルテ番号を入力し、『検索』ボタンをクリックするか「Enter」キーを押します。検索結果が患者リストに表示されます。



- 検索ウィンドウの右のキーボードをクリックするか、検索ウィンドウをダブルクリックすると、スクリーンキーボードが表示されます。スクリーンキーボードで入力すると、患者をすぐに簡単に検索できます。



- 英語で保存された氏名を検索する場合、イニシャルのみを入力して患者が検索できます。(例: Audrey Hepburn の場合、検索ウィンドウに「A, H」を入力)
2. 検索結果に表示された患者リストから希望する患者を選択すると、選択済みの患者の詳しい情報が表示されます。



- 画面に患者の個人情報を表示
『設定→その他』で個人情報の取扱い方針機能を『使用』に設定すると、患者情報の文字数に合わせて***で表示されます。



2.2 拡張検索(患者)

拡張検索は、画像モダリティ別検索・期間別検索機能を組み合わせ、より詳しい検索結果を表示させることができます。

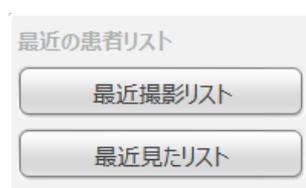
1. 『検索』ボタン右の『+』ボタンをクリックすると、『拡張検索』ウィンドウが表示されます。



2. 検索を希望する条件のボタンをクリックし、下の『検索』ボタンをクリックします。条件に合うデータの患者がリストに表示されます。
3. 患者を選択すると、現在作業中のタブで検索された患者に患者が変更されます。

2.3 最近見た患者の検索

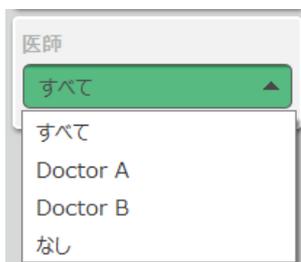
患者リストのフィルター方式を選択し、特定の患者のみをリストに表示するように設定できます。



- 最近の撮影: 最近画像を撮影した患者順に表示します。
- 最近の閲覧: 最近ビューアータブで画像を確認した患者順に表示します。

2.4 医師別担当患者の検索

特定の医師を選択すると、当該医師が担当医師に指定された患者のリストが表示されます。



- すべて: 登録されたすべての患者のリストが表示されます。
- 医師選択: 登録時、当該医師を担当医師に指定した患者のリストが表示されます。
- なし: 患者登録時、担当医師を指定していない患者のみリストに表示されます。



医師リストは、『設定→環境→全般→ユーザーアカウントマネージャー』で追加・変更・削除できます。ただし、Doctor アカウントで登録した場合のみ医師リストに表示されます。

3. 患者編集

3.1 新規患者登録

1. ツールバーで『登録』アイコンをクリックします。『患者追加』ウィンドウが表示されます。



患者情報の追加

カルテ番号* 20200903_094843

姓 名

名前*

性別 男性

年 月 日

生年月日 2020 1 1

医師/歯科医師 1 なし 医師/歯科医師 2 なし

ソーシャルID

電話番号

携帯電話

電子メール

郵便番号

住所

追加 キャンセル

2. 『患者追加』ウィンドウに患者情報を入力し、『新規登録』ボタンをクリックします。カルテ番号の手動入力や電子メールに関する設定方法は、本マニュアルの「Chapter 2.EzDent-i の設定」をご参照ください。
 - カルテ番号は自動で入力されますが、アルファベット・数字・「-」・「_」のみを使用してお好きな番号に変更できます。アルファベットを小文字で入力する場合、自動で大文字に変換・表示され、DBにも大文字で保存されます。
 - 保存された担当医師は医師別の患者の検索機能に使用され、担当医師を指定しない場合「なし」と表示されます。
 - 氏名は必須入力項目です。
 - 電子メール項目はレポートタブで電子メールを送信する時に、電子メール受信者のアドレスとして使用されます。その他に患者のマイナンバー・電話番号・携帯電話番号・郵便番号・住所が入力できます。

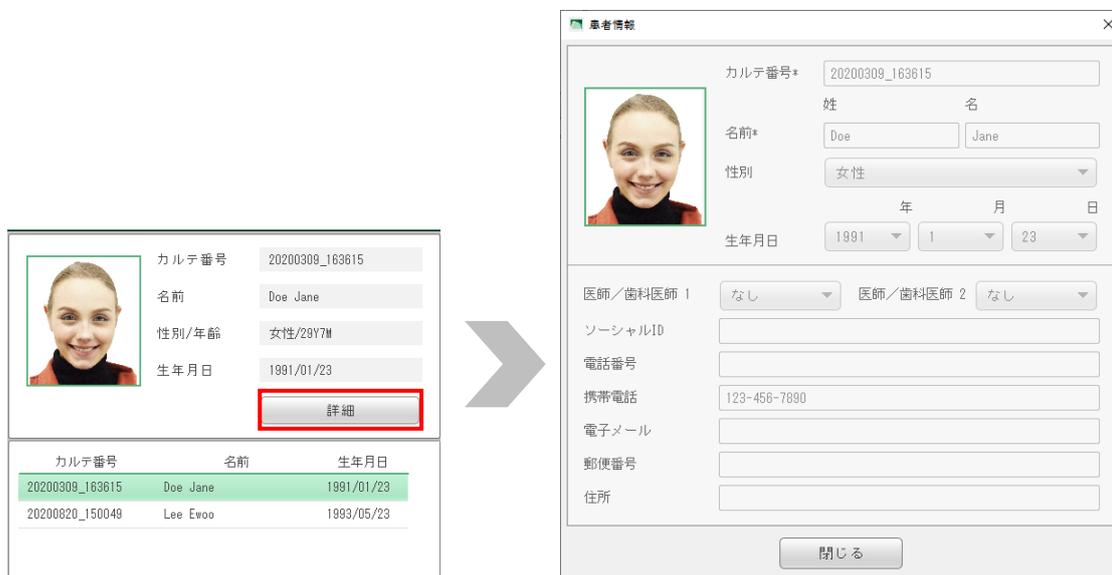


医師リストは、『設定→環境→全般→ユーザーアカウントマネージャー』で追加・変更・削除できます。ただし、Doctor アカウントで登録した場合のみ医師名リストに表示されます。

3. 患者追加の完了後、患者を検索すると追加された患者がリストに表示されます。EzBridge や Linkage.xml など、外部 PMS の連携により患者を追加する場合、患者タブの患者リストの最上段に表示されます。
 - 『患者情報の非表示』アイコンをクリックすると、患者タブに表示された患者の個人情報・画像情報・患者リストが非表示になります。再び患者情報を確認する場合、左上の『患者の検索』から再検索します。

3.2 登録済みの患者情報の確認

患者タブで患者の詳細を確認する場合は、『詳細』ボタンをクリックします。『患者情報』ウィンドウが表示され、患者の詳細が確認できます



カルテ番号を右クリックすると、『カルテ番号コピー』メニューが表示されます。この機能により、正確なカルテ番号をコピーして他のところに貼りつけることができます。



3.3 登録済みの患者情報の変更

1. 情報を変更する場合は、患者を『患者の検索』で検索し、結果リストから当該患者を選択します。
2. ツールバーで『変更』アイコンをクリックします。『患者の変更』ウィンドウが表示されます。



3. 患者の情報を変更し、『変更』ボタンをクリックします。変更された患者情報が保存されます。

3.4 登録済みの患者の削除

1. 削除を希望する患者を検索し、検索された結果リストから患者を選択します。
2. ツールバーで『削除』アイコンをクリックして選択した患者を削除します。



4. 撮影情報のエクスポート

患者別・モダリティ別・期間別に、X線放射能露出量・kVp・mA・DAPなどの情報をエクスポートできます。『撮影情報のエクスポート』機能を、患者の撮影回数をモダリティ別に確認できます。

1. ツールバーで『撮影情報のエクスポート』アイコンをクリックします。



2. 『撮影情報のエクスポート』ウィンドウが表示されたら、撮影情報を選択し、『エクスポート』ボタンをクリックします。

- 患者
 - すべての患者:登録済みのすべての患者の撮影情報をエクスポートします。
 - 特定の患者:特定の患者の撮影情報をエクスポートします。
- 性別:選択した性別の撮影情報をエクスポートします。
- 年齢:選択した範囲の年齢に該当する患者の画像の撮影情報をエクスポートします。
- モダリティ:モダリティを選択します。
- 期間:期間を選択します。

患者情報の匿名化

『設定→その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化で撮影情報のエクスポートが選択されている場合、撮影情報のエクスポート時に以下のようにオプションがアクティブ化します。



取得情報にエクスポートする

患者 すべての患者 特定の患者

性別
 男性 女性 その他

年齢
 ~

モダリティ
 すべて

期間
 本日 先週
 先月 ユーザー

患者情報匿名化
 適用 適用できません

エクスポート キャンセル

当該オプションで『使用』を選択すると、患者情報を匿名化してエクスポートできます。

- Acquisition list のファイル名と位置を指定し、『保存』ボタンをクリックします。撮影情報が Excel ファイル(*.csv)に保存されます。

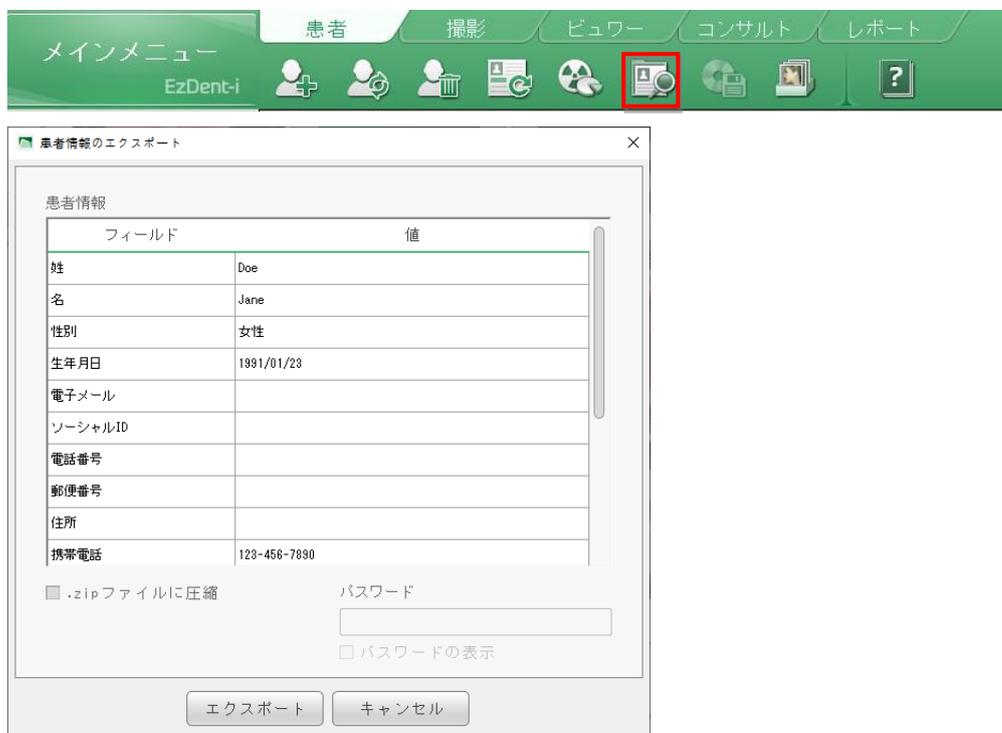
No.	Chart No.	Patient's Name	Gender	Age	Birthday	Social ID	Doctor	Operator	Image Type	Position(or Tooth No.)	kVp	mA	DAP(dGyCm ²)	Exposure Time	Date	
1	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Sensor		55	0	0	0	0	10/27/2021 11:21
2	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Impression	Lower	0	0	0	0	0	10/27/2021 11:22
3	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Scanner	Lower	0	0	0	0	0	10/27/2021 11:22
4	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Scanner	Upper	0	0	0	0	0	10/27/2021 11:22
5	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					3D Object	None	0	0	0	0	0	10/27/2021 11:22
6	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		85	6	0	0	5900	10/27/2021 11:23
7	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Sensor		55	0	0	0	0	10/27/2021 11:34
8	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		85	6	0	0	5900	10/27/2021 12:13
9	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		85	6	0	0	5900	10/27/2021 12:16
10	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		85	6	0	0	5900	10/27/2021 12:18
11	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		85	6	0	0	5900	10/27/2021 12:21
12	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		85	6	0	0	5900	10/27/2021 12:21
13	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Impression	Upper	0	0	0	0	0	10/27/2021 13:09
14	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Scanner	Buccal Bite	0	0	0	0	0	10/27/2021 13:36
15	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					CT		104	6.5	18.7807	18000	10/27/2021 14:12	
16	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Panorama	Standard	104	6.5	18.7807	18000	10/27/2021 14:12	
17	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Cephalo	Lateral	104	6.5	18.7807	18000	10/27/2021 14:12	
18	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Sensor		54	0	0	0	0	10/27/2021 15:37
19	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Image Plate		53	0	0	0	0	10/27/2021 15:37
20	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Panorama	None	0	0	0	0	0	10/27/2021 15:37
21	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					Cephalo	None	0	0	0	0	0	10/27/2021 15:37
22	20211027_112117	565 Male	2	1/1/2019					IO Camera		16	0	0	0	0	10/27/2021 15:39
23	1	11 Other	0	1/1/2021					IO Scanner	Buccal Bite	0	0	0	0	0	10/27/2021 11:22
24	1	11 Other	0	1/1/2021					3D Photo	None	0	0	0	0	0	10/27/2021 16:03
25	1	11 Other	0	1/1/2021					DSLR	Upper	0	0	0	0	0	10/27/2021 16:03

- 『撮影情報のエクスポート』機能から確認できる情報は次の通りです。
:カルテ番号・患者名・生年月日・Social ID・Doctor・Image Type・kVp・mA・DAP・Exposure time・Date
- kVp・mA・DAP の情報がない項目はデフォルト値「0」に表示されます。
- DAP Sum は小数点第 4 桁まで Excel Sum 値と同じ値でエクスポートされます。

5. 患者情報のエクスポート

患者の個人情報を閲覧し、登録された情報を csv または zip ファイル形式で保存することができます。

1. ツールバーで『患者情報のエクスポート』アイコンをクリックします。



2. [エクスポート]ボタンをクリックし、患者情報を.csv ファイルとしてエクスポートするパスを設定します。



NOTE

『.zip ファイルに圧縮』をチェックすると、すべてのファイル(画像、患者情報)を圧縮ファイル(.zip)として[エクスポート]できます。

- パスワードを入力する場合、圧縮ファイルを暗号化して、保護することができます。
- パスワードは最大 12 桁まで入力できます。

6. エクスポート

ツールバーの『エクスポート』アイコンから、選択した患者の画像をCD/DVDまたはファイル形式でEzDent-i外部に保存することができます。



詳細については、「第3章EzDent-iの基本> 3.EzDent-iのメインメニュー> 3.2エクスポート」を参照してください。

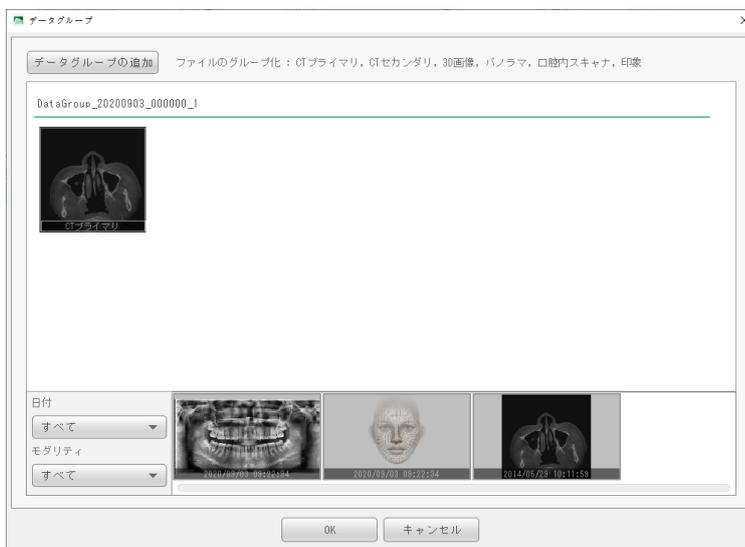
7. データグループ

患者の 2D・3D データを一つのグループにして管理でき、グループ化されたデータは Ez3D-i に一度に送信できます。

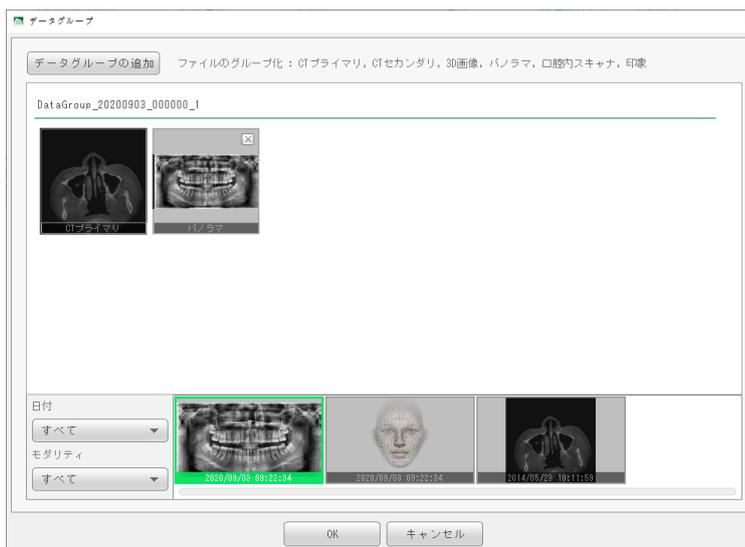
1. ツールバーで『データグループ』アイコンをクリックします。



2. 『データグループ』ダイアログで『データグループの追加』ボタンをクリックすると、次のように新しいデータグループが作成されます。



3. 下の画像をドラッグ&ドロップして、希望のデータグループを構成します。



- CTと一緒に取得したパノラマ画像は、当該CTと同じグループに自動で割り当てられ、自動で割り当てられた画像は削除できません。
- プライマリCTと同じCTはセカンダリCTに選択できません。

- 同じデータ形式の画像を重複して選択する場合には、次のエラーメッセージが表示されます。



- ただし、IO スキャナ、または Impression 画像の場合、一つのデータグループに複数の画像を追加できます。
4. 『データグループの追加』ボタンをクリックすると、続けて複数のデータグループが作成できます。



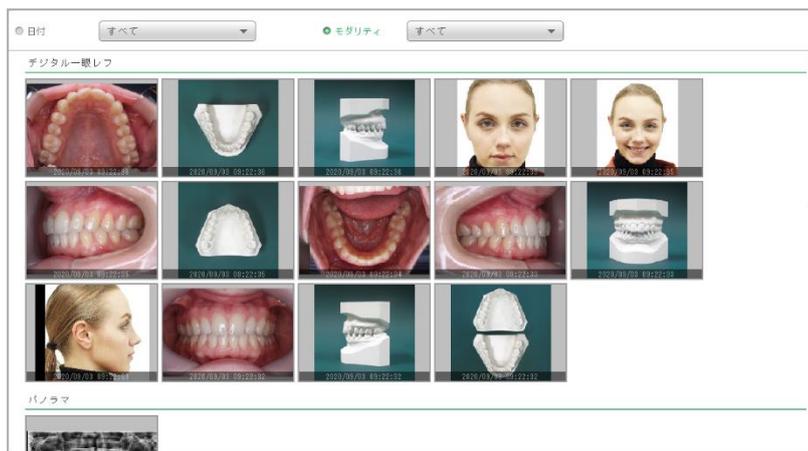
- CT 一枚あたり、一つのデータグループのみ作成できます。
 - データグループに含まれた画像をすべて削除すると、当該データグループは自動で削除されます。
5. 患者タブでデータグループに含まれた CT 画像をクリックすると、Ez3D-i に連携され、当該データグループが伝達されます。

8. 患者画像の分類・管理

8.1 患者画像の分類

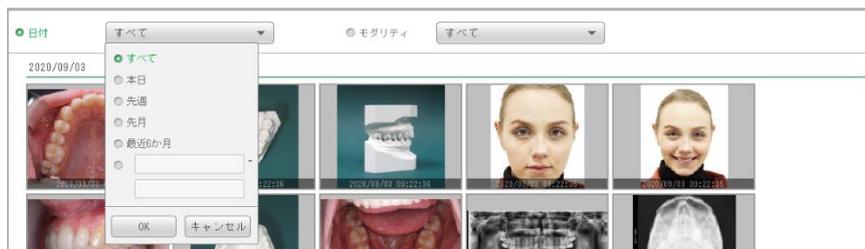
患者タブで表示されている患者画像リストから、患者の画像を日付・モダリティ別に分類できます。

1. 希望する患者を検索し、選択します。
2. 患者画像エリアから日付選択、または期間を入力します。選択した条件に合う画像がエリアに表示されます。



- 『日付』で検索する場合

検索画面で画像リストは日付降順に、各リスト内では時間順に画像が並び替えられます。選択した日付オプションは、撮影タブを除いたすべてのタブに適用されます。

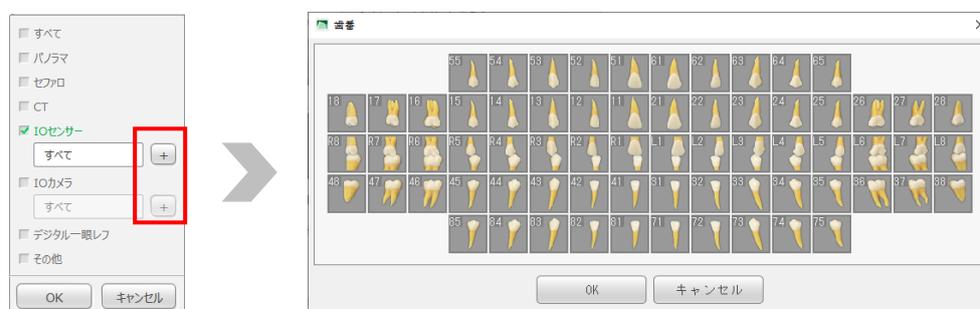


- 『モダリティ』で検索する場合

検索画面で画像リストはモダリティ別に、各リスト内では時間順に画像が並び替えられます。選択したモダリティオプションは、撮影タブ以外のすべてのタブに適用されます。



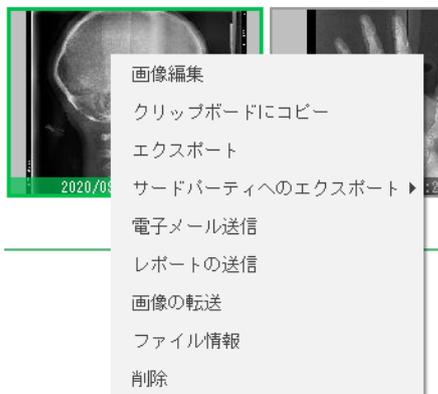
モダリティ別検索条件では IO センサーまたは IO カメラオプションを選択する場合、『+』ボタンをクリックすると歯式図が表示されます。歯式図で希望する歯数を選択すると、条件に合う画像がエリアに表示されます。



選択された患者の画像をダブルクリックすると、ビューアータブで画像が開かれます。CT 画像の場合、3D ビューアーが自動で実行されます。EzDent-i では基本的に Ez3D-i がインストールされている場合、自動で実行されます。基本的に連携しているため、追加の設定は必要ありません。

8.2 患者画像の管理

保存された患者の画像でマウスを右クリックします。患者の画像を管理できる画像編集・クリップボードにコピー・エクスポート・画像の転送・削除などのメニューが表示されます



- 画像編集

選択した画像に適用している編集事項を変更できます。長さ情報の変更・画像回転・初期化などが行なえます。

- クリップボードにコピー

選択された画像をクリップボードにコピーします。選択した画像を「Ctrl+C」するのと同じ機能です。

- エクスポート

EzDent-i に保存されている画像を、EzDent-i の外部に保存する機能です。本機能は「Chapter 1.EzDent-i の基本→ 5.2 エクスポート」で確認できます。

- 電子メール送信

選択した画像を自動で電子メールに添付し、送信する機能です。

「Ctrl」キー+マウスの左クリックで、複数の画像を同時に選択し、電子メール送信オプションを実行することもできます。

- レポートの送信

選択した画像を自動でレポートタブのレポートに挿入する機能です。この時に画像はフィット on サイズで挿入されます。

- 画像の転送

任意の患者に保存されている画像を、他の患者の画像に転送できる機能です。この時に撮影日・画像情報(モダリティ・位置)はそのまま維持された状態で、他の患者に画像を転送させることができ、画像の転送時には撮影日・画像情報は変更できません。撮影情報を変更するには、転送後に Image Editor でユーザーが直接撮影情報を変更します。

1. 転送を希望する画像の上でマウスを右クリックし、『画像の転送』項目を選択します。「Ctrl」キーを押した状態で、複数の画像をクリックして選択できます。『ファイルの転送』ウィンドウが表示されたら、画像を保存したい患者のカルテ番号とパスワードを入力します。入力後、『OK』ボタンをクリックします。



2. 『メッセージ』ウィンドウが表示されたら、画像の転送を行なう場合、『OK』ボタンをクリックします。
 - ファイル情報

選択した画像の患者情報・ファイル情報・撮影情報などが確認できます。

メインメニューの『ファイル情報』メニューから同じ機能を使用できます。
 - 削除

選択した患者に保存されている画像を削除します。

 1. 削除を希望する患者の画像を選択し、マウスを右クリックします。

2つ以上の画像を削除する場合、キーボードの「Ctrl」ボタンを押した状態で複数の画像を選択し、マウスを右クリックします。
 2. マウスの右クリックで表示されたリストで、『削除』を選択します。

9. ツールの説明

9.1 主要ツール確認

アイコン	名称	機能の説明
	追加	新しい患者を追加して登録
	変更	登録済みの患者の情報や画像の変更
	削除	登録済みの患者の削除
	患者情報の非表示	画面に表示された患者の情報を非表示
	撮影情報のエクスポート	撮影情報を Excel ファイルにエクスポート
	患者情報のエクスポート	選択した患者の情報をエクスポート
	エクスポート	選択した画像をエクスポート
	データグループ	2D・3D データをグループ化

Chapter 4. 撮影タブ

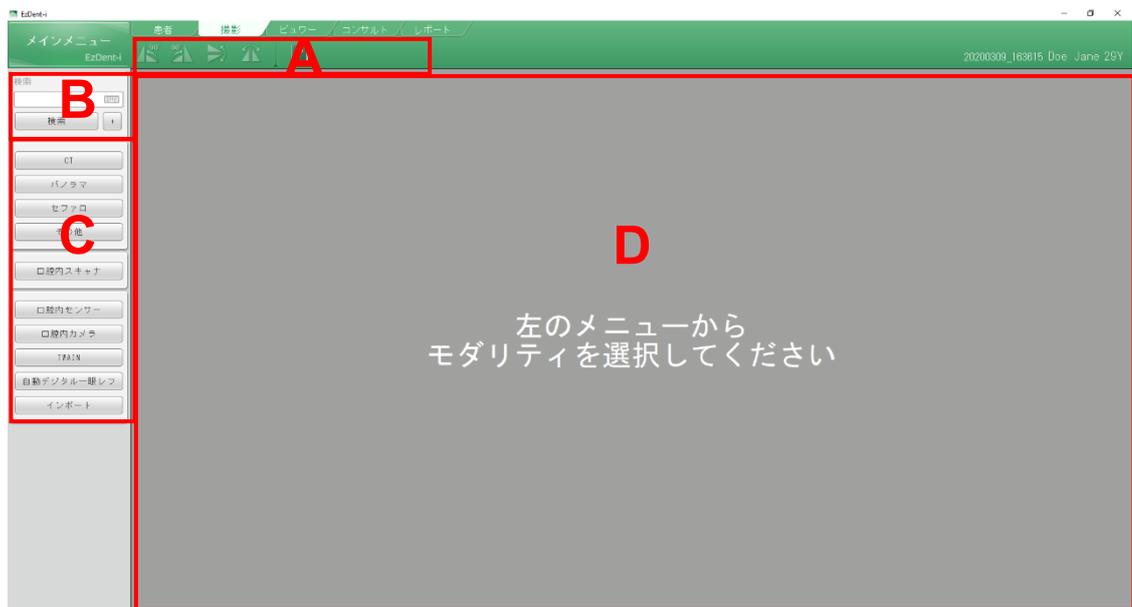
1. 撮影タブの画面構成	85
2. 口腔外の撮影モダリティから画像取得	86
3. IO スキャナから画像取得	87
4. 口腔内の撮影モダリティから画像取得	88
5. コンピュータに保存されている画像を EzDent-i に保存	93
6. ツールの説明	96

1. 撮影タブの画面構成

撮影タブでは CT・パノラマ・セファロ・IO センサー・IO カメラなどのモダリティで画像を撮影し、EzDent-i の Server に保存する機能を提供します。または Server PC やローカルコンピュータから画像を読み込み、任意の患者の画像として保存できます。

EzDent-i は口腔外の撮影モダリティ・口腔内の撮影モダリティ以外の口腔カメラで撮影時、撮影するモダリティが提供する最大解像度をサポートします。

1.1 ワークスペース



- A セクション: 撮影した画像の編集(回転・トリミングなど)用のツールバーです。
- B セクション: 患者の情報検索時に使用します。患者の検索は機能が固定されているため、どのタブでも当該機能が使用できます。
- C セクション: 作業者を指定して撮影モダリティを選択できるボタンと、画像を読み込み、保存できる機能があります。
- D セクション: 画像を保存する前に撮影した画像をプレビューできるエリアです。



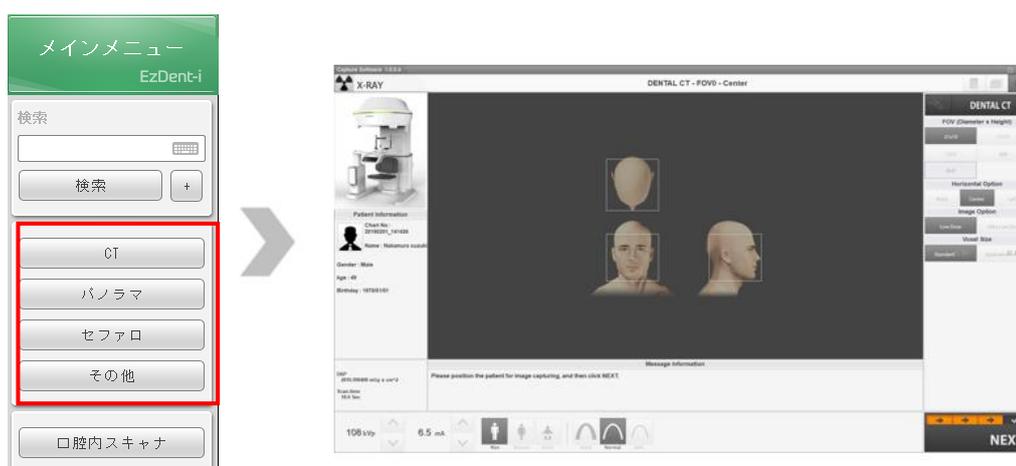
ログイン機能をアクティブ化した場合、作業者はログインしたユーザーに自動で指定され、変更することができません。

2. 口腔外の撮影モダリティから画像取得

口腔外の撮影モダリティから患者を撮影する場合、EzDent-i Console がインストールされている必要があります。インストールされたプログラムが EzDent-i Console の場合、撮影タブの左で撮影モダリティの種類を選択できます。患者を撮影する方法は次のとおりです。

1. 撮影を希望する口腔外の撮影モダリティのボタンをクリックすると、撮影プログラムが表示されます。

その他の撮影モード(ex:3D Photo・モデル Scan)が必要な際、『Others』ボタンを選択すると撮影プログラムが表示されます。



2. 撮影を希望する画像に合わせて撮影オプションを設定し、『Confirm』ボタンをクリックします。
3. 『Ready』ボタンをクリックし、照射スイッチで Shot します。撮影された画像が画面に表示されます。



Vatech で製造された最新モダリティは、すべて撮影プログラムを使用して画像を取得します。撮影プログラムの使用方法は、Vatech モダリティマニュアルで確認できます。

3. IOスキャナから画像取得

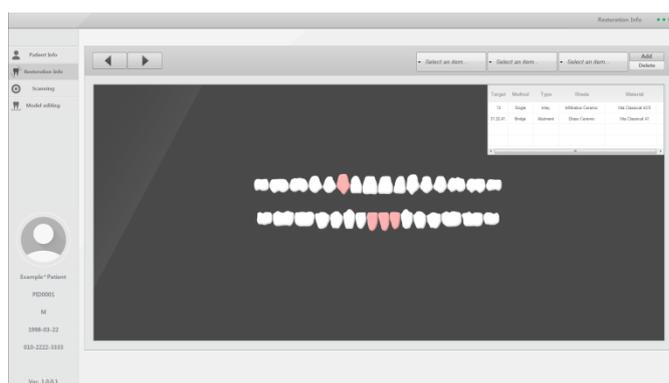


IO スキャナから画像を取得するためには、IO スキャナ コンソールプログラムがコンピュータにインストールされている必要があります。詳細は IO スキャナプログラムマニュアルをご参照ください。

1. 撮影タブの『IO スキャナ』ボタンをクリックします。



2. 次のように IO スキャナプログラムが実行されます。



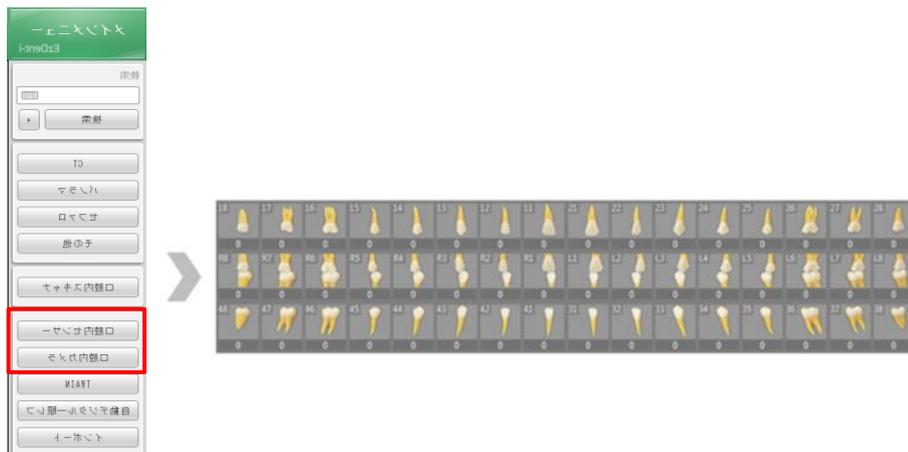
4. 口腔内の撮影モダリティから画像取得

4.1 IO センサー / IO カメラ



IO センサーから画像を取得するためには、IO センサードライバプログラムがコンピュータにインストールされている必要があります。詳細は IO センサー、または IO カメラのマニュアルをご参照ください。

1. 撮影する口腔内の撮影モダリティがコンピュータに接続されている状態で、撮影時に使用する口腔内の撮影モダリティの種類を左のリストから選択してクリックします。歯式図が画面に表示されます。



2. 選択したモダリティに応じて画像処理段階を選択し、撮影を行なうことができます。

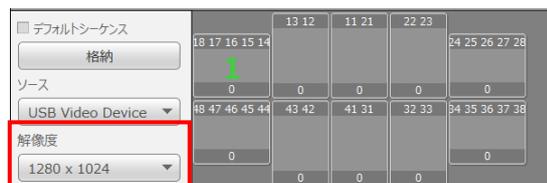
(1) IO センサーモダリティ: IO センサーと、IO センサーフィルタリングオプションを選択できます。



- IO センサー選択: 現在接続済みの IO センサーリストが最大で 4 個まで表示され、希望する IO センサーのモダリティを選択できます。
- IO センサーフィルタリング: 選択したモダリティが提供する画像フィルタリングオプションを選択できます。

ただし、Rayence センサードライバのバージョンが V6.5 以下の場合、センサー選択や画像処理段階の選択ができず、接続済みの IO センサーが 2 個以上の場合撮影できません。

(2) IO カメラ(口腔カメラ): 解像度が選択できます。

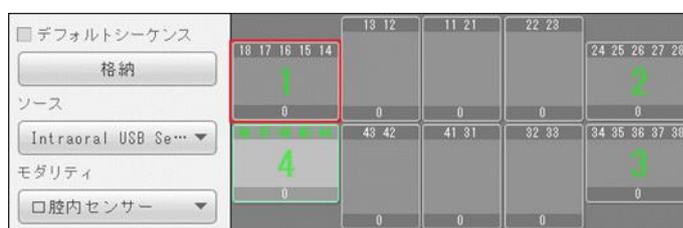


(3) DSLR: 画像は最大 1920 X 1080 (Full HD)サイズまでサポートされます。最大サイズより大きい画像の場合、横最大 1920 ピクセル、縦最大 1080 ピクセルサイズで、自動で調節されます。

3. 撮影された画像を配置するレイアウトを選択します。左のリスト下の『レイアウト変更』ボタンをクリックして希望するレイアウトを選択します。画面に表示されるレイアウトが変更されます。

FMX レイアウトを選択した場合、Default Sequence オプションを選択できます。IO センサー / IO カメラのどちらも Sequence 撮影ができ、当該 FMX レイアウトについてのみ指定した Sequence を、『保存』ボタンをクリックして保存することができます。

- デフォルトシーケンス選択時: 基本的に決められている順番通りに撮影された画像が FMX に配置されます。
- デフォルトシーケンス未選択時: ユーザーが FMX をクリックする順番にしたがって、撮影された画像が FMX に配置されます。現在撮影中の位置の枠が赤色で表示されます。



4. モダリティに患者を誘導し、『準備完了』ボタンをクリックします。



- 画像取得が準備された状態で、ワークスペースをダブルクリックすると、『準備完了』ボタンをクリックしたのと同じ動作が行なわれます。



5. 口腔内の撮影モダリティが正常に接続された場合、画像の取得モードが始まります。
 - IO センサーで撮影時、照射スイッチを利用して X 線を照射します。
 - IO カメラの場合、撮影スイッチを押すと画像の取得が完了します。
 - IO カメラで患者の撮影時、キーボードで撮影ができます。「メインボタン→設定→撮影→全般 タブ」に移動し、『IO カメラ撮影キー設定』を行ない、キーボードを通して IO カメラの画像撮影ができます。
 - 口腔内の撮影モダリティ(IO センサー・IO カメラ・自動 DSLR)で撮影時、最後に撮影した画像は基本的に FMX フレームとサムネイルリストの一番前に配置されます。
6. 連続撮影時、画像が初めに選択された歯に配置されます。一つの歯に集まっている画像をそれぞれの歯の位置にドラッグ & ドロップし、再配置します。
 - IO センサーの Teeth Mode/ FMX レイアウトでマウスを右ダブルクリックし、連続で撮影できます。
 - FMX の順序を指定し連続撮影時、再撮影ができます。
 - IO Sensor で FMX レイアウトを利用して連続で撮影する場合、『スキップ』ボタンをクリックすると特定の歯番号の撮影をスキップできます。
7. サムネイルでデータベースへの保存を希望する画像を選択し、『DB への保存』ボタンをクリックします。撮影された画像がデータベースに保存されます。
 - サムネイルで並んでいる画像を複数選択する場合、「Ctrl」ボタンを押した状態で画像を選択します。
 - 画像の保存方法はメインボタンの設定で変更できます。『設定→撮影→全般』で保存オプションの IO センサーを『手動』から『自動 DB 保存』に変更すると、撮影された画像はすべて自動でデータベースに保存されます。



IOセンサーで撮影した画像は、DICOMファイル形式で保存されます。
 インポート機能でIOセンサー画像を保存する場合、ソフトファイル形式で保存されます。

4.2 TWAIN

TWAIN は、画像取得ソフトウェアと画像取得モダリティ(スキャナまたはデジタルカメラ)を接続する標準画像取得ドライバです。画像取得モダリティが TWAIN をサポートしている場合、EzDent-i で画像の取得が可能です。

1. 左のリストから『TWAIN』ボタンをクリックします。画面が TWAIN に合わせて変更されます。



2. 『ソース』と『モダリティ』のドロップダウンメニューをクリックし、適合するソース・モダリティを選択します。

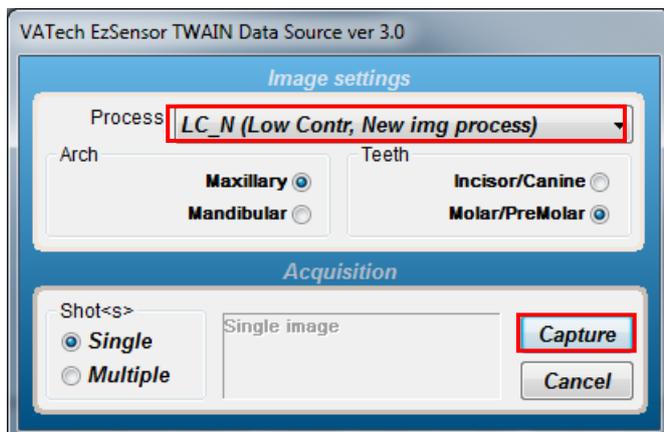


3. 『撮影』ボタンをクリックします。



- 『撮影』ボタンが表示されない場合は、左のリストからマウスのスクロールを調節すると、隠れていたボタンが表示されます。

- 当該モダリティで提供する画像撮影プログラムでオプションを選択し、『Capture』ボタンをクリックします。



NOTE

本マニュアルでは、EzSensor のドライバが提供される場合をもとに説明しています。TWAIN を活用した他ドライバの画像取得方法は、各モダリティのユーザーマニュアルをご参照ください。

TWAIN に 2 個以上のドライバがある場合、ユーザーが最後に選択したモダリティが保存されます。

- 取得した画像がサムネイルリストに表示されます。
- 取得した画像を EzDent-i の Server に保存するために、取得した画像をサムネイルでクリックして選択します。サムネイルで画像を選択し、『DB への保存』ボタンをクリックします。



- TWAIN 画像の読み込み中にモダリティを変更する場合、まだ保存されていない画像のみ変更されたモダリティのレイアウトに移動します。
 - TWAIN の撮影中にモダリティが Ceph、またはパノラマの場合には、レイアウトの変更ができません。
- 撮影された画像が正常にデータベースに保存されると、完了ウィンドウが表示されます。

5. コンピュータに保存されている画像をEzDent-iに保存

事前に撮影され、ユーザーのコンピュータに保存済みの画像を、EzDent-i に保存された当該患者の画像にインポートし、保存します。

1. 左のリストから『インポート』ボタンをクリックし、右でインポートする画像に該当するモダリティの種類を選択します。



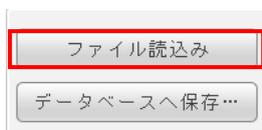
2. 必要な場合、『レイアウト変更』ボタンをクリックして希望するレイアウトを選択します。選択したレイアウトに応じて画面が変更されます。



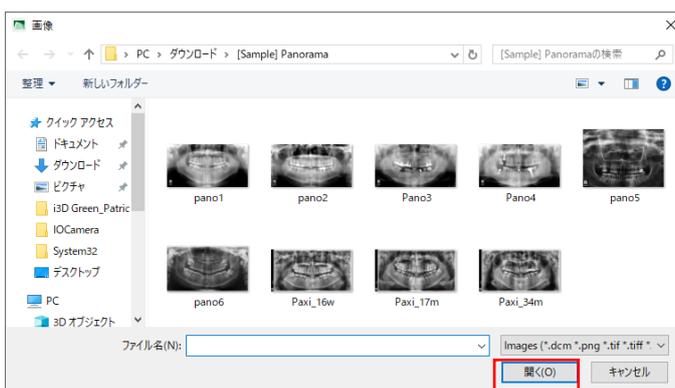
NOTE

Teeth Codeレイアウトを選択する場合、患者の年齢が13歳以上の場合は自動で「Teeth Code Adult」レイアウトが適用され、満13歳未満の場合「Teeth Code Children」レイアウトが自動で適用されます。ただし、『レイアウトの変更』によりレイアウトを変更する場合、年齢に関係なくレイアウトを変更できます。

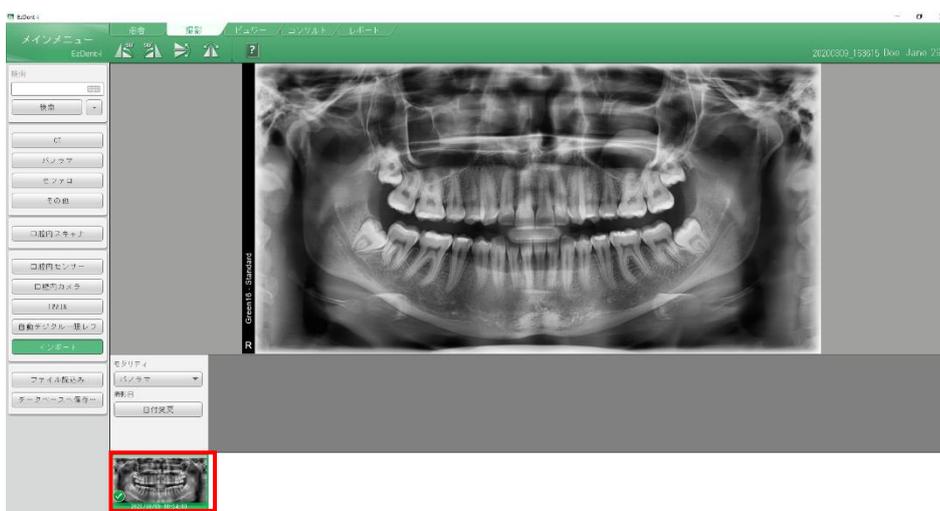
3. コンピュータに保存されている画像を読み込むために、『ファイル読み込み』ボタンをクリックします。読み込む画像を選択するウィンドウが表示されます。



4. 『画像』ウィンドウで読み込む画像を選択し、『開く』ボタンをクリックします。複数の画像を選択するためには「Ctrl」キーを押したまま画像を選択します。



5. 画像が正常に読み込まれた場合、下のサムネイルに画像が表示されます。



FMX・Teeth Box に複数の画像がある場合、マウスホイールをスクロールするか、左右の矢印をクリックして画像間の移動ができ、ビューエリアに選択された画像が自動でアップデートされます。



Import された画像の撮影日や時間を変更する場合は、『撮影日』メニューをクリックします。ただし、5 個の画像を同時に Import し、そのうち 2 個の画像のみを選択し日付を変更する場合、選択しない残りの 3 個の画像には変更した日付が適用されません。



6. 取得した画像を EzDent-i の Server に保存するために、画像のサムネイルのチェックボックスをクリックして保存したい画像をすべて選択します。左のリストから『DB への保存』ボタンをクリックすると、画像がデータベースに保存されます。
7. DB の保存が完了すると、取得した画像の保存が正常に行われたことを知らせる完了ウィンドウが表示されます。

6. ツールの説明

6.1 主要ツール確認

アイコン	名称	機能の説明
	90° CCW	反時計周りに 90°回転
	90° CW	時計周りに 90°回転
	垂直反転	画像を垂直に反転
	水平反転	画像を水平に反転



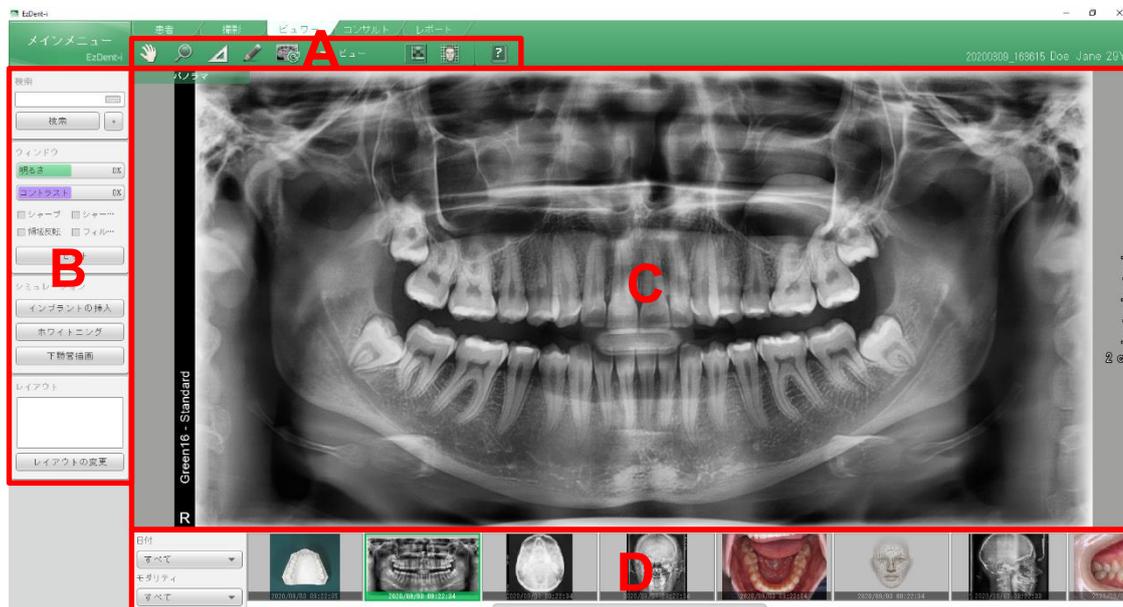
画像の方向を変更し、『DB への保存』ボタンをクリックしてデータベースに保存すると方向が変更された画像が保存されます。

Chapter 5. ビューアータブ

1. ビューアータブの画面構成.....	99
2. 画像調節.....	101
3. レイアウト設定.....	107
4. インプラントシミュレーション.....	113
5. 歯のホワイトニングシミュレーション.....	119
6. 下顎管シミュレーション.....	121
7. ユーザーキャリブレーション.....	122
8. オーバーレイを含めて画像をエクスポート.....	125
9. PACS 転送.....	126
10. Insight Navi.....	127
11. 画像情報.....	133
12. ツールの説明.....	134

1. ビューアータブの画面構成

1.1 ワークスペース



- A セクション: 測定や画像の拡大/移動などの機能を提供するツールバーです。
- B セクション: 画像処理・シミュレーション機能を提供するエリアです。
- C セクション: 患者の画像を選択したレイアウトに出力し、画像の診断ができるエリアです。
- D セクション: 選択した患者の画像をサムネイルで表示するエリアです。

1.2 ツールバー



ツールバーは主要ツール、お気に入りツール、拡張ツール、ヘルプで構成されています。

番号	項目	説明
1	主要ツール	基本的に提供されているツールアイコングループです。
2	お気に入りツール	お気に入りとして使用するグループを設定で指定することができます。ビューグループが基本設定されています。

番号	項目	説明
3	拡張ツール	<p>6個のアイコングループ(ビュー、Insight、測定、注釈、キャプチャー、その他)をドロップダウンリスト形式で提供しています。ただし、お気に入りに指定したグループは、ドロップダウンリストから除外されます。</p> 
4	ヘルプ	電子マニュアルを利用して希望する機能を素早く簡単に見つけることができます。

2. 画像調節

EzDent-i のウィンドウ機能で画像の明るさ・コントラストを調節でき、画像にシャープ度・反転・フィルム効果が適用できます。



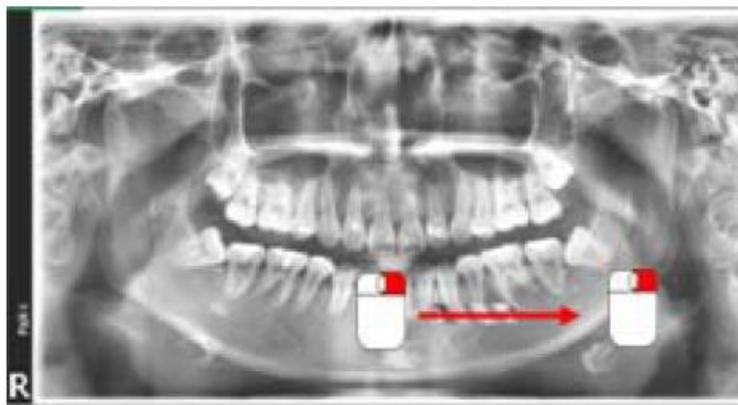
ビューアータブで適用したウィンドウは、コンサルトタブとレポートタブでも画像に適用した状態が表示されます。ただし、レポートに映像が入力された後、変更したウィンドウは適用されません。

2.1 画像の明るさの調節

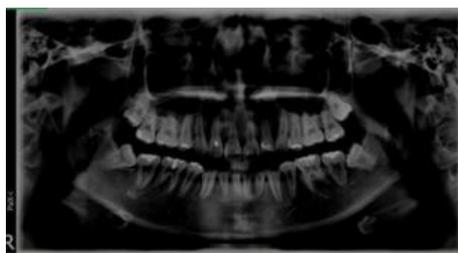
画像の全体をさらに明るく、または暗く調節します。



- 『明るさ』スライダーバーの左右の調節、または画像上でマウスを右クリックしながら左右にドラッグすることで、画像の明るさを調節できます。



- 『明るさ』の-100と100の画像比較は次のとおりです。



明るさ -100



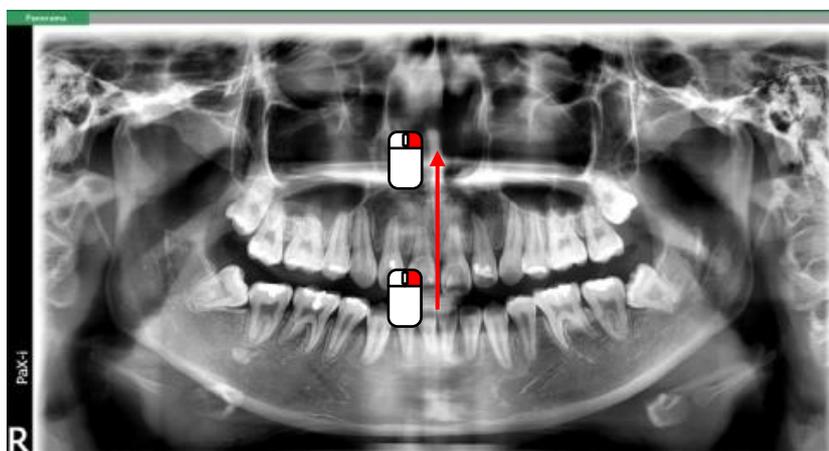
明るさ 100

2.2 画像のコントラストの調節

画像で黒色と白色の対比をはっきりさせる効果があります。薄く見える神経や組織が、さらにシャープに確認できます。



- 『コントラスト』スライダーバーの左右の調節、または画像上でマウスを右クリックしながら上下にドラッグすることで、画像のコントラストを調節できます。



- 『コントラスト』の-100と100の画像比較は次のとおりです。



コントラスト -100



コントラスト 100

2.3 画像のシャープ度の調節

画像の境界部分を調節し、線がさらにはっきり見えるようにします。下顎管などをはっきりと確認するためには、『シャープ』または『シャープ強』が選択できます。



- 『シャープ』または『シャープ強』を選択し、シャープ効果が適用できます。オリジナル画像と効果が適用された画像との比較は次のとおりです。



オリジナル画像



『シャープ強』が適用された画像

2.4 画像の白黒反転

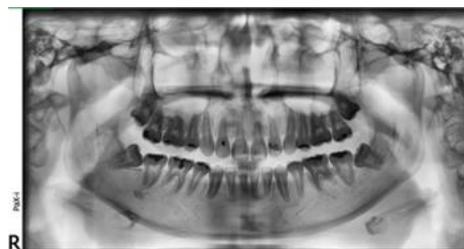
黒色のピクセルは白色のピクセルに、白色のピクセルは黒色のピクセルに変える効果があります。ユーザーの好みに合わせて選択できます。



- 『白黒反転』を選択し、効果が適用できます。オリジナル画像と効果が適用された画像との比較は次のとおりです。



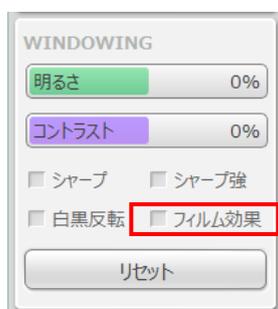
オリジナル画像



『白黒反転』効果が適用された画像

2.5 フィルム効果適用

画像をフィルムスタイルに適用する場合、『フィルム効果』を選択します。『フィルム』効果を適用できません。



- オリジナル画像と『フィルム効果』効果が適用された画像との比較は次のとおりです。



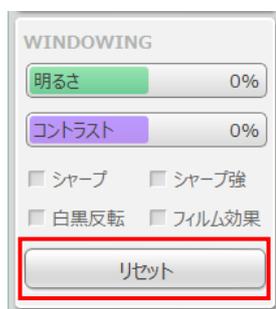
オリジナル画像



『フィルム効果』効果が適用された画像

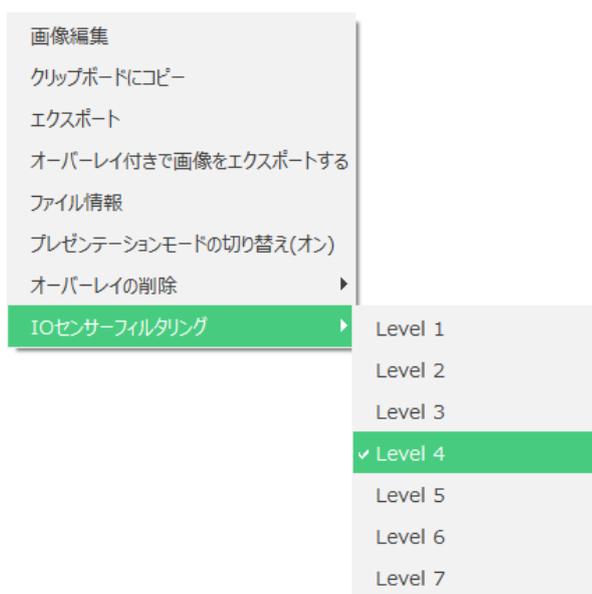
2.6 画像の初期化

適用された画像の処理を削除し、初期画像の状態に戻したい場合は『リセット』ボタンをクリックします。



2.7 IO センサーフィルタリング

IO センサーで撮影した画像の場合、ビューアータブで画像を右クリックすると、「IO センサーフィルタリング」メニューがアクティブ化します。このメニューを通して画像処理のレベルをレベル 1 からレベル 7 まで選択できます。現在適用されたレベルは右のチェック表示で確認できます。



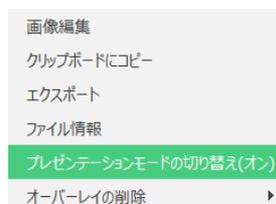
- フィルタリング機能サポート範囲
 - IO センサーフィルタリング: EzSensor・AnySensor を除く Rayence 製品サポート
- 画像処理の感度は、IO センサードライバーに設定されている値によって異なります。詳細については、製造元にお問い合わせください。

2.8 プレゼンテーションモード

ワークスペースで実行中の画像を、プレゼンテーションモードに変換できます。

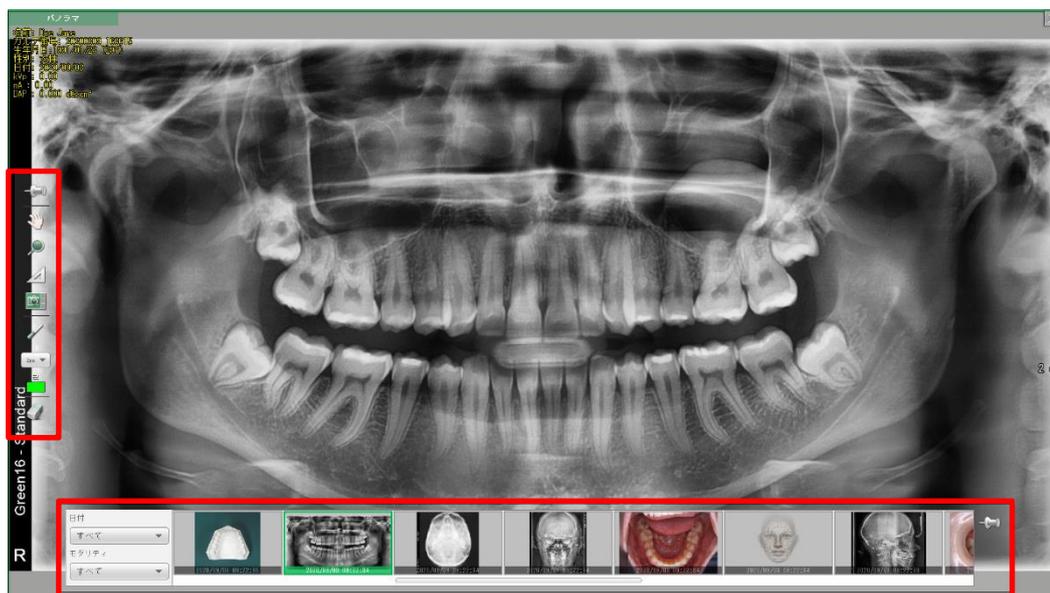
■ プレゼンテーションモードの実行方法

- 画像上でマウスを右クリックし、メニューからプレゼンテーションモードを実行します。キーボードの「Ctrl + Enter」キーを利用して同じ機能を実行できます。



- ビュータブでワークスペースをダブルクリックします。ただし、ズーム・移動機能を除く他のツールバーの機能を実行中の場合は、ダブルクリックするとプレゼンテーションモードに変換されます。
 - タイトルバーをダブルクリックすると、当該ビュー内で画面を最大化できます。
- ### ■ プレゼンテーションモードのツールバー

拡大された画像の左と下にある矢印 ▶ の上にマウスを乗せると、隠れていたビューアのツールバーが表示されます。



■ プレゼンテーションモードの患者情報

画面左上に表示された患者情報のオン/オフが可能です。プレゼンテーションモードでマウスを右クリックして、『患者情報のオン/オフ』を選択します。

■ プレゼンテーションモードの終了

プレゼンテーションモードを終了する時は、右上の終了ボタンをクリックします。

3. レイアウト設定

ワークスペースをユーザーが好きなように分割し、複数の画像を一つの画面で確認できます。このような機能をレイアウトといい、EzDent-i では複数の様々なレイアウトを提供しています。

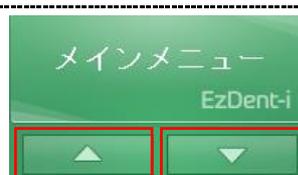
3.1 レイアウト変更

- 『レイアウトの変更』ボタンをクリックします。『レイアウトの変更』ウィンドウが表示されます。

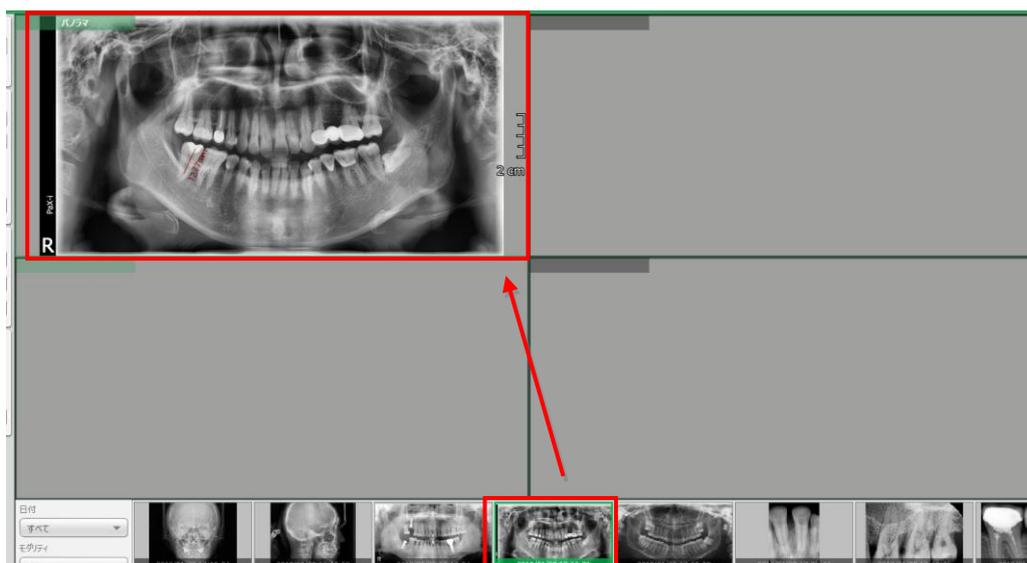


NOTE

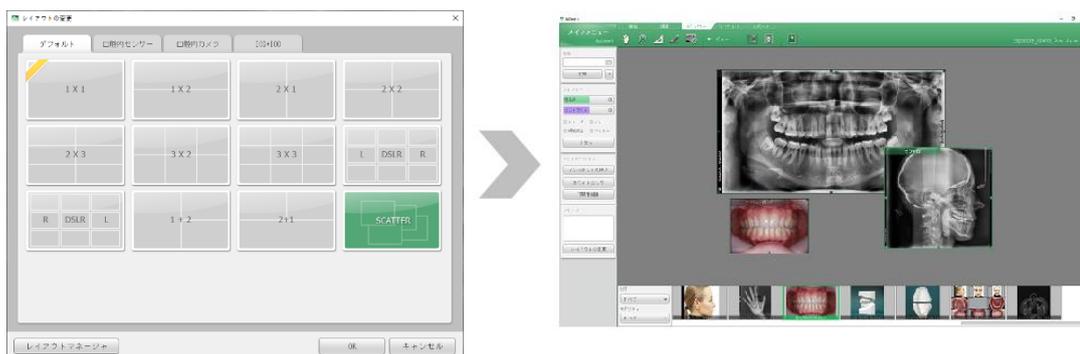
『レイアウトの変更』ボタンが画面に表示されない場合、マウススクロールを調節したり、メインメニューボタンの下の矢印ボタンをクリックしたりすると隠れていたボタンが画面に表示されます。



- 希望のレイアウトをダブルクリックするか、選択し『OK』ボタンをクリックします。ワークスペースの構成が選択したレイアウトに変更されます。
- サムネイルがある画像をドラッグ&ドロップし、分割されたワークスペースに配置します。



- 多重レイアウトの適用時
多重レイアウトの状態では他の患者を検索すると、レイアウトリストの最初のウィジェットに画像が表示されます。
- レイアウトビューの優先順位
横→縦・左→右・上→下
- SCATTER レイアウトの適用時
レイアウト変更ウィンドウで、SCATTER の選択時、ユーザーが希望する画像を重ねて自由に配置させることができます。この時に患者の情報は隠れ、画面に表示されません。患者の情報を確認する時は、マウスの右クリックで情報の表示設定ができます。



SCATTER レイアウトで画像を移動させる場合、画像のモダリティの項目がある部分でマウスをドラッグします。また右上にマウスカーソルを移動させると、終了できる『X』ボタンが表示されます。

- FMX レイアウトの適用時
各 View に一つ以上の画像がある場合、『<』または『>』ボタンをクリックして前の画像、または次の画像に移動できます。



- 多重レイアウトの状態ではレポートにエクスポート
多重レイアウトの状態(Bitewing レイアウトを含む)や、特定の画像をダブルクリックして全画面で表示する際に、『レポートにエクスポート』ボタンをクリックすると画像はフィット on サイズで、ビューアータブで表示されるレイアウト状態そのままレポートに挿入されます。

3.2 デフォルトレイアウトに設定

1. 『レイアウトの変更』ボタンをクリックします。『レイアウト変更』ウィンドウが表示されます。
2. 希望するレイアウトを選択し、マウスを右クリックして『デフォルトに設定』をクリックします。



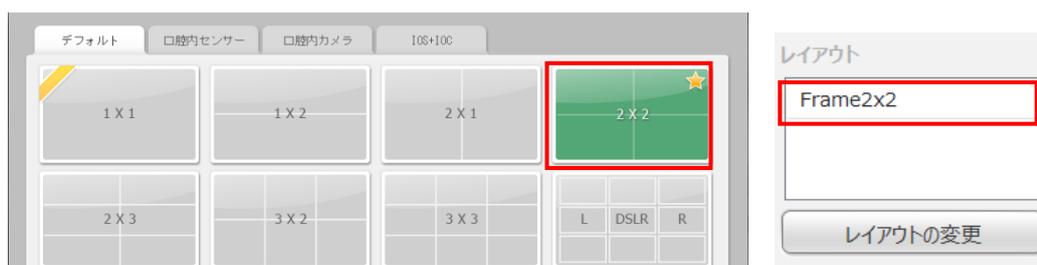
3. 『OK』ボタンをクリックすると、ワークスペースの構成が選択したレイアウトに変更されます。

3.3 お気に入り追加

1. 『レイアウトの変更』ボタンをクリックします。『レイアウト変更』ウィンドウが表示されます。
2. 希望するレイアウトを選択し、マウスを右クリックして『お気に入り追加』をクリックします。



3. 選択したレイアウトに星マークがついたら『OK』ボタンをクリックします。コントロールパネルのレイアウトリストに追加したレイアウトが表示されます。



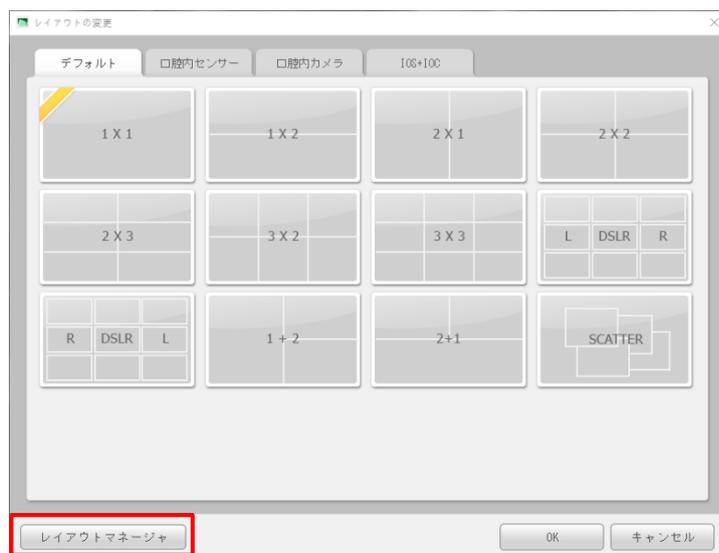
3.4 お気に入り追加

ユーザーが新しいレイアウトを追加/削除するか、『レイアウトの変更』ウィンドウに表示されているレイアウトリストを変更したい場合は、レイアウトマネージャーを利用します。

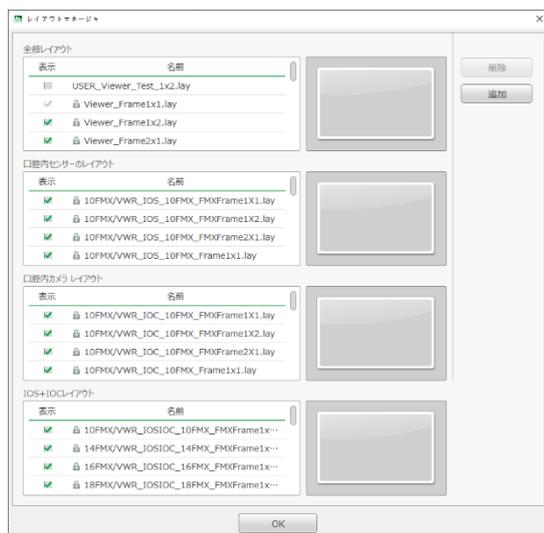
- 表示/非表示設定

1. 『レイアウト変更』ボタンをクリックします。『レイアウト変更』ウィンドウが表示されます。

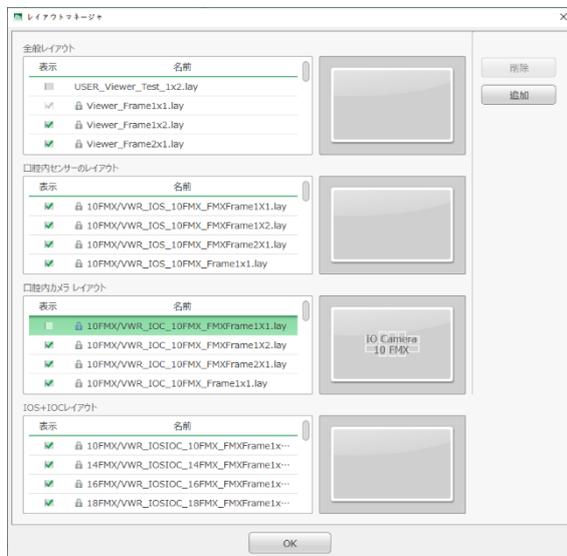
2. 『レイアウト変更』ウィンドウ下の『レイアウトマネージャー』ボタンをクリックします。



3. 次のように『レイアウトマネージャー』ウィンドウが表示されます。

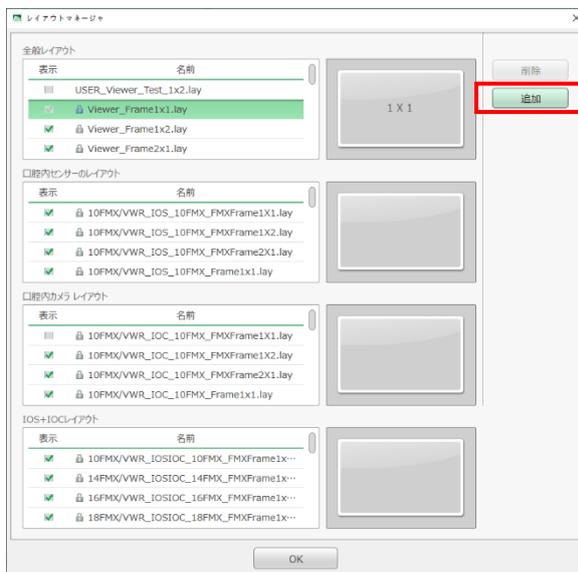


4. 『レイアウト変更』ウィンドウに表示させたいレイアウトは『表示』にチェックを入れ、非表示にしたい項目はチェックを解除してから『OK』ボタンを押します。

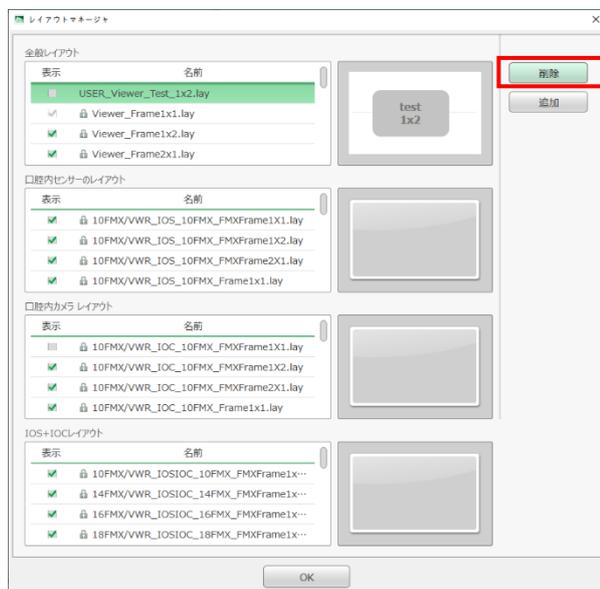


■ レイアウトの追加/削除

1. デフォルト提供のレイアウト以外にダウンロードしたレイアウトを追加する場合、『新規登録』ボタンをクリックします。ただし、追加するレイアウトファイルは事前にダウンロードしておく必要があります。



- レイアウトマネージャーウィンドウで特定のレイアウトを削除したい場合、当該レイアウトをクリックしてから『削除』ボタンを押します。



4. インプラントシミュレーション

EzDent-i は 2 種類のインプラント挿入方法を提供します。一つ目は歯の長さを測定せずに『インプラント』ボタンをクリックしてユーザーが挿入を希望するインプラントを直接選択する方法で、二つ目は長さを測定して測定した長さに最も似たインプラントを推薦する方法です。

4.1 インプラント挿入(オプション: 自動/手動)

1. シミュレーションの『インプラントの挿入』ボタンをクリックします。『インプラントマネージャー』ウィンドウが表示されます。



2. 『インプラントマネージャー』ウィンドウで挿入を希望するインプラント情報を選択します。挿入する歯を探してダブルクリックし、会社・モデル・インプラントアイテムなどを選択します。



- 『シングル』: 一本の歯にインプラントを挿入できます。
『Multiple』: 歯及びインプラントの情報を連続で選択し、複数のインプラントを一度に挿入できます。
- 『デフォルトに設定』ボタンをクリックすると、選択したインプラントを該当の歯数のデフォルトインプラントに変更できます。
- 『インプラントマネージャー』ウィンドウにインプラント情報が表示されていない場合、ImplantDB.exe をインストールしてください。



歯数に従って特定のインプラント(インプラント会社・モデル・インプラント情報)がデフォルトに設定されています。デフォルトインプラントは『メインメニュー→設定→シミュレーション→デフォルトインプラントモデル』で変更できます。

3. インプラント挿入時にクラウンも一緒にシミュレーションする場合、『クラウン』オプションをチェックします。

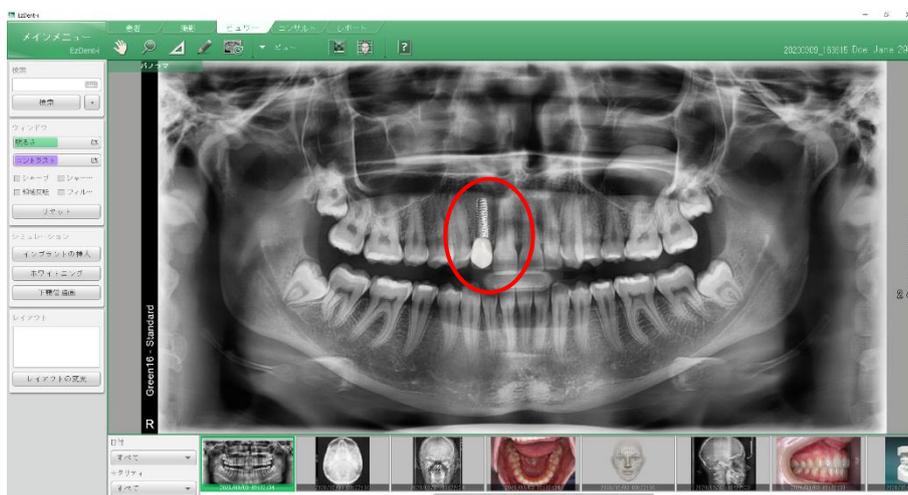
- 『クラウン』をチェックする場合、クラウンの色(ホワイト・ゴールド・スチール)を設定できます。



- インプラントはチェックせず『クラウン』のみにチェックする場合、クラウン単独の挿入が可能です。



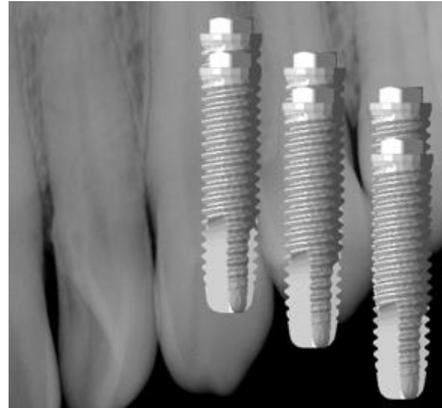
- 『確認』ボタンをクリックすると、任意の位置にインプラントが配置されます。



- 自動挿入: 選択した特定の歯数に従って任意の位置にインプラント挿入
- 受動挿入: マウスで選択した位置にインプラント挿入



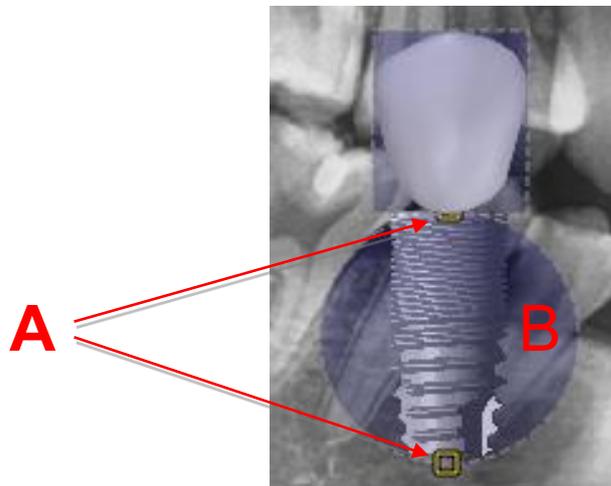
パノラマ以外のモダリティ画像に複数のインプラントを自動挿入する場合は、左側から順番にインプラントを挿入します。



5. インプラントをドラッグして方向と位置を調節し、希望する位置にインプラントを移動できます。



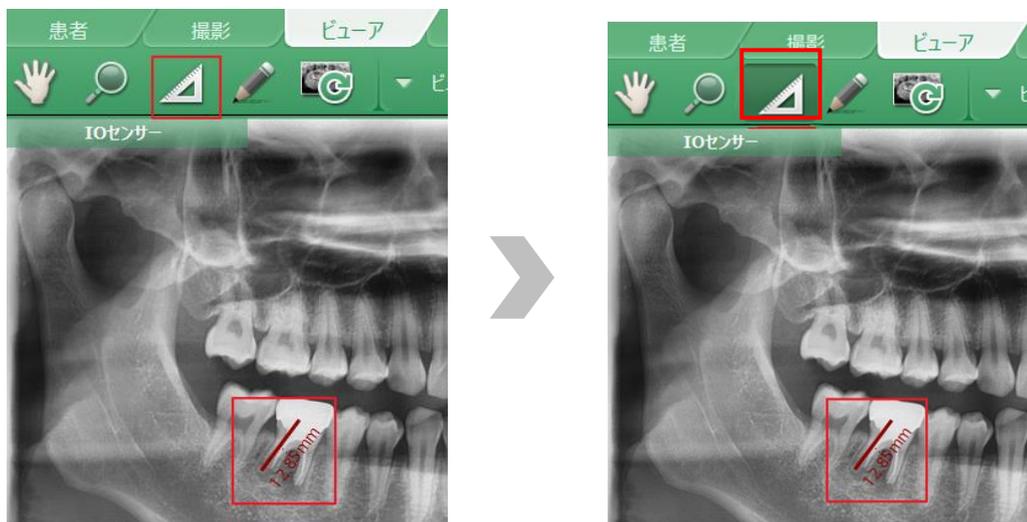
方向と位置はそれぞれ次のように調節します。



- A. この表示をドラッグしてインプラントの方向を調節します。
 B. 円の内側をドラッグしてインプラントの位置を調節します。

4.2 長さ測定挿入

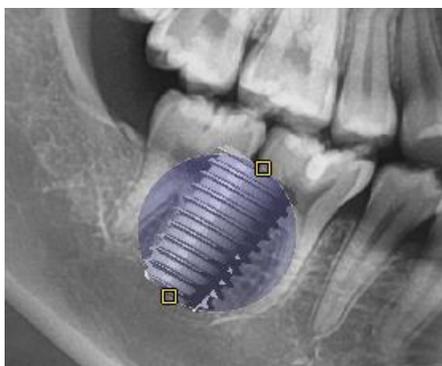
1. ツールバーで『長さ』アイコンをクリックし、挿入する歯の二点をクリックして長さを測定します。表示された線とその長さが画像に表示されます。測定が完了すると『長さ』アイコンを再びクリックして、当該機能を解除します。



2. 測定した長さが表示された線をクリックして選択してから、マウスを右クリックして『インプラントの挿入』を選択します。



3. 先ほど測定した歯根の長さに合うインプラントオプションが表示されます。希望するインプラントオプションをクリックすると、インプラントが自動で挿入されます。



4.3 挿入されたインプラントのコピー・ペースト

1. 挿入されたインプラントを選択し、マウスを右クリックして『インプラントのコピー』を選択します。



2. 挿入したい位置で、マウスを右クリックして『インプラントの貼り付け』を選択します。希望する位置に当該インプラントが挿入されます。



4.4 インプラント変更

1. 挿入されたインプラントを選択し、マウスを右クリックして『プロパティ』を選択します。



2. 『インプラントマネージャー』ウィンドウが表示されたら、インプラントプロパティを選択して変更します。

挿入するインプラントの歯数・会社・モデル・アイテム・クラウンシミュレーションの有無などのプロパティを変更できます。

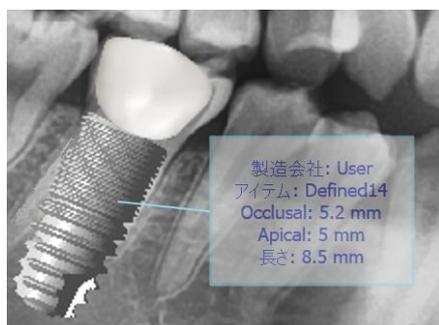
3. 『OK』ボタンをクリックすると、変更した情報に合わせてインプラントが挿入されます。

4.5 挿入されたインプラント情報の表示

1. 挿入されたインプラントをクリックし、マウスを右クリックして『インプラント情報の表示』を選択します。



2. 挿入されたインプラントに対する会社・アイテム・咬合・歯根尖・長さなどの情報が確認できます。



- 情報が表示されたインプラントを再び選択し、マウスを右クリックするとインプラント情報ウィンドウを非表示にできます。
- インプラントの位置を移動すると、インプラント情報も一緒に移動されます。

4.6 インプラント削除

挿入されたインプラントを選択し、マウスを右クリックして『削除』を選択します。当該インプラントが画面から削除されます。



ツールバーの『すべてを初期化』アイコンを使用する場合、挿入されたインプラントだけではなく、入力済みの『Free Draw』もまた一緒に削除されます。

5. 歯のホワイトニングシミュレーション

ニコチンなどにより、歯の着色がひどい部分にホワイトニング施術をシミュレーションできます。本機能を使用するためには、当該患者の画像リストに DSLR の画像の準備が必要です。

シミュレーションの『ホワイトニング』ボタンをクリックすると、『ホワイトニング』ウィンドウが表示されます。ホワイトニングシミュレーションは『エリア』と『ブラシ』の 2 種類の方法から機能を使用できます。



5.1 エリアを使用したホワイトニング効果の適用

1. 『ホワイトニング』ウィンドウで『エリア』ボタンをクリックし、ボックスサイズを調節してホワイトニング効果を適用するエリアを設定します。



2. ホワイトニングウィンドウで『レベル 1』・『レベル 2』・『レベル 3』ボタンを順番にクリックし、ホワイトニング効果の強度を調節します。
3. ホワイトニング効果の強度を選択し、『OK』ボタンをクリックすると適用した効果が保存されます。

5.2 ブラシを使用したホワイトニング効果の適用

1. 『ホワイトニング』ウィンドウで『ブラシ』ボタンをクリックすると、『サイズ』と『強度』のスライダーバーがアクティブ化します。



2. スライダーバーを左右に動かして、ホワイトニングブラシのサイズと強度を調整します。
3. ホワイトニング効果を出したい部分をマウスでこすります。歯が白く表示されます。



4. 『OK』ボタンをクリックすると、適用した効果が保存されます。

6. 下顎管シミュレーション

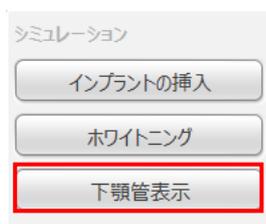
インプラント挿入シミュレーションの前に、患者の下顎管の位置を表示し、インプラントシミュレーション時に参照できる機能です。

1. 下顎管シミュレーションをする前に、ユーザー長さの補正を行ないます。



ユーザー長さの補正方法は、本マニュアル「Chapter 5.ビューアータブ → 7.ユーザーのキャリブレーション」でご確認ください。

2. シミュレーションの『下顎管表示』ボタンをクリックします。マウスカーソルが描画モードに変わります。



3. 画像の上で下顎管に沿ってクリックし、下顎管を描きます。下顎管を描く途中でマウスを右クリックすると、一段階前に入力した地点がキャンセルされます。

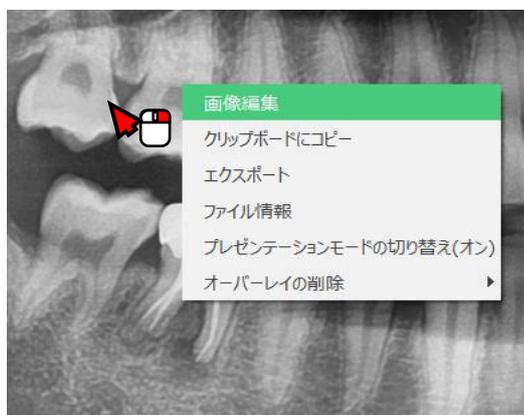


4. ダブルクリックすると描画完了です。

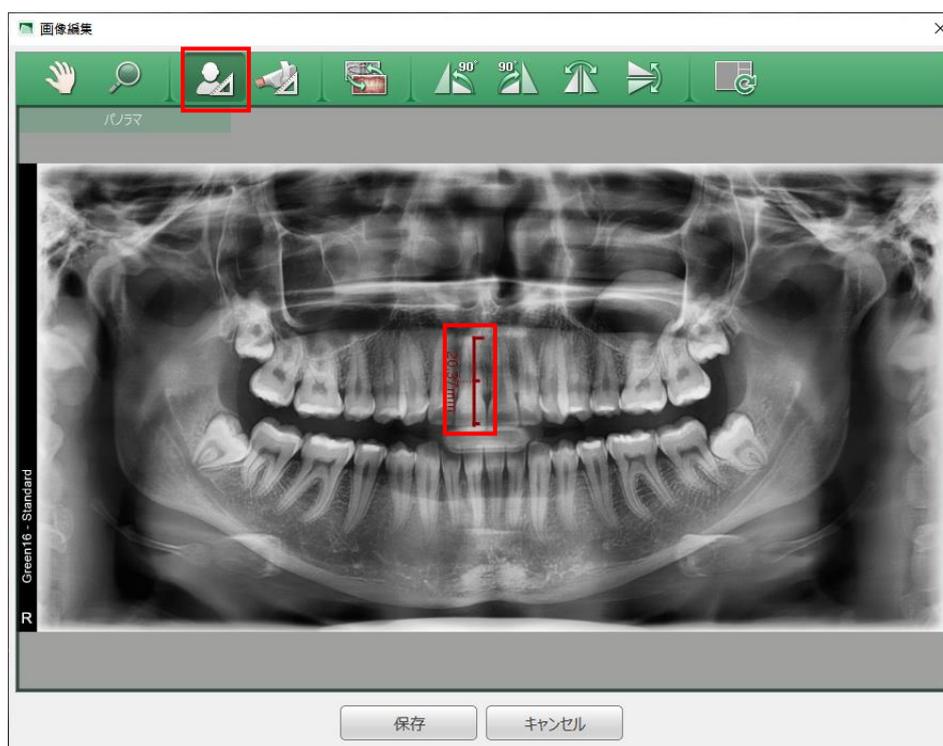
7. ユーザーキャリブレーション

画像ごとにそれぞれ異なる長さの基準があるため、正確な長さの測定は難しいです。キャリブレーションはユーザーが画像に正確な長さを入力できるように、手動で設定できます。

1. ワークスペースでマウスを右クリックし、『画像編集』を選択します。



2. 『画像編集』ウィンドウが表示されたら、ツールバーで『長さ』アイコンを選択します。画像で測定したい部分をクリックし、長さを測定します。



- 『ユーザーキャリブレーション』アイコンをクリックします。『ユーザーキャリブレーション』ウィンドウが表示されます。



- 線の実際の長さを『実際のサイズ』欄に入力し、『確認』ボタンをクリックするとキャリブレーションが完了します。



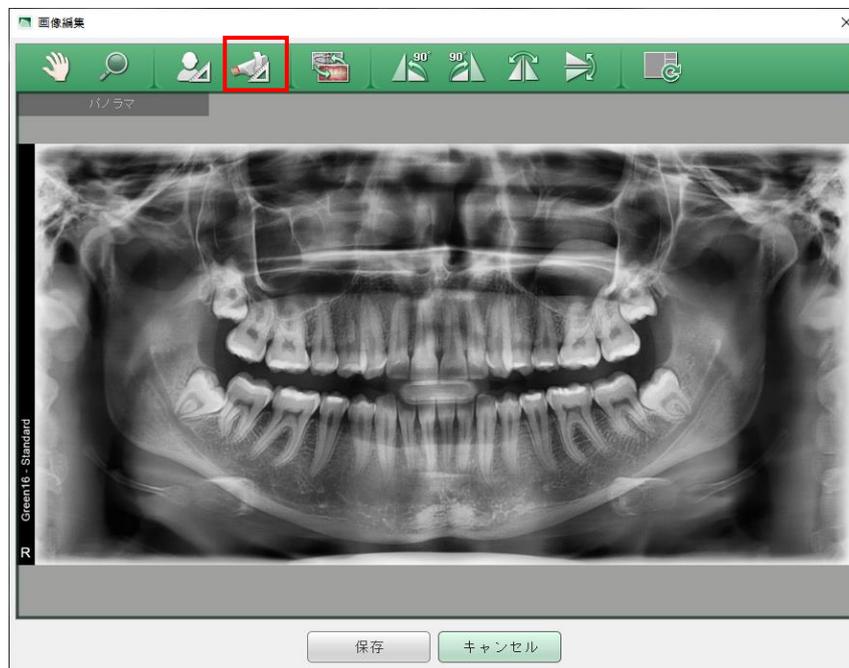
- ユーザーのキャリブレーションが設定されると、画像の右にルーラーが表示されます。ルーラーの有無によって当該画像の長さが補正されているか確認できます。



キャリブレーション後、『長さ』ツールを利用して測定される長さは、補正された長さ基準で測定されます。

『撮影モダリティ別のキャリブレーション』機能により提供されるキャリブレーション プリセットリストで、キャリブレーション値を簡単に入力できます。

1. 『画像編集』ウィンドウで『撮影モダリティ別のキャリブレーション』ボタンをクリックします。『撮影モダリティ別のキャリブレーション』ウィンドウが表示されます。



2. 希望するモダリティの種類を選択して『OK』ボタンをクリックします。モダリティリストから希望する項目のチェックボックスを選択することでお気に入りモダリティを指定できます。お気に入りに追加したモダリティもモダリティリストに表示されます。

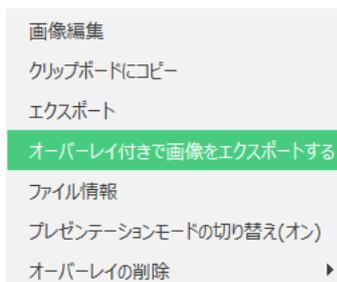


DICOM 画像の場合、DICOM ヘッダーに保存された値と長さ補正值が異なると、ダイアログ上部に案内メッセージが表示されます。ツールバーの『Reset to DICOM Pixel Spacing』アイコンをクリックすると、長さ補正值を DICOM ヘッダーに保存された値に戻すことができます。

8. オーバーレイを含めて画像をエクスポート

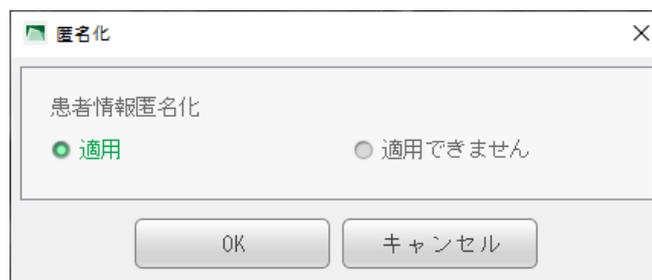
画像をエクスポートする場合、オーバーレイを含めて画像をエクスポートできます。画像に含まれる機能は、ウィンドウ・フィルター・オーバーレイ・ルーラーです。

1. オーバーレイが含まれた画像を選択します。
2. マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。『オーバーレイ付きで画像をエクスポートする』を選択します。



患者情報の匿名化

『設定→その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化で撮影情報のエクスポートが選択されている場合、オーバーレイを含めて映像情報のエクスポート時に、以下のようにオプションがアクティブ化します。



当該オプションで『使用』を選択すると、患者情報を匿名化してエクスポートできます。

3. 以降、エクスポート方法は「Chapter 1. EzDent-i の基本」をご参照ください。

9. PACS転送



- DICOM画像をPACSに転送するためには、ユーザーのコンピュータにEzDICOM Senderがインストールされている必要があります。
- 設定で『DICOM転送』オプションを『未使用』に設定した場合、機能は非表示になります。
- DICOM ファイルではない画像の場合、当該機能は非アクティブ化されます。

1. PACS に転送したい DICOM 画像を開き、ツールバーで『PACS 転送』アイコンをクリックすると、DICOM 転送ダイアログが表示されます。



または画像を右クリックすると表示されるコンテキストメニューで『PACS 転送』を選択してもDICOM転送ダイアログを実行できます。

2. DICOM 転送ダイアログからストレージサーバー、モダリティ、画像タイプを選択して『OK』ボタンをクリックすると、PACS に画像を転送できます。
 - ストレージサーバー: 設定でリストに追加したストレージサーバーが表示されます。
 - モダリティ: 原本画像の種類によって自動で表示されます。
 - 画像タイプ: オーバーレイ込み、または原本画像を選択して転送できます。
 - 『オーバーレイ込み』: 現在の画像に表示したオーバーレイと一緒にキャプチャーしてエクスポートします。転送された画像のオーバーレイは白黒で表示され、オーバーレイを修正できません。
 - 『原本画像』: オーバーレイの入力状態に関係なく原本画像のみエクスポートします。

10. Insight Navi

Insight Navi は、マルチフレーム画像と IO カメラ画像を前方/後方方向に移動させながら確認する機能です。

10.1 Insight ツールバー



Insight機能は、次の場合にアクティブ化されます。

- マルチフレームDICOMデータを含むパノラマ画像
- IOカメラ画像

ビューアータブでInsight機能がアクティブ化されると、Insightツールバーに次のボタンがアクティブ化されます。

1. Insight Navi
: Insight Navi 機能のアクティブ化
2. 表示/非表示ポップアップ
: Insight Navi で作成したポップアップ画像を表示、または非表示
3. 全体ポップアップキャプチャー
: すべてのポップアップ画像をそれぞれ個別画像にキャプチャー
: Insight ポップアップ画像をキャプチャーする場合、ポップアップされた順番通りにそれぞれの画像が保存され、保存された画像にはフレーム番号が含まれます。当該機能はポップアップ画像のみをキャプチャーし、ポップアップ画像以外の画像はキャプチャーしません。

10.2 Insight Navi の実行

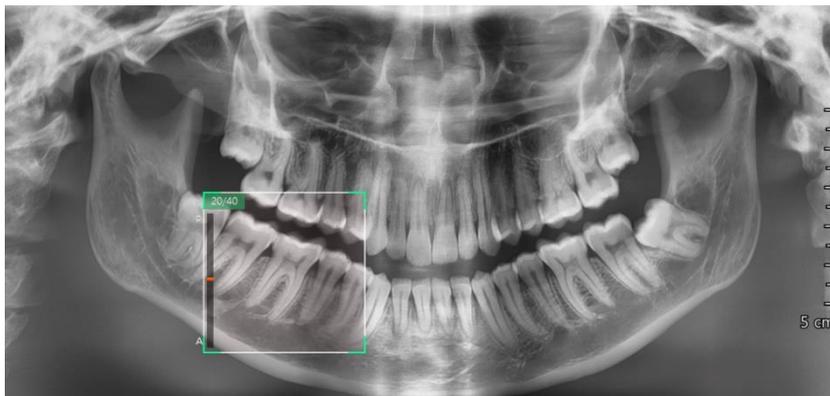
Insight機能は、マルチフレームパノラマ画像、またはIOカメラ画像のみ対応します。Insight機能を提供するパノラマ画像は、サムネイル左上にInsightアイコンが表示されます。



1. Insight アイコンがあるサムネイルをダブルクリックし、画像をビューアーウィンドウに表示します。
2. Insight Navi アイコンをクリックし、Insight Navi 機能をアクティブ化させます。



3. 次のようにマウスポインターの位置を基準に、正方形型のナビゲーターが表示されます。

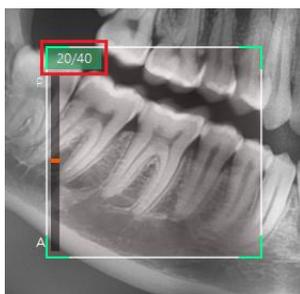


10.3 Insight Navi の構成

10.3.1 マルチフレームパノラマ画像

1. フレーム番号

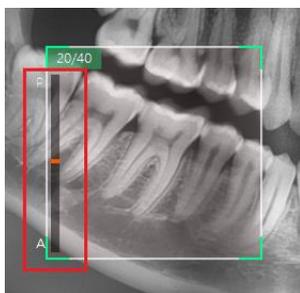
マルチフレーム画像に含まれた全体フレーム数と、現在のフレーム番号を表示します。



40 枚のマルチフレームが含まれたパノラマ画像の場合、中間値の 20 番フレームが最初の画面に表示されるデフォルトフレームになります。したがって、画像実行時に 20/40 で表記されます。

2. 位置表示機

前方/後方の方向を基準に、現在のフレームの位置を左のスライズバーを利用して視覚的に表示する機能です。



ただし、スライズバーをコントロールしてフレームを変更する機能は提供していません。

3. Insight Navi のサイズ変更

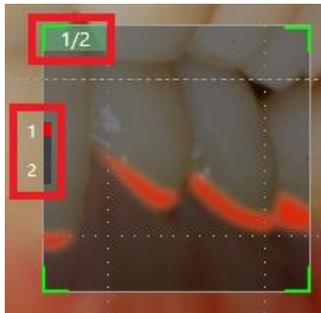
ナビゲーターエリア内でマウスを右クリックすると、コントローラーサイズを変更できます。



10.3.2 IO カメラ画像上

1. モード表示機

ナビゲーターエリア内に重複した画像番号と、現在表示される画像を表示します。



ただし、モード表示機をコントロールしてフレームを変更する機能は提供していません。

2. Insight Navi のサイズ変更

ナビゲーターエリア内でマウスを右クリックすると、コントローラーサイズを変更できます。

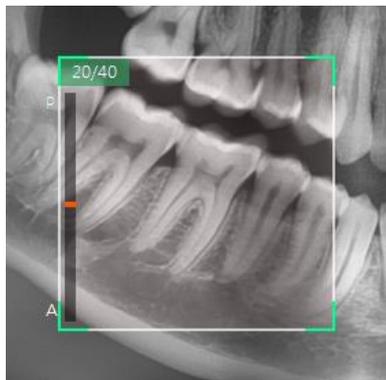


10.4 Insight Navi の動作

10.4.1 マルチフレームパノラマ画像

1. フレーム変更

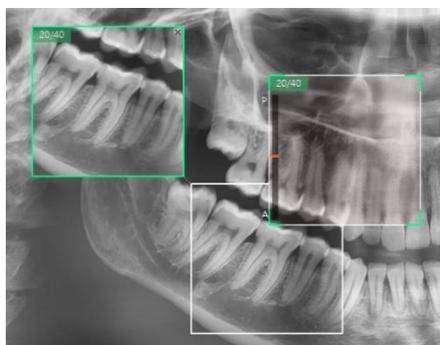
ナビゲーターエリア内にマウスポインターを置き、マウスホイールをスクロールすると画面に表示されるフレームナンバーを変更できます。



- マウスホイールを上をスクロール: 前方方向
- マウスホイールを下をスクロール: 後方方向

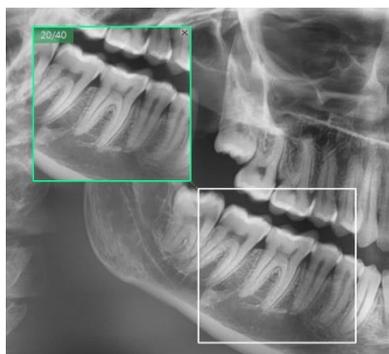
2. ナビゲーターの位置移動

ナビゲーターはマウスポインターを中心に作成され、移動します。マウスポインターが移動する地点に沿ってナビゲーターが移動します。



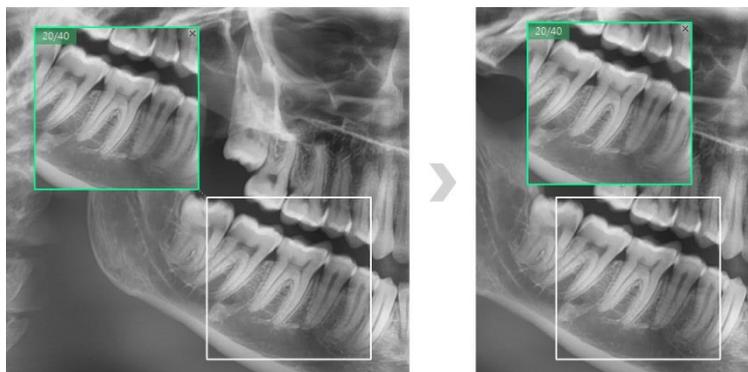
3. フレーム画像ポップアップ

ナビゲーターの現在フレームでマウスを右クリックすると、ポップアップウィンドウで当該フレームの画像を別途確認できます。



4. ポップアップ画像移動

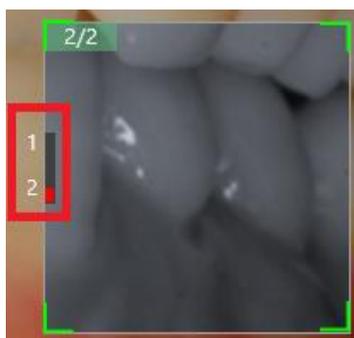
ポップアップされた画像は、マウスのドラッグ & ドロップで他の位置に移動できます。



10.4.2 IO カメラ画像

1. フレーム変更

ナビゲーターエリア内にマウスポインターを置き、マウスホイールをスクロールすると IO 画像に重なった他の画像を切り替えながら、確認できます。



2. ナビゲーターの位置移動

ナビゲーターはマウスポインターを中心に作成され、移動します。マウスポインターが移動する地点に沿ってナビゲーターが移動します。

3. 比較機能

Insight ツールバーの『比較』機能を使って、一つの画像を様々な姿で比較できます。



10.5 IO センサー画像での保存

1. Insight NAVI 機能を実行し、ポップアップ画像を生成します。
2. マウスを右クリックして表示されるポップアップメニューの中で、『IO センサー画像で保存する』を選択します。



3. 下図のように『IO センサー画像として保存』ウィンドウが表示されます。ポップアップ画像が保存されるモダリティ、歯数を選択します。



モダリティをキャプチャー画像で選択する場合、歯コードの選択項目はアクティブ化しません。

4. 選択後、『OK』ボタンをクリックすると、選択した個別ポップアップ画像が当該歯数に保存されます。

10.6 Insight Navi の終了



Insight Naviがアクティブ化されている状態で、Insight Naviアイコンをもう一度クリックすると、Insight Naviの機能が終了します。

11. 画像情報

11.1 画像情報の追加

- 画面上の注釈ツールバーで『画像情報』ボタンを選択します。



- 画像情報が画像の左上に表示されます。入力した情報の位置はユーザーが調整でき、フォントカラー及びサイズは『設定→ビューア→注釈』タブで設定できます。



- 画像情報を非表示にするには、『画像情報』ボタンをもう一度クリックするか、画像情報を右クリックして、コンテキストメニューの[非表示]ボタンをクリックします。



Information 項目は、プレゼンテーションモードで提供する情報と同じです。

: Name・Chart Number・Birthday・Gender・Date・KVp・mA・DAP



- 画面に患者の個人情報を表示

『設定→その他』で個人情報の取扱い方針機能を『使用』に設定すると、患者情報の文字数に合わせて***で表示されます。



12. ツールの説明

12.1 主要ツール確認

アイコン	名称	機能の説明
	移動	画像を自由に移動
	ズーム	画像の拡大または縮小
	長さ	二点間の距離の測定
	自由描画	自由に描画
	PACS 転送	選択した DICOM 画像を PACS に転送(オーバーレイ込み/原本画像). * 設定で『DICOM 転送』オプションを『使用する』に設定した場合に限り、当該アイコンがツールバーでアクティブ化されます。
	表示のリセット	画像に適用された移動とズーム機能を初期化

12.2 拡張ツール確認

分類	アイコン	名称	機能の説明
ビュー		拡大鏡	選択されたエリアの拡大・コントラスト効果
		グリッド表示/非表示	患者の非対称を確認できるように、画像にグリッドを形成
Insight		Insight Navi	選択されたエリアの前後の画像を確認
		表示/非表示 ポップアップ	Insight ポップアップを表示、または非表示
		全体ポップアップキャ プチャー	すべての Insight ポップアップを含むビューフ レームキャプチャー
測定		複数の長さ測定	2 つ以上の線を描いて長さを測定
		角度	希望する二地点に対する角度を測定
		プロフィール	希望するエリアの骨密度を測定
注釈		メモ	希望するところにメモを残す
		線	希望するエリアにマウスをクリック&ドラッグ で線を描画
		長方形	希望するエリアにマウスをクリック&ドラッグ で長方形を描画
		楕円	希望するエリアにマウスをクリック&ドラッグ で楕円を描画
		画像情報	希望する地点に画像情報を挿入
キャプチャー		選択ウィンドウキャプ チャー	現在のワークスペースの画像をキャプチャー してデータベースに保存
		エリアキャプチャー	選択したエリアの画像をキャプチャーしてデー タベースに保存
		ビューフレームキャ プチャー	ワークスペースエリアに表示された画像をキ ャプチャーし、データベースに追加
		レポートに送信	現在のワークスペースに表示された画像をレ ポートに画像で追加
その他		내보내기	선택한 영상을 내보내기

分類	アイコン	名称	機能の説明
		オーバーレイ ON/OFF	自由描画のような入力内容を表示または非表示
		初期化	入力されたすべての機能の削除後、オリジナル画像に初期化



Scatter レイアウトでは画像ウィンドウのサイズが『拡大鏡』のサイズよりも小さい場合、『拡大鏡』ツールを使用できません。
Scatter のサイズを大きく、または小さくする場合、『設定→ビューア→全般→ツール→拡大鏡サイズ設定』から変更できます。



オーバーレイ挿入中、キーボードの ESC ボタンを押すと、当該機能をキャンセル後に終了します。



『骨密度測定』ツールは、0～255 まで 256 色(グレースケール)で選択されたエリアを表示します。ユーザーはこれを利用して、骨の丈夫さを予測できます。
『骨密度測定』ツールの選択後、希望するエリアに線を描きます。描かれた線のエリアのグレースケール数値がグラフに表示されます。

0 = 黒 = 低密度

255 = 白 = 高密度



『ビューフレームキャプチャー』ツール使用時、ワークスペースにレイアウトまたは FMX が適用されている場合にも、そのまま画面をキャプチャーします。



多重レイアウトで 2 つ以上の任意の画像が表示されている状態の場合、『選択ウィンドウキャプチャー』ボタンをクリックすると、マウスの位置によって自動キャプチャーエリアを指定できます。



グリッドの間隔・カラー・太さ・透明度は、『設定→ビューア→全般→グリッド』で設定できます。

Chapter 6. コンサルタブ

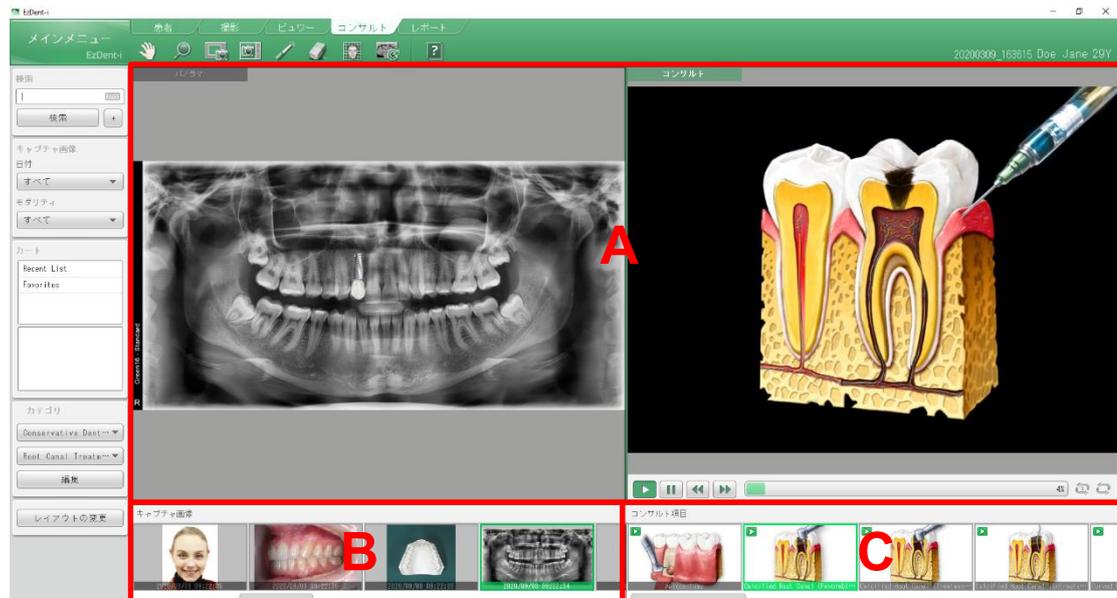
1. コンサルタブの画面構成	139
2. カートの種類と使用方法	140
3. カート編集	141
4. コンサルコンテンツを検索後に実行	144
5. カテゴリ編集	146
6. レイアウト変更	153
7. ツールの説明	154

1. コンサルタブの画面構成

コンサルタブは、ユーザーが患者のコンサルトに必要な画像をカート(Cart)内の各カテゴリに入れて管理できるように提供されるタブです。

EzDent-i ではユーザーが希望するコンサルト用画像をカートに追加・編集・削除できます。

1.1 ワークスペース



- A セクション: コンサルトコンテンツが再生される画面。患者コンサルトのために動画・画像を B セクションのリストからドラッグ & ドロップして再生できます。
- B セクション: 選択した患者の画像をサムネイルで表示するエリアです。
- C セクション: コンサルトコンテンツ画面。患者コンサルトのために動画・画像のリストが表示されます。

2. カートの種類と使用法

EzDent-i は基本的なコンサルコンテンツを 20 個提供しています。また EzDent-i はインプラント、歯周病などと関連した約 200 個のコンサルコンテンツを有料で追加提供します。



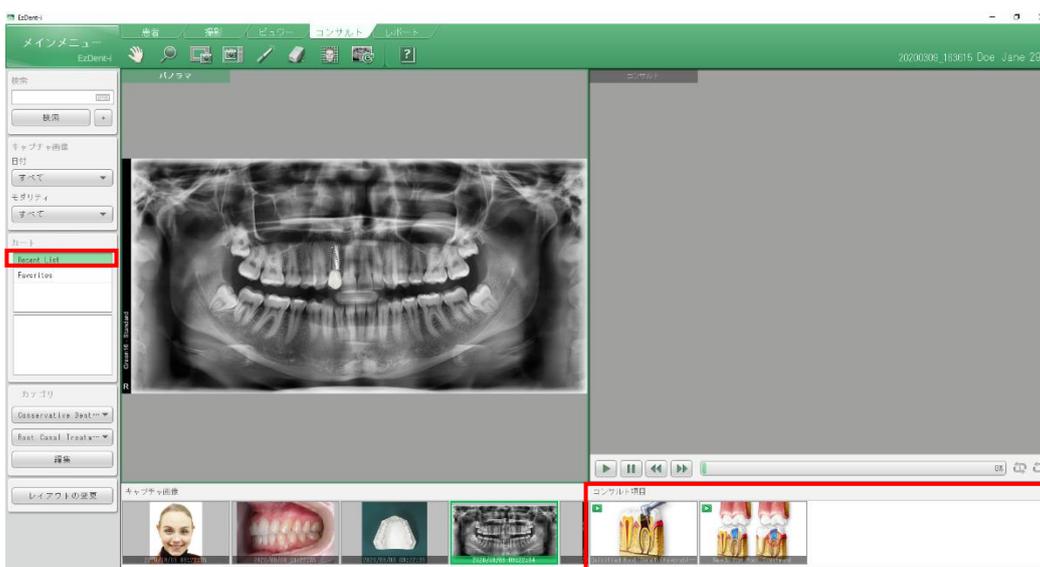
200 個のコンサルコンテンツを EzDent-i で使用したい場合、お近くのカスタマーセンターへお問い合わせの上、ご購入いただけます。

2.1 Favorites

『Favorites』カテゴリはコンサルコンテンツの中で、ユーザーがよく使用するコンテンツを集めて管理できます。

2.2 Recent List

カートで『Recent List』の選択時、最近使用した 20 個のコンサルコンテンツがサムネイルに表示されます。

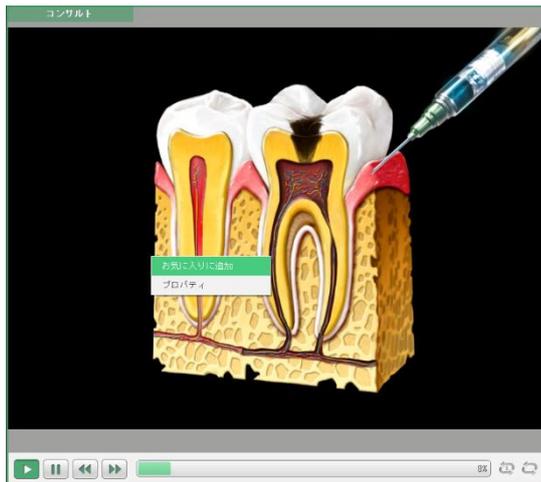


3. カート編集

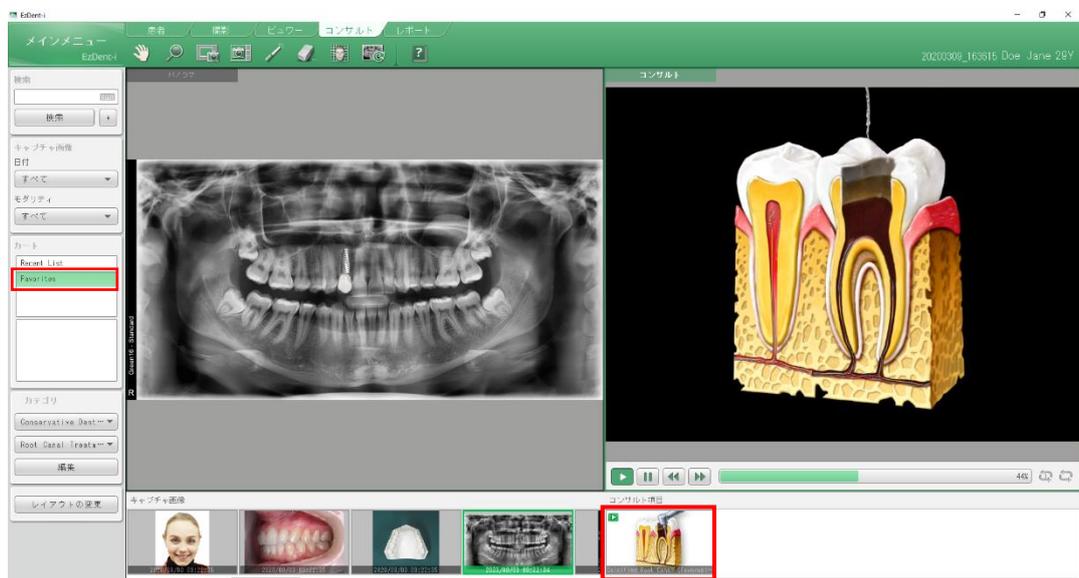
3.1 Favorites にコンサルトコンテンツを追加

カートの『Favorites』に希望するコンテンツを追加する方法は次のとおりです。

1. 実行中のコンサルトコンテンツ動画の上でマウスを右クリックし、『お気に入りに追加』を選択します。完了を知らせるウィンドウが表示されます。

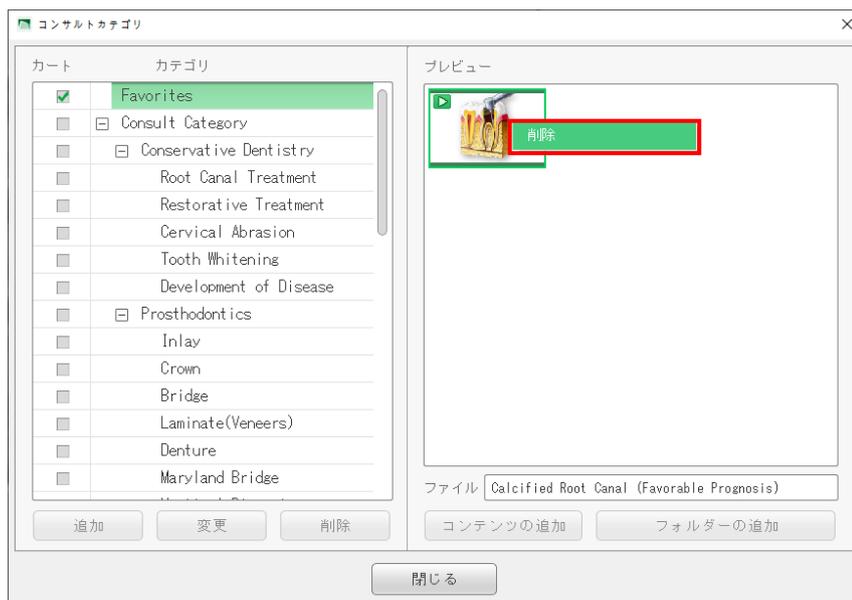


2. カートの『Favorites』をクリックすると、『お気に入りに追加』された実行中のコンサルトコンテンツ動画が、下のコンサルトコンテンツサムネイルに追加されて表示されます。



3.2 Favorite に追加されているコンサルトコンテンツの削除

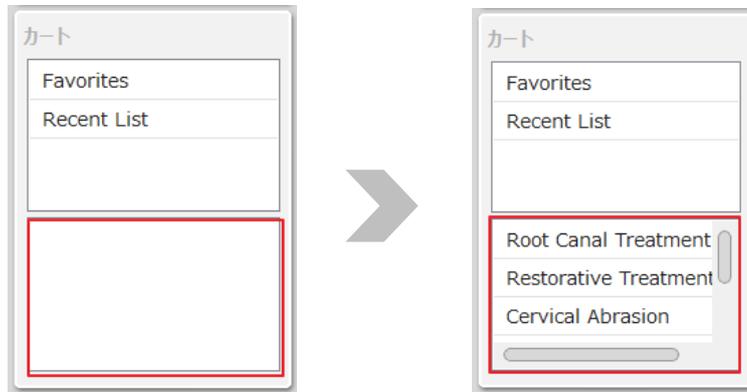
1. 左のカテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。
2. カートの『Favorites』選択時、右の『プレビュー』で今まで『Favorites』に追加したコンサルトコンテンツが表示されます。
3. 削除を希望するコンサルトコンテンツを選択し、マウスを右クリックして『削除』をクリックします。



4. 削除を確認する警告ウィンドウで『確認』をクリックすると、削除が完了します。

3.3 よく使用するカテゴリをカートに追加

よく使用するカテゴリをカートに追加し、必要なコンサルトコンテンツや画像を簡単に活用できます。



1. 左のカテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。
2. カートに追加を希望するカテゴリのチェックボックスを選択し、『閉じる』ボタンをクリックします。



3. 選択したカテゴリがカートに表示されます。

4. コンサルトコンテンツを検索後に実行

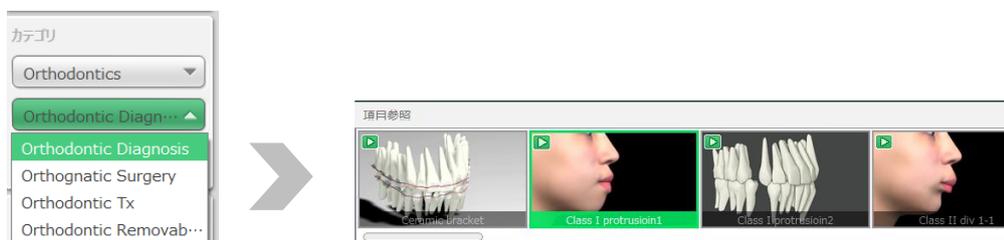
希望するコンサルトコンテンツを検索する場合、右のようにカテゴリの 2 個のコンボボックスからコンサルトコンテンツを分類できます。



1. カテゴリで最初のコンボボックスをクリックします。診療科目が大分類に従って分類されています。例えば、矯正科と関連するコンサルトコンテンツを確認する場合、『Orthodontics』を選択します。



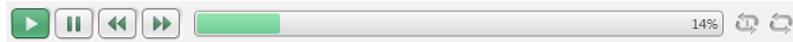
2. 二つ目のコンボボックスでは、上の大分類で選択した診療科目のコンサルトコンテンツが表示されます。最初のコンボボックスで選択した『Orthodontics』に関する様々な治療タイプリストの中から、希望する動画を選択すると関連コンサルトコンテンツがサムネイルで表示されます。



3. 表示されたコンサルトコンテンツの中から、一つの動画をワークスペースにドラッグ & ドロップします。希望する動画がワークスペースに表示されます。



4. 動画下の再生ボタンから『再生』・『一時停止』・『10%後ろへ』・『10%前へ』、または連続再生・繰り返し再生ができます。



Windows Vista オペレーティングシステムでは、コンサルトコンテンツが正常に動作しない場合があります。

5. カテゴリ編集

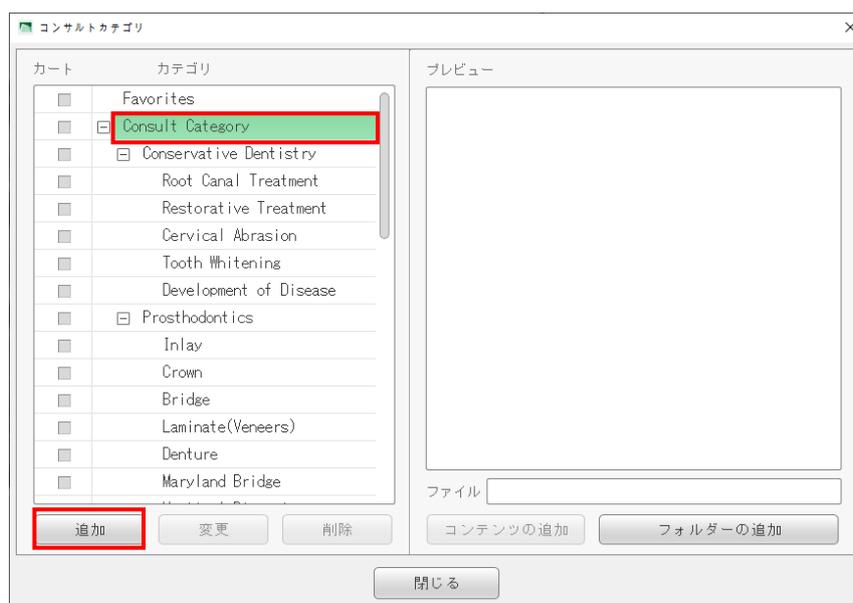
5.1 カテゴリ追加

カテゴリでユーザーが希望する新しいカテゴリを追加・変更・削除でき、新しいコンテンツやフォルダを追加できます。

1. カテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。



2. 『-』の表記があるカテゴリを選択し、下の『追加』ボタンをクリックします。『カテゴリ追加』ウィンドウが表示されます。ただし、『-』の表記があるカテゴリに限り、下位に新規カテゴリを追加でき、『-』表記がない場合には下位に新規カテゴリを追加できません。



3. 『カテゴリの追加』ウィンドウが表示されたら、カテゴリ名を入力し『OK』ボタンをクリックします。

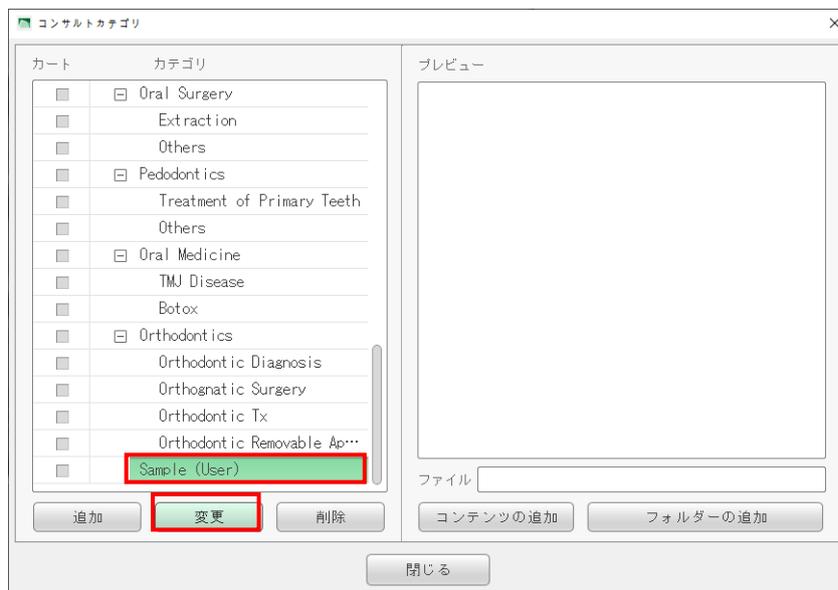


4. 選択したカテゴリの下位に新しいカテゴリが作成されます。

カート	カテゴリ
<input checked="" type="checkbox"/>	Orthodontics
<input checked="" type="checkbox"/>	Orthodontic Diagnosis
<input checked="" type="checkbox"/>	Orthognatic Surgery
<input checked="" type="checkbox"/>	Orthodontic Tx
<input checked="" type="checkbox"/>	Orthodontic Removable A...
<input checked="" type="checkbox"/>	珍しいケース (User)

5.2 カテゴリ名変更

1. カテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。
2. 名前を変更するカテゴリを選択し、『変更』ボタンをクリックします。



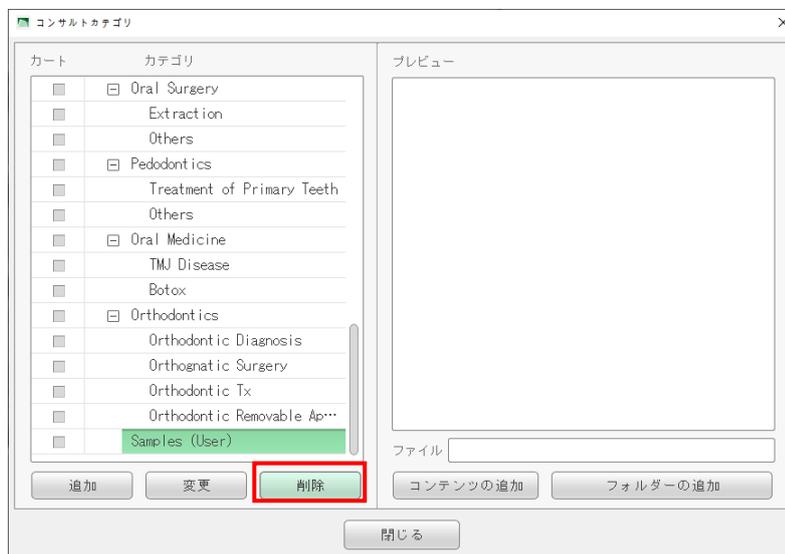
3. 『カテゴリの変更』ウィンドウで、ユーザーが変更したいカテゴリの新しい名前を入力します。



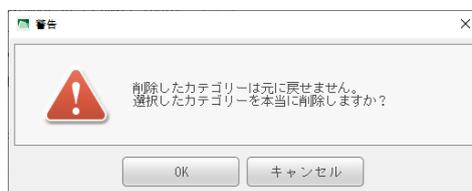
4. 『OK』ボタンをクリックすると、カテゴリの変更の成功を知らせるウィンドウが表示され、カテゴリ名の変更が完了します。

5.3 追加したカテゴリの削除

1. カテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。
2. 削除するカテゴリを選択し、下の『削除』ボタンをクリックします。



3. 削除を確認するウィンドウが表示されます。『OK』ボタンをクリック時、選択したカテゴリが削除されます。



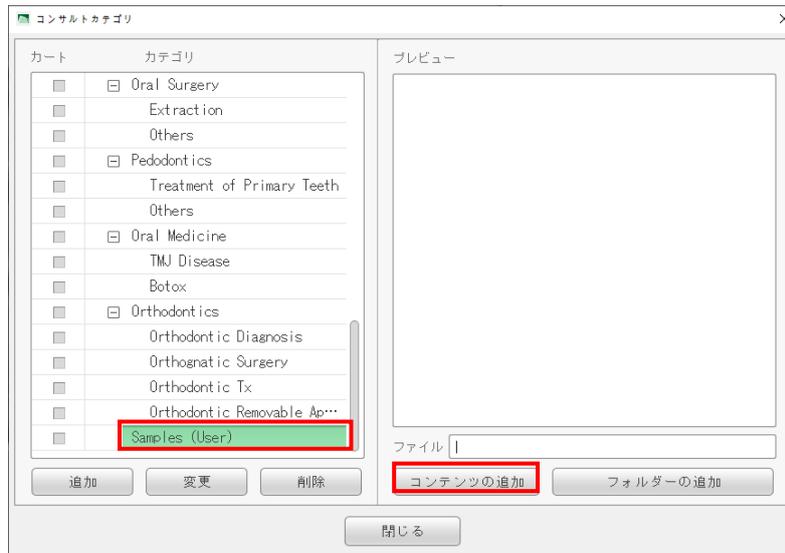
カテゴリを削除する場合、当該カテゴリに保存されていた患者の画像とコンサルトコンテンツがすべて削除されます。

5.4 カテゴリにコンテンツ追加

現在コンピュータに保存されている画像コンテンツ(jpg・bmp・png・avi・wmv)、または文書形式のコンテンツ(doc・docx・ppt・pptx・pdf)をカテゴリに追加できます。ユーザーは『カウンセリングカテゴリ』で、臨床と関連するすべてのデータを一度に管理できます。

1. カテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。

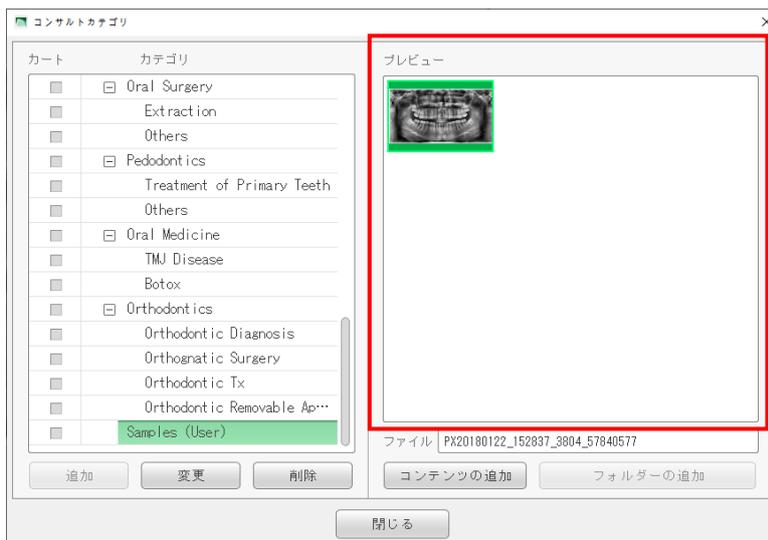
2. コンサルトコンテンツを追加するカテゴリを選択し、『コンテンツの追加』ボタンをクリックします。



3. 『コンテンツ選択』ウィンドウで追加するコンテンツを選択してクリックし、『開く』ボタンをクリックします。
4. 選択した画像をカテゴリに追加すると、次のようにウィンドウが表示され、『OK』ボタンをクリックします。



5. 追加された画像や文書が『プレビュー』エリアに表示されます。 文書をダブルクリックするかドラッグする場合、当該ファイルが自動で実行されます。



複数の画像を一度に選択する場合は、「Ctrl」キーを押した状態で、希望する画像をマウスで選択します。

- 追加したコンテンツが『プレビュー』エリアに表示されたら、コンテンツ名を『ファイル』欄に入力します。

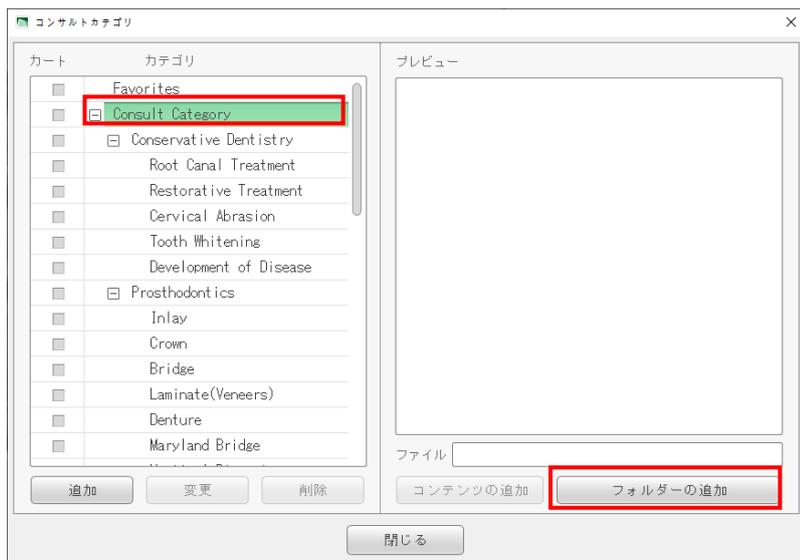


- 『閉じる』ボタンをクリックします。

5.5 カテゴリにコンテンツフォルダを追加

現在コンピュータに保存されているフォルダをカテゴリに追加できます。この場合、追加されたフォルダ自体が一つのカテゴリに追加されます。

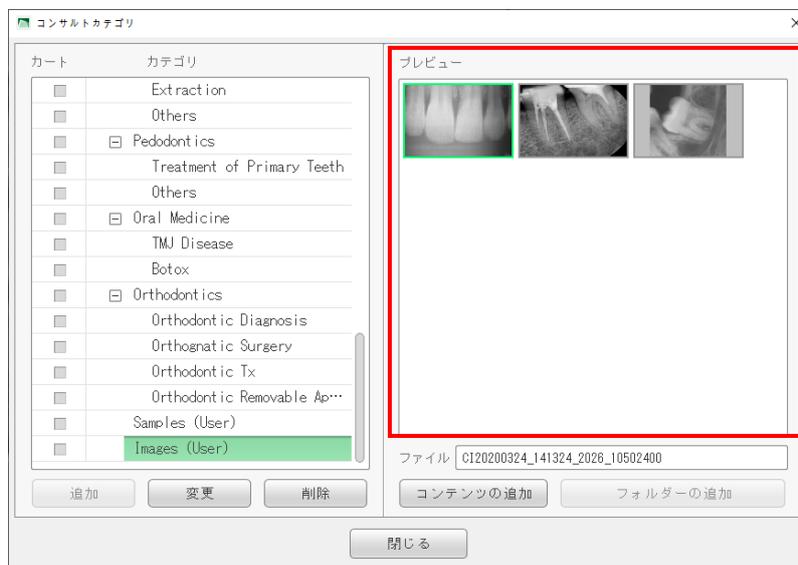
- カテゴリで『編集』ボタンをクリックします。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。
- コンテンツフォルダが追加される上位カテゴリを選択し、『コンテンツフォルダの追加』ボタンをクリックします。



- 『ディレクトリ選択』ウィンドウで追加を希望するフォルダ(ディレクトリ)を選択し、『フォルダの選択』ボタンをクリックします。
- 選択したフォルダをカテゴリに追加すると、次のようにウィンドウが表示され、『OK』ボタンをクリックします。



- 追加されたフォルダが選択されたカテゴリの下位カテゴリに追加されます。追加されたカテゴリの選択時、フォルダに保存されていたコンテンツがプレビューエリアに表示されます。



フォルダ名を変更する

ディレクトリ選択ウィンドウで変更するフォルダをダブルクリックすると、フォルダ名を変更できます。

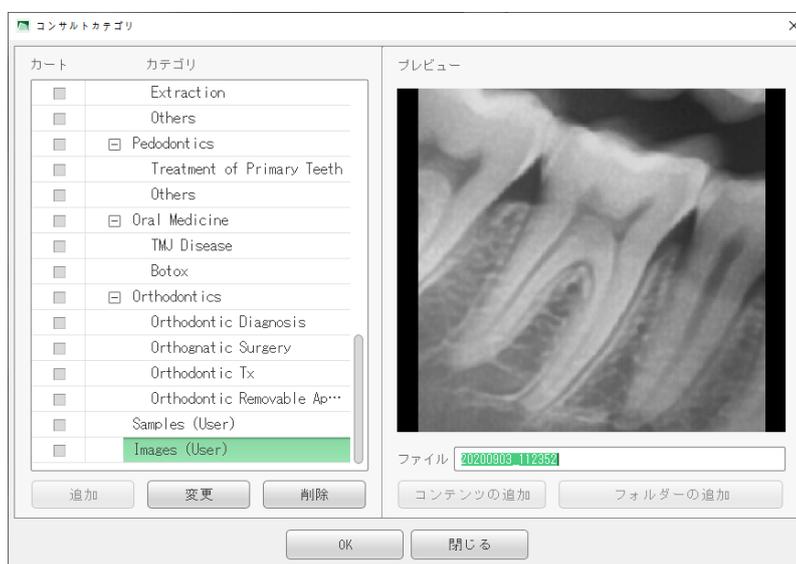
5.6 現在コンサルト中のコンテンツをカテゴリに追加

現在コンサルタブで表示されているコンサルトコンテンツをカテゴリに追加できます。

1. 追加するコンサルトコンテンツでマウスを右クリックし、『コンサルト画像の追加』を選択します。『カウンセリングカテゴリ』ウィンドウが表示されます。



2. 『コンサルト画像の追加』を追加するカテゴリを選択します。追加するコンサルトコンテンツが『プレビュー』エリアに表示されます。



3. カテゴリ選択後、『OK』ボタンをクリックするとコンテンツが保存されます。画像が当該カテゴリに保存されると、完了ウィンドウが表示されます。



6. レイアウト変更

ワークスペースをユーザーが好きなように分割し、複数の画像を一つの画面で確認できます。このような機能をレイアウトといい、EzDent-i では 9 つのレイアウトを提供しています。



レイアウトの設定に関する内容は本マニュアルの「Chapter 5.ビューアタブ → 3.レイアウト設定」でご確認いただけます。

7. ツールの説明

7.1 主要ツール確認

アイコン	名称	機能の説明
	移動	画像全体を自由に移動
	ズーム	画像の拡大または縮小
	エリアキャプチャー	選択エリアキャプチャー
	選択ウィンドウ キャプチャー	ウィンドウキャプチャー
	ポインター	自由描画の描画 (※ ポインターは画像に保存されません。)
	消しゴム	ワークスペースに適用された『ポイント』の適用事項を削除
	グリッド表示/非表示	患者の非対称を確認できるように、画像にグリッドを形成
	表示のリセット	画像に適用された移動とズーム機能を初期化

Chapter 7. レポートタブ

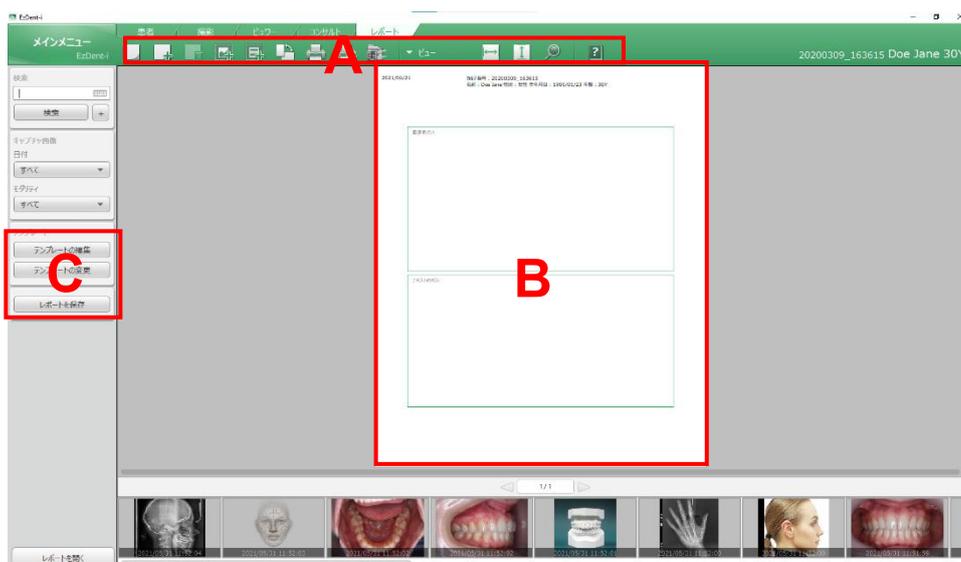
1. レポートタブの画面構成.....	157
2. レポート作成	158
3. レポート編集	161
4. 位置の移動・サイズ変更.....	166
5. レポートの保存・インポート	168
6. レポートのエクスポート.....	170
7. DICOM 印刷.....	174
8. ツールの説明.....	178

1. レポートタブの画面構成

レポートタブはユーザーが診断・コンサルト内容を記録・保管できるように提供されたタブです。患者の画像と診療内容を記録し、チャートでも活用できます。

EzDent-i ではレポートを患者にすぐに電子メールで送信したり、PDF ファイルでエクスポートしたりできます。

1.1 ワークスペース



- A セクション: レポート追加・エクスポート・画像/テキストボックスの挿入機能を使用できるツールバーです。
- B セクション: ユーザーが画像やテキストを入力し、レポートを作成できます。
- C セクション: レポートのテンプレートを変更・変更・保存、またはレポートを保存する機能です。



- 患者情報の匿名化
『設定→その他』で個人情報の取扱い方針機能を『使用』に設定すると、患者情報の文字数に合わせて***で表示されます。

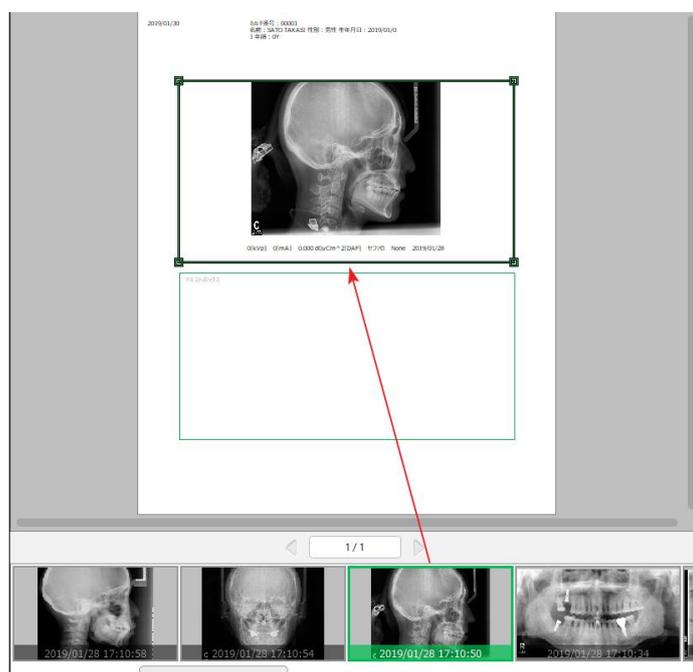
2. レポート作成

2.1 画像挿入

1. レポート画面内の画像ボックスにサムネイルにある画像をドラッグ & ドロップして挿入します。各画像に対する情報が画像下に表示され、画像をドラッグ & ドロップするたびに画像情報が更新されます。



ビューアタブで適用したウィンドウ/オーバーレイが画像に表示されます。



2. 『印刷設定』アイコンをクリックして、画像情報の位置と表示したい項目を設定できます。



画像ボックスを右クリックして『プロパティ』を選択すると、画像ボックス別に表示される情報の項目を設定できます。

3. 挿入された画像の表示オプションが変更できます。ただし、挿入された画像のキャリブレーション値が指定されている必要があります。

実際のサイズ

画像の調整



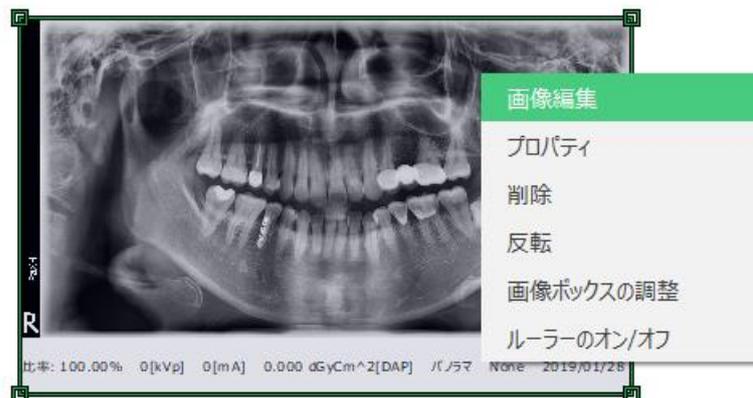
実際のサイズ



画像ボックスサイズに合わせる

- 画像を『実際のサイズ』で表示した時に、画像の実際のサイズが画像ボックスより大きい場合。

- A. 画像を右クリックし、『画像編集』メニューをクリックします。



- B. 画像ボックスに表示したい部分だけが表示されるように、画像編集モードで画像をドラッグし、移動できます。



- C. 画像編集モードを終了するには、画像を再び右クリックし『画像編集』メニューをクリックします。

2.2 テキスト挿入

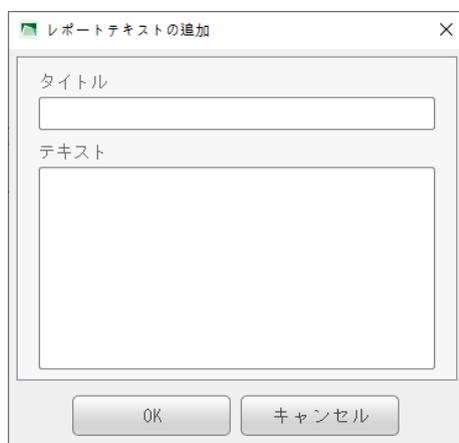
EzDent-i に保存済みのよく使用するメッセージをレポート画面に自動で入力できます。

テキストボックスをダブルクリックすると、ボックスに文字を入力・変更できます。ボックスをマウスで調節し、そのサイズ・位置を変更できます。

1. メインボタンのクリック後、『設定→レポート→テキスト』タブに移動します。
2. リストで『新規登録』ボタンをクリックします。



3. 『レポートテキストの追加』ウィンドウが表示されたら、よく利用するメッセージのタイトル・メッセージを入力し、『OK』ボタンをクリックします。



4. 追加したメッセージをレポートに入力するために、レポートタブに移動します。
5. メッセージを入力するテキストボックスを選択した状態で、マウスを右クリックすると、下に追加したメッセージが表示されます。当該メッセージの選択時、レポートにメッセージが表示されません。



3. レポート編集

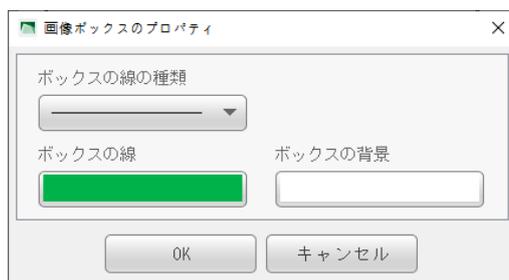
3.1 画像ボックスの挿入

画像ボックス追加アイコンをクリックすると、レポートに新しい画像ボックスが挿入されます。



- 画像ボックスのプロパティ変更

画像ボックスを右クリックし、『プロパティ』メニューをクリックします。『画像ボックスのプロパティ』ウィンドウが表示されます。



- 画像ボックスの削除

画像ボックスを右クリックし、『削除』メニューをクリックします。

3.2 テキストボックスの挿入

テキストボックス追加アイコンをクリックします。レポートに新しいテキストボックスが追加されます。



- テキストボックスのプロパティ変更

テキストボックスを右クリックし、『プロパティ』メニューをクリックします。『テキストボックスのプロパティ』ウィンドウが表示されます。

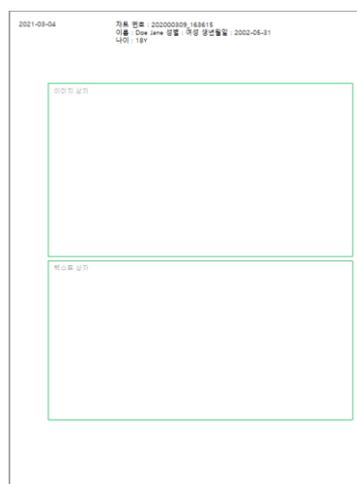


- テキストボックスの削除

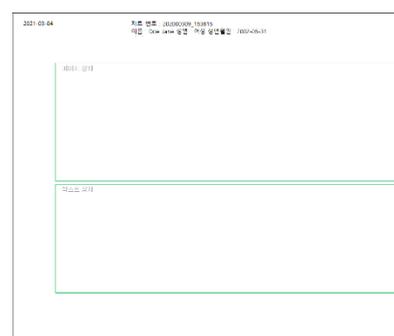
テキストボックスを右クリックし、『削除』メニューをクリックします。

3.3 レポート用紙の向き変更

『用紙の向き』ボタンをクリックすると、レポート用紙の向きを縦/横に設定できます。



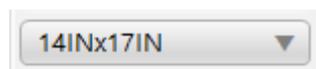
縦



横

3.4 レポート用紙のサイズ変更

コントロールパネルのテンプレートグループで、現在表示されているレポート用紙のサイズを確認及び調整できます。サイズを選択すると、作成中だったレポートの用紙サイズが変更されます。



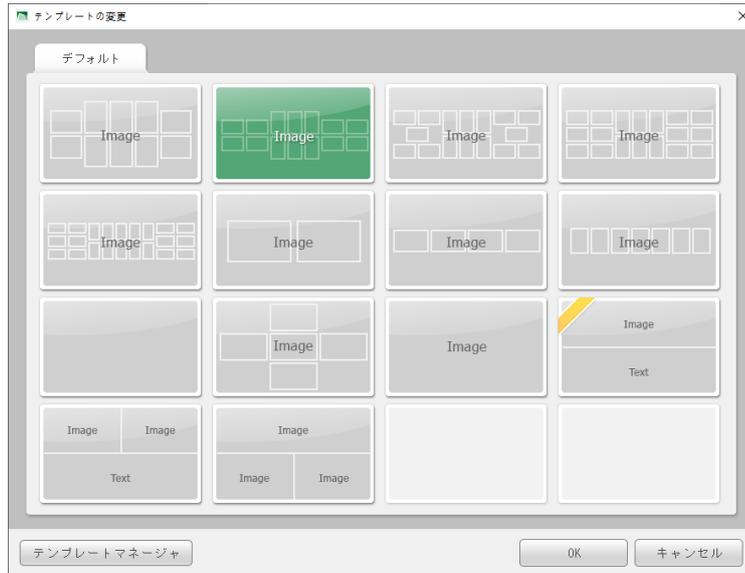
3.5 レポートテンプレートの変更

EzDent-i は様々なレポートテンプレートを提供しています。

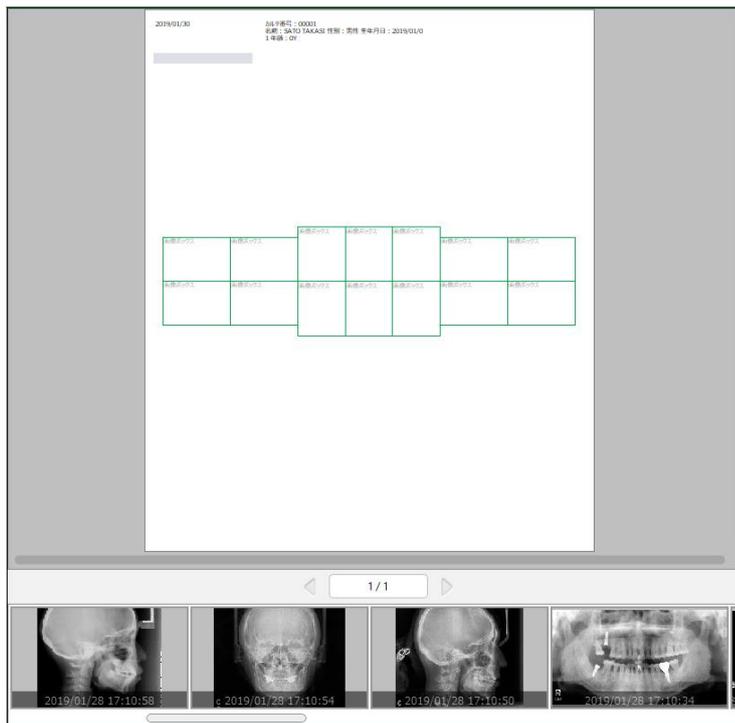
1. 『テンプレートの変更』ボタンをクリックします。『テンプレートの変更』ウィンドウが表示されます。



2. 希望するテンプレートを選択し、『OK』ボタンを選択します。



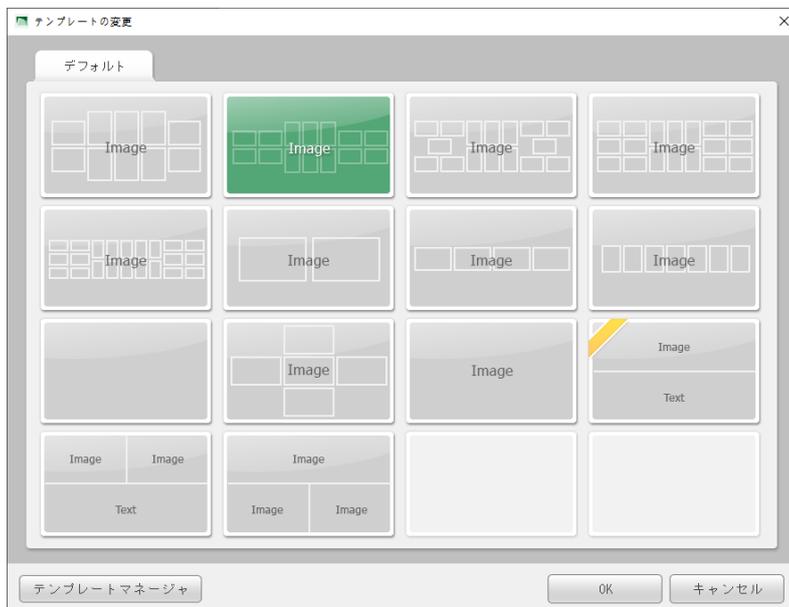
3. 『テンプレートの変更』ポップアップウィンドウが自動で消え、選択したテンプレートに変更されます。



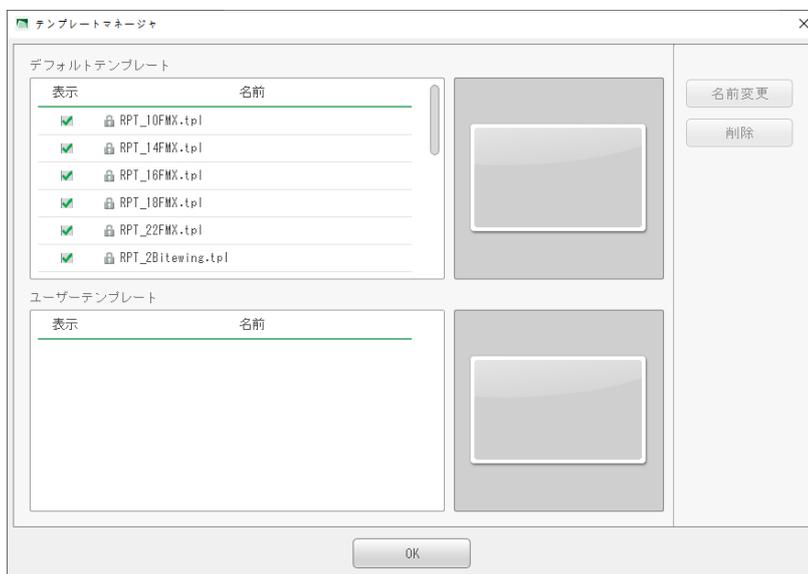
3.6 レポートテンプレートマネージャー

テンプレートマネージャーは、EzDent-i でデフォルトとして提供するテンプレートとユーザーが編集したテンプレートの表示/非表示機能を提供し、ユーザー編集テンプレート名の変更や削除ができます。

1. テンプレートの変更ウィンドウで『テンプレートマネージャー』ボタンをクリックします。『テンプレートマネージャー』ウィンドウが表示されます。



2. 表示項目をチェック、またはチェックを解除し『OK』ボタンをクリックすると、テンプレートの変更ウィンドウで当該テンプレートを表示/非表示にできます。



3. デフォルトとして提供されるテンプレートを選択する場合は、『名前変更』や『削除』ボタンはアクティブ化されません。

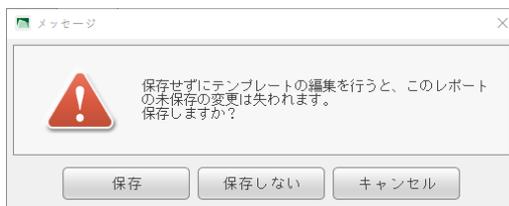
3.7 レポートテンプレートの編集

EzDent-i で提供するレポートテンプレートを、ユーザーの好みに合わせて編集して保存できます。

1. レポートタブで画面左のテンプレートオプションで『テンプレートの編集』ボタンをクリックします。



2. 作成中のレポートを保存するようにポップアップメッセージが表示されたら、保存ボタンをクリックし、作成中のレポートを保存します。



3. 既存のテンプレートを活用し、画像ボックスやテキストボックスを挿入してユーザーが希望するテンプレートを作成します。
4. テンプレートの変更が完了したら、左の『テンプレート』の『編集モードを終了』ボタンを押してテンプレートを保存します。



5. ポップアップウィンドウが表示されたら、『名前を付けて保存』を選択し、テンプレート名を保存します。



EzDent-i でデフォルトとして提供されるデフォルトテンプレートを変更する場合は、『保存』ボタンが非アクティブ化され、『名前を付けて保存』のみできます。



NOTE

または、作成中のレポートで右クリックして『テンプレートとして保存』をクリックすると、現在のレポートのテンプレートを保存できます。入力したコンテンツは保存されません。

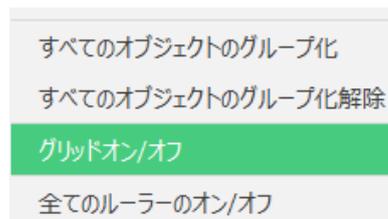


4. 位置の移動・サイズ変更

テキストと患者画像の挿入後、位置を移動でき、サイズを変更できます。

4.1 グリッド

レポート画面上でマウスを右クリックし、『グリッドオン/オフ』を選択します。グリッドに沿ってボックスの正確な位置・サイズを変更できます。



4.2 ルーラー

レポートの空きスペースを右クリックし、ルーラーの表示/非表示を設定できます。

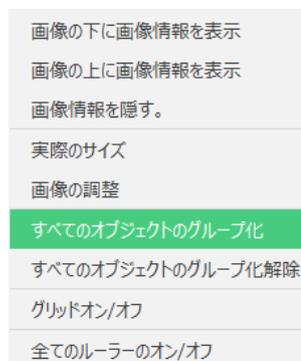


- すべての画像のルーラーが On の場合、『すべてのルーラーオン/オフ』メニューをクリックした時：すべての画像のルーラーが画面で非表示になります。
- すべての画像のルーラーが Off の場合、『すべてのルーラーオン/オフ』メニューをクリックした時：すべての画像のルーラーが画面に表示されます。
- ルーラーが On の画像とルーラーが Off の画像が混ざっている場合、『すべてのルーラーオン/オフ』メニューをクリックした時：すべての画像のルーラーが画面で非表示になります。

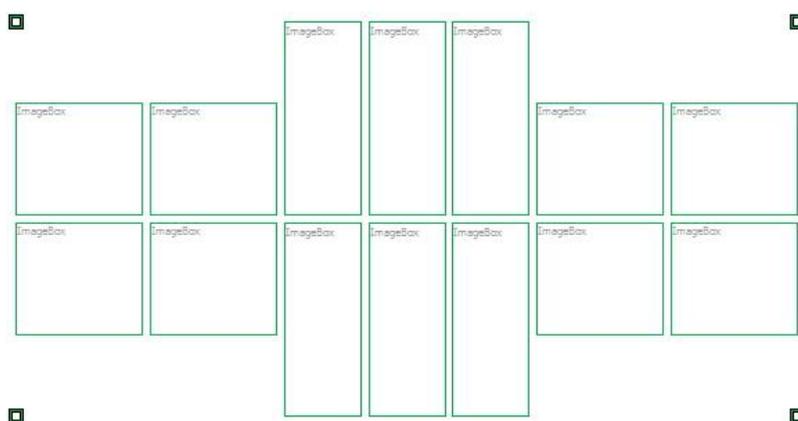
4.3 すべてのオブジェクトをグループ化

レポート画面上でマウスを右クリックし、『すべてのオブジェクトをグループ化』を選択します。

挿入したすべての文字と患者画像をグループ化でき、グループ化したオブジェクトは一度に位置移動・サイズの変更ができます。



■ グループ化された画像ボックス



すべてのオブジェクトがグループ化された状態で、新しい画像ボックスやテキストボックスを追加する場合、グループ化状態が解除されます。

5. レポートの保存・インポート

5.1 レポートの保存

1. 作成中、または完了したレポートを保存する場合は、メインボタン下の『レポートをDBに保存』ボタンをクリックします。



2. 『レポート保存』ウィンドウが表示されたら、『コメント』欄に選択されたレポートの情報を入力します。



3. 『保存』ボタンをクリックすると、レポートの保存が完了します。

5.2 レポートのインポート

1. 保存済みのレポートをインポートするにはメインボタン下の『レポートを開く』ボタンをクリックします。



2. 『レポートを開く』ウィンドウが表示されたら、リストからユーザーがインポートするレポートを選択し、『開く』ボタンをクリックします。



3. 保存済みのレポートの中から選択したレポートが画面に表示されます。

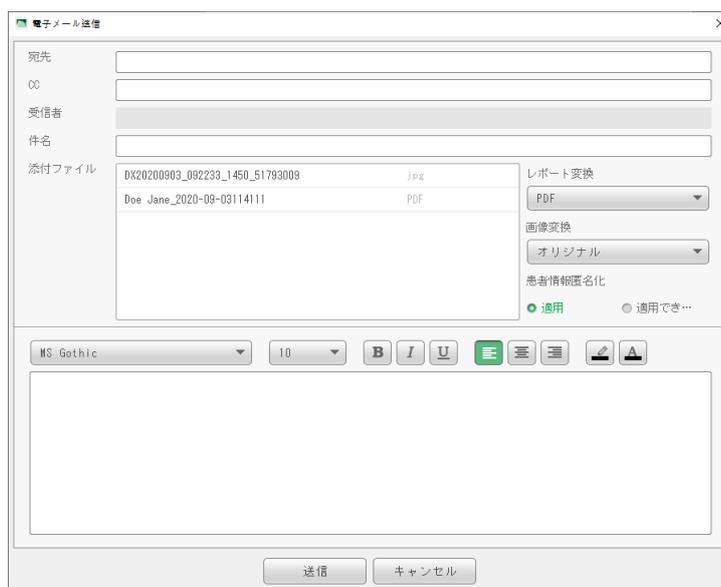
6. レポートのエクスポート

6.1 電子メール送信

1. 作成が完了したレポートを電子メールで送る場合は、ツールバーの『エクスポート』アイコンから『電子メール送信』アイコンをクリックします。



2. レポートに書かれた画像と PDF に自動で変換された PDF ファイルが電子メールに添付され、ウィンドウが表示されます。



3. PDF ではない他のファイル形式で電子メールを送信する場合は、『レポートファイル形式の変換』ドロップボックスで変換したいファイル形式(JPG・BMP・TIF・PNG)を選択します。
4. 『電子メール送信』ウィンドウで宛先・CC ・件名・内容を入力します。
5. 送信ボタンを押して電子メールを送信します。

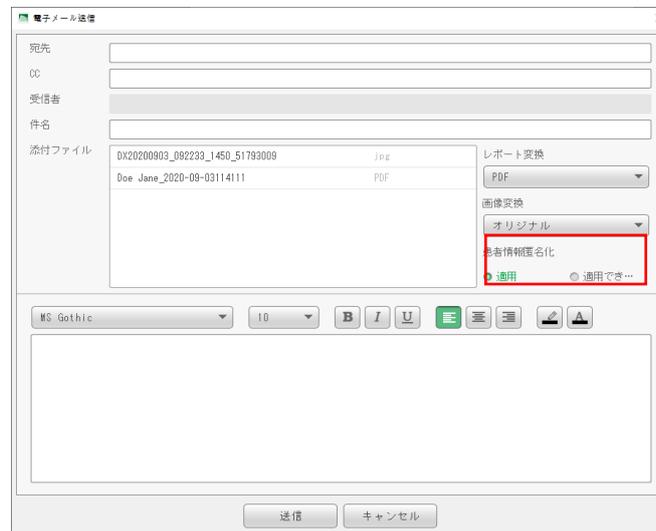


NOTE

- **ファイル名の変更**
ファイル名をダブルクリックするか、『Rename』を選択し、変更できます。ただし、CTファイル場合はファイル名を変更できません。
- **最近の受信者**
最近の受信者リストを表示/非表示にしたり、最近の受信者をリストから自由に削除することができます。
- 『署名編集』ボタンをクリックすると、メールを送信する際に使用する署名を登録できます。登録した署名がある場合は、テキストボックスに該当の署名が反映されて表示されます。

- 患者情報の匿名化

『設定→その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化でメール送信が選択されている場合、メール送信時に以下のようにオプションがアクティブ化します。



当該オプションで『使用』を選択すると、作成が完了したレポートをメールで送信する時に、患者情報を匿名化して送信できます。

6.2 エクスポート

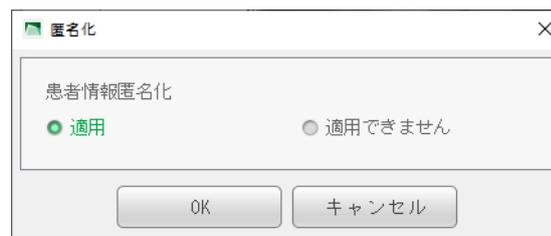
1. 作成が完了したレポートをエクスポートする場合は、ツールバーの『エクスポート』アイコンから『エクスポート』アイコンをクリックします。



2. エクスポートパスを指定するポップアップウィンドウが表示されたら、保存したい位置を選択し、エクスポートしたいファイル形式(PDF・JPG・BMP・TIF・PNG)を選択し、『保存』ボタンを押します。

- 患者情報の匿名化

『設定→その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化でレポート送信が選択されている場合、エクスポート時に以下のようにオプションがアクティブ化します。



当該オプションで『使用』を選択すると、患者情報を匿名化してエクスポートできます。

6.3 レポートの印刷

1. 全般プリンターでレポートを印刷する場合は、ツールバーの『印刷』アイコンをクリックします。



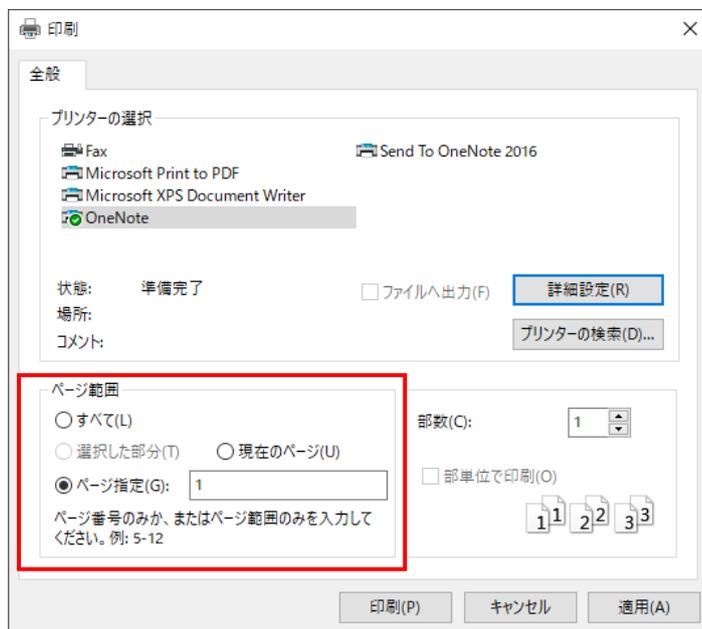
- 患者情報の匿名化

『設定→その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化で印刷が選択されている場合、印刷時に以下のようにオプションがアクティブ化します。

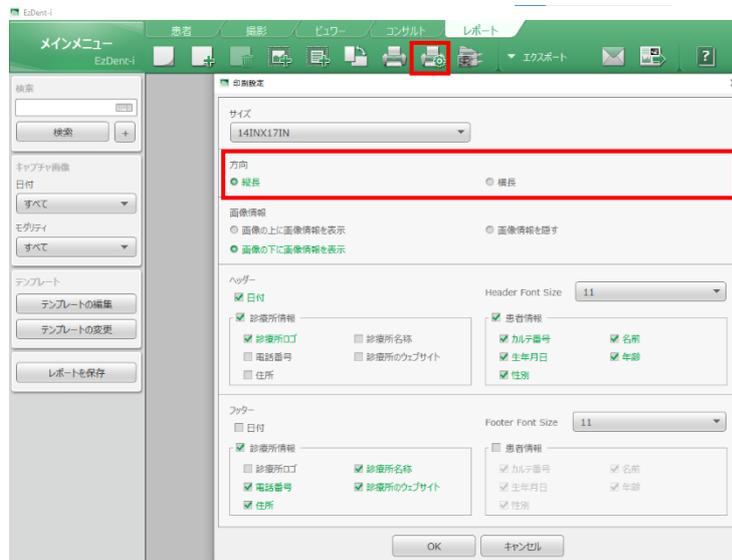


当該オプションで『使用』を選択すると、患者情報を匿名化して印刷できます。

2. この時、システム印刷ダイアログボックスでページ範囲「すべて・現在のページ・ページ指定」を選択し、印刷できます。



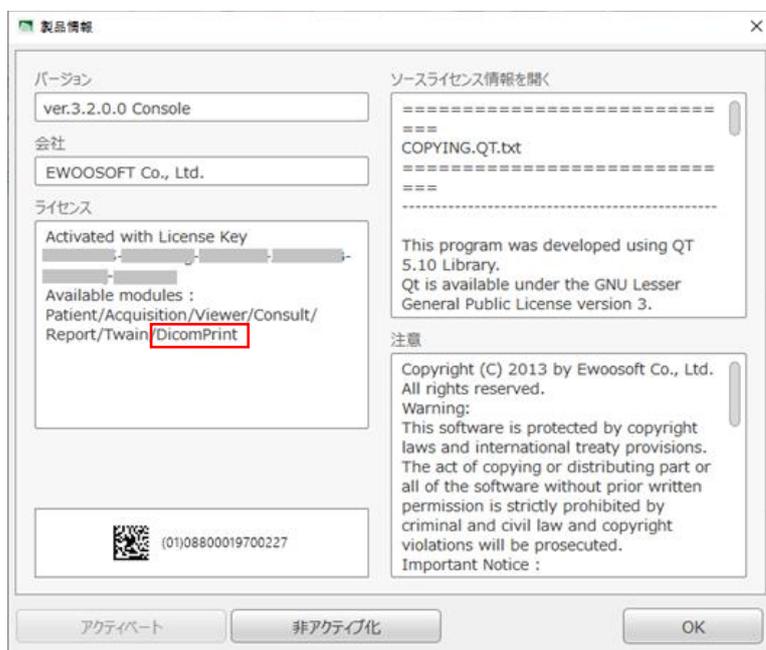
3. 用紙の向きは EzDent-i 自体の設定に従い、システム印刷ダイアログボックスの設定は反映されません。用紙の向きはレポートタブの『プリント設定』アイコンをクリックし、『印刷設定』ウィンドウで設定してください。



『プリント設定』ウィンドウで、ヘッダー/フッター項目を選択しない場合、ヘッダー/フッターエリアに当該項目のアイテムボックスも表示されません。また、画像ボックスとテキストボックスのヘッダー/フッターエリアの自動調整は行われません。

7. DICOM印刷

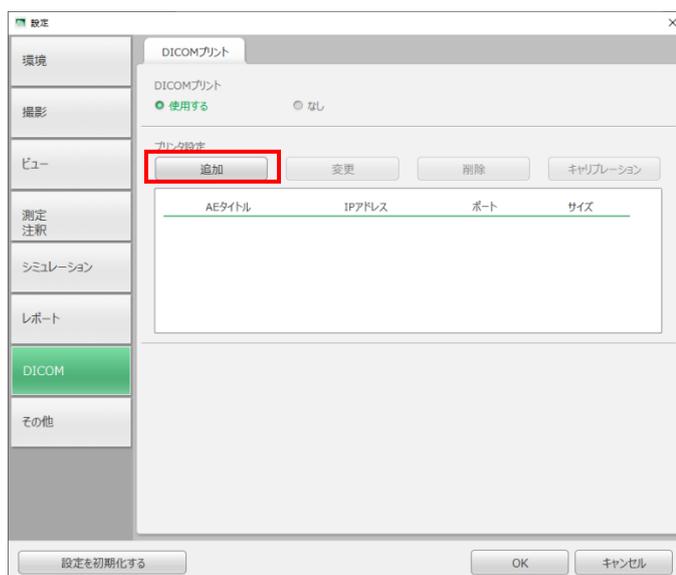
作成したレポートを DICOM で印刷できます。DICOM 印刷機能は別途のモジュールの購入が必要です。現在アクティブ化されているライセンスが、DICOM 印刷機能をサポートしているかどうかは『セッティング』→『製品情報』をクリックして表示される製品情報ウィンドウで確認できます。



7.1 DICOM 印刷設定

DICOM 印刷を使用する前に、プリンターのプロパティを EzDent-i で設定する必要があります。

- 『設定』→『レポート』→『DICOM プリント』タブに移動します。
- 現在所有中の DICOM プリンターのプロパティを印刷設定に入力するために、『新規登録』ボタンをクリックします。



- DICOM プリンターの設定値を、『DICOM プrintの追加』ウィンドウの各項目に入力し、『OK』ボタンをクリックします。

DICOMプリントの追加

ネットワーク設定

AEタイトル IPアドレス

接続チェック ポート

DICOMプリント設定

メディア形式 拡大

宛先 優先度

トリミング 空

OK キャンセル

- 入力した DICOM プリンターが DICOM リストに追加されます。

設定

DICOMプリント

DICOMプリント 使用する なし

プリント設定

追加 変更 削除 キャリブレーション

AEタイトル	IPアドレス	ポート	サイズ
bunny	127.0.0.1	3000	

設定を初期化する OK キャンセル

- 追加した DICOM プリンターをクリックして選択し、『キャリブレーション』ボタンをクリックします。

設定

DICOMプリント

DICOMプリント 使用する なし

プリント設定

追加 変更 削除 **キャリブレーション**

AEタイトル	IPアドレス	ポート	サイズ
bunny	127.0.0.1	3000	

6. 登録したプリンターに関するキャリブレーション値を登録し、『保存』ボタンをクリックします。

ページ校正

サイズ
8INX10IN

関連情報 (mm) 原寸大 (mm)

水平 50.0 :
垂直 50.0 :

テスト印刷

保存 キャンセル

7. 『OK』ボタンをクリックすると、DICOM 印刷設定が完了します。

設定

DICOMプリント

DICOMプリント
 使用する なし

プリンタ設定
追加 変更 削除 キャリブレーション

AEタイトル	IPアドレス	ポート	サイズ
bunny	127.0.0.1	3000	8INX10IN

設定を初期化する OK キャンセル

8. DICOM プリンターの AE タイトルを変更する場合、『変更』ボタンをクリックして内容を変更できます。

7.2 DICOM 印刷

1. 印刷したい画像をレポートに構成させ、ツールバーで『DICOM プリント』アイコンをクリックします。『DICOM プリント』ウィンドウが表示されます。



患者情報の匿名化

『設定』→『その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化で印刷が選択されている場合、Dicom印刷時に以下のようにオプションがアクティブ化します。



NOTE



当該オプションで『使用』を選択すると、患者情報を匿名化して印刷できます。

2. 希望する DICOM プリンターをリストから選択し、メディアタイプ・宛先・トリミング・拡大・優先順位・余白カラーなどの印刷スタイルを選択します。
3. 設定が完了してから、『印刷』ボタンをクリックすると、DICOM の印刷が始まります。



NOTE

登録した DICOM プリンターの中で、キャリブレーション値を登録していない、またはサイズが異なるレポートを印刷する場合は、DICOM で印刷できません。

8. ツールの説明

8.1 主要ツール確認

アイコン	名称	機能の説明
	新しいレポート	現在実行中のレポートを削除し、新しいレポート作成
	ページ追加	現在のレポートに新しいレポートページを追加
	ページ削除	現在選択しているレポートページを削除
	画像ボックスの追加	現在のレポートに新しい画像ボックスを追加
	テキストボックスの追加	現在選択している新しいテキストボックスを追加
	用紙の向き	用紙の向きを縦/横に変更
	印刷	印刷する
	DICOM 印刷	DICOM 画像を印刷する



新規レポートやページ追加時、レポートの Header と Footer の最後のパスを記憶し、レポートが作成されます。

8.2 拡張ツール確認

分類	アイコン	名称	機能の説明
ビュー		横幅揃え	画面を左右いっぱいに表示
		縦幅揃え	画面を上下いっぱいに表示
		ズーム	ページのズーム
エクスポート		電子メール送信	電子メール送信
		エクスポート	ファイルにエクスポート
ETC		印刷設定	印刷を設定する
		ヘッダー/フッター	ヘッダーとフッターを表示、または非表示
		オーバーレイ ON/OFF	入力内容を表示、または非表示

Chapter 8. サービスタブ

1. サービスタブの画面構成	183
2. サービスタブスタート	184
3. 注文の作成	185
4. 注文の管理	189
5. 結果の確認	191

1. サービスタブの画面構成



(株)Ewoosoft から提供するサービスタブを使用するには、当該ライセンスの別途保有が必要です。そのサービスタブのライセンスを保有していない場合には、EzDent-i でサービスタブが表示されません。

サービスタブは、リモート判読ができるWebサービスであるvatech hubと連携しています。vatech hubは、ユーザーとリモート判読サービス企業を仲介するWebサービスです。ユーザーがX線画像の判読を依頼すると、登録された情報を基に専門知識を持つ判読医が画像を判読します。ユーザーは、送信された判読結果(所見書など)を通して、さらに正確かつ素早く患者を診断できます。

※ 注意: このセクションは、vatech hubのユーザーにのみ適用されます。

1.1 ワークスペース

The screenshot shows the vatech hub Order Dashboard. It features a search bar (A), filter options (B), a table of orders (C), and a case preview section (D). The table lists orders with columns for Status, Case ID, Order Date, Patient Name, Modality, and Center. The case preview section shows details for a specific order, including Order Type, Order Center, Time Zone, and Service Hours. The interface also includes a file send fall and file sending progress indicator.

Alarm #	Status #	Case ID #	Order Date #	Patient Name #	Modality #	Center #	Actions
	Seen	A001-20-21063124	09/12/2017	Jake Park	Panorama, Cephalo, CT	Center of SNLH	View Result Confirm
	Seen	A001-20-21063111	09/12/2017	Chris Hong	Cephalo	Center of SNLH	View Result Confirm
	Declined	A001-20-21063093	09/12/2017	James Jung	Panorama, Cephalo, CT	Center of SNLH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21063071	09/12/2017	Scarlet Choi	Panorama	Center of SNLH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21062910	09/12/2017	Chloe Ji	ID Sensor, Cephalo, CT	Center of SNLH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21062230	09/12/2017	Dorothy Kim	ID Sensor	Center of SNLH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21062108	09/12/2017	Patrick Jung	Panorama	Center of SNLH	View Result Confirm
	Ready	A001-20-21062059	09/12/2017	Zoe Yeon	Cephalo	Center of SNLH	View Result Confirm
	Ready	A001-20-21062011	09/12/2017	Jake Park	Johnny Choi	Center of SNLH	View Result Confirm
	Complete	A001-20-21061031	09/12/2017	Jake Park	Danny You	Center of SNLH	View Result Confirm

- Aセクション:患者を検索できるエリアです。
- Bセクション:注文リストを並び替えるためのフィルタエリアです。
- Cセクション:注文リストを確認できます。
- Dセクション:リストから選択した注文書の注文内容と画像をプレビューできます。

2. サービスタブスタート

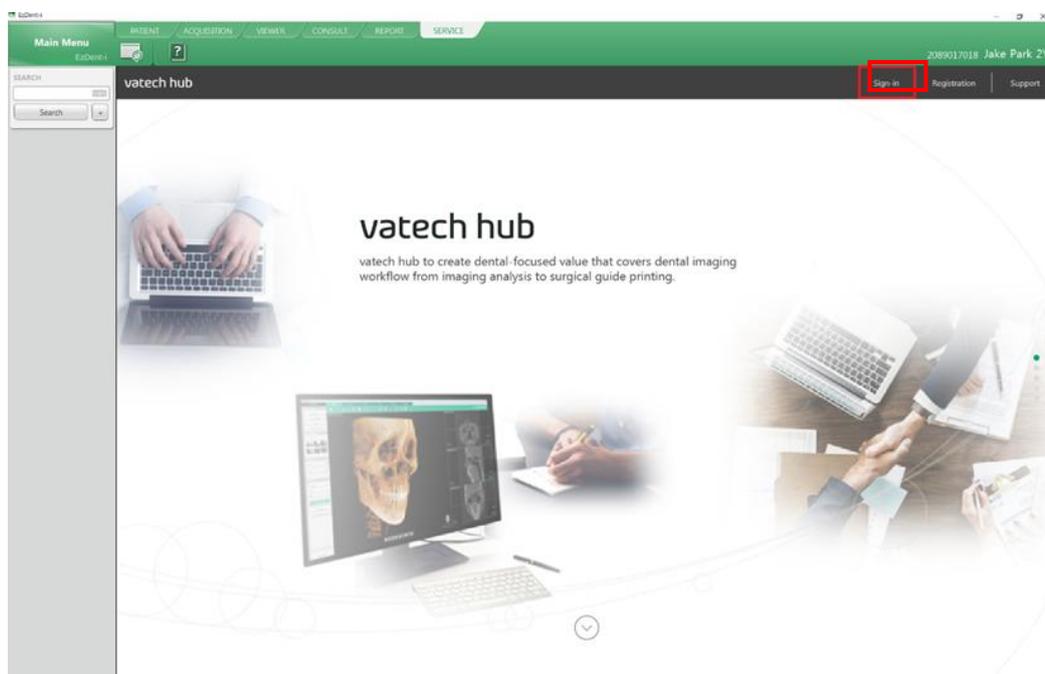


NOTE

サービスタブに連携するvatech hubを使用するには、『メインメニュー→設定→サービス』で連携を設定します。

また、vatech hubから受け取った結果をEzServerに保存するには、TRAgentでvatech hubのID/PWを入力する必要があります。TRAgentはvatech hubの結果を受け取り、EzServerに伝えるプログラムです。

1. サービスタブを選択すると、下図のように vatech hub ウェブビューが表示されます。画面上にある『Sign-in』をクリックします。



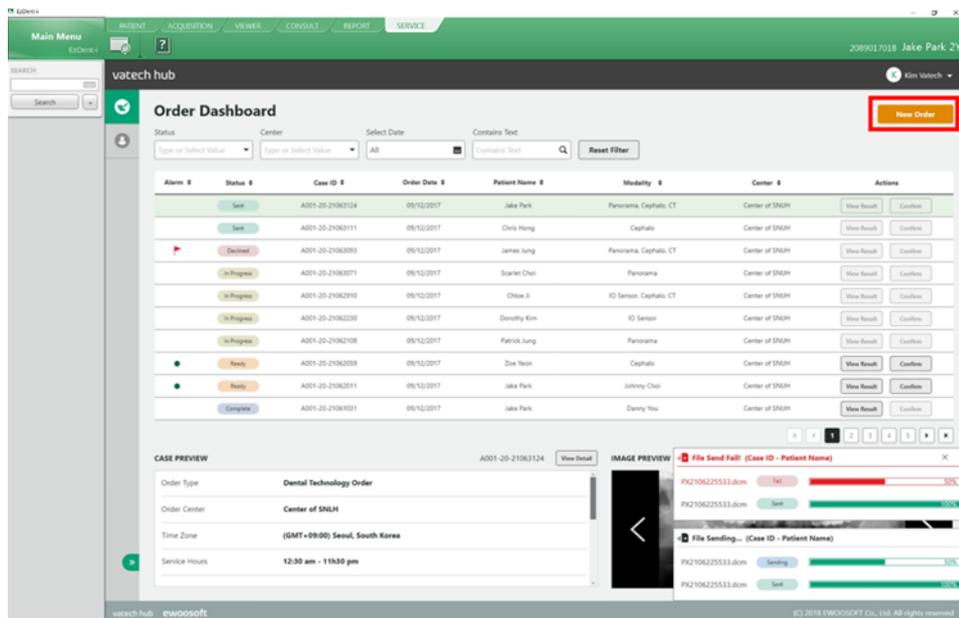
2. 『Sign-in』画面が表示されたら、当該情報を入力後に『ログイン』ボタンをクリックします。もしログイン状態を維持したい場合は、『ログイン状態を維持する』のチェックボックスをクリックします。ただし、サービスタブを実行する前に vatech hub の Web サイトでパスワードが変更された場合、ログイン状態の維持機能が解除されます。

3. 注文の作成

- 画面左でEzDent-iサーバーにある患者情報を検索します。検索機能で患者を別途に指定しない場合、現在選択されている患者に対する注文を作成します。



- 画面右上の『注文作成』ボタンをクリックします。



3. 注文情報を入力できる『新規注文』ウィンドウが表示されます。

✕

New Order

1. ORDER TYPE

Urgent Order ⓘ

Teleradiology Order Dental Technology Order

2. ORDER CENTER

Center

Center Information

3. ORDER FILE

Modality

Attached File

Click to add more files (max 10)

4. PATIENT INFORMATION

Patient Name *

Date of Birth *

Age *

Sex * ▼

5. CLINIC INFORMATION

Reference Doctor *

Clinic Name *

Phone 1

Phone 2

Email Address *

Address

6. ORDER COMMENT

Comment

We have acquired "Consent to release personal information to third parties" from patients

- 注文の分類
リモート判読と技工のどちらかを選択します。選択した注文の分類に応じて、下の項目のアクティブ化状態が異なります。

- 注文センター

判読を依頼するセンターを選択するために『サービス提供者の検索』ボタンをクリックします。下図のように『サービス提供者の検索』ウィンドウが表示されたら、希望する情報を入力し、センターを検索できます。

Center Name	Phone Number	Address	Service Hour	Urgent Hour	Response Time
EWOO Dental Center	+82-31-123-456	Hwaseong-si, Gyeonggi-da, Korea	09:00 - 18:30	14:00 - 16:30	Within 1 hour
VATECH ENG Center	+82-31-123-456	Hwaseong-si, Gyeonggi-da, Korea	09:00 - 18:30	14:00 - 16:30	Within 1 hour
Center of SNUH	+82-31-123-456	Hwaseong-si, Gyeonggi-da, Korea	09:00 - 18:30	14:00 - 16:30	Within 1 hour
Center of THUH	+82-31-123-456	Hwaseong-si, Gyeonggi-da, Korea	09:00 - 18:30	14:00 - 16:30	Within 1 hour
ENG Center	+82-31-123-456	Hwaseong-si, Gyeonggi-da, Korea	09:00 - 18:30	14:00 - 16:30	Within 1 hour
Center of THUH	+82-31-123-456	Hwaseong-si, Gyeonggi-da, Korea	09:00 - 18:30	14:00 - 16:30	Within 1 hour

センター名の左の情報アイコン  をクリックすると、センター紹介文が確認できます。センターを選択し、ウィンドウ下の『確認』ボタンをクリックします。



注文の分類で『緊急注文』チェックボックスを選択すると、サービス企業が指定した時間内に判読結果を受け取ることができ、追加費用が発生します。

- ファイル添付

『アップロード』ボタンをクリックしてファイルを選択します。アップロードする画像のモダリティを選択し、依頼する画像を選びます。ファイル添付が完了すると、モダリティとファイル名が表示されます。



リモート判読は一つのモダリティのみ選択でき、技工は一つの注文で最大10個のモダリティを追加できます。

- 患者情報

アップロードした画像の患者情報を入力します。当該情報はEzDent-iの患者情報が自動で入力され、自動入力された項目はユーザーが変更できます。



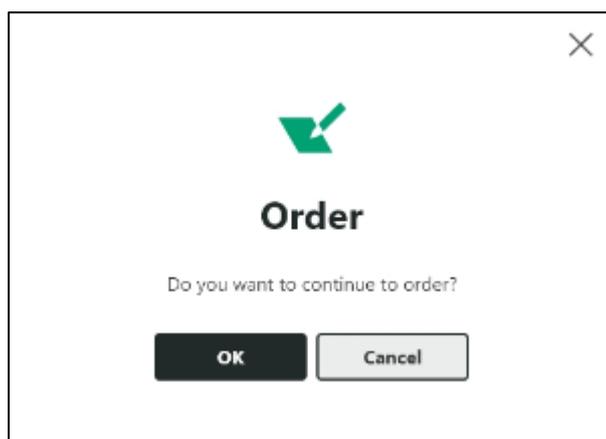
- 患者情報の匿名化
『設定』→『その他』で個人情報取扱い方針機能を『使用』に設定し、患者情報の匿名化でサービスが選択されている場合、新規注文時に患者情報が匿名化され、表示されます。

- クリニック情報
依頼したクリニック情報を入力する項目です。現在ログインしたユーザーの会員情報を基準に自動で入力され、自動入力された項目は変更できません。
- 要請事項
関連要請事項を入力します。



「患者から個人情報取扱い委託同意書を受け取りました。」というチェックボックスを必ずチェックしてください。

- 上記の項目をすべて入力し、画面下にある『受付』ボタンをクリックします。
- 下図のようなメッセージが表示されたら、『確認』ボタンをクリックして注文を完了します。



- 注文が完了するとファイル転送ウィンドウが表示されます。ファイル転送が完了すると、注文リストの状態に「転送完了」と表示された注文が登録されます。



4. 注文の管理

4.1 リストの並び替え

画面上にある各フィルタ条件を選択するか、テキストを入力するとリストが各条件に合わせて並び替えられます。

フィルタ右にある『フィルタの初期化』ボタンをクリックすると、設定したフィルタ条件がすべてリセットされます。

4.2 注文状態の確認

情報が変更されたケースは『●』で、緊急注文は『▶』で通知が表示されます。また、ユーザーが処理状況を確認できるように状態が表示されます。

Alarm	Status	Case ID	Order Date	Patient Name	Modality	Center	Actions
	Sent	A001-20-21063124	09/12/2017	Jake Park	Panorama, Cephalo, CT	Center of SNUH	View Result Confirm
	Sent	A001-20-21063111	09/12/2017	Chris Hong	Cephalo	Center of SNUH	View Result Confirm
▶	Declined	A001-20-21063093	09/12/2017	James Jung	Panorama, Cephalo, CT	Center of SNUH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21063071	09/12/2017	Scarlet Choi	Panorama	Center of SNUH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21062910	09/12/2017	Chloe Ji	IO Sensor, Cephalo, CT	Center of SNUH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21062230	09/12/2017	Dorothy Kim	IO Sensor	Center of SNUH	View Result Confirm
	In Progress	A001-20-21062108	09/12/2017	Patrick Jung	Panorama	Center of SNUH	View Result Confirm
●	Ready	A001-20-21062059	09/12/2017	Zoe Yeon	Cephalo	Center of SNUH	View Result Confirm
●	Ready	A001-20-21062011	09/12/2017	Jake Park	Johnny Choi	Center of SNUH	View Result Confirm
	Complete	A001-20-21061031	09/12/2017	Jake Park	Danny You	Center of SNUH	View Result Confirm

- 転送完了(Sent): 注文データがサーバーに転送完了した状態
- 進行中(In Progress): 判読企業が注文を受諾した状態
- 準備(Ready): 判読が完了し、依頼結果が登録され、ユーザーが確認可能な状態
- 完了(Completed): 登録した依頼結果をユーザーが確認した状態
- 拒否(Declined): 判読企業が注文を拒否した状態

4.3 注文の確認

1. 注文リストで確認する注文をダブルクリックします。

2. 選択した注文の内容が確認できる『注文』画面がポップアップ表示されます。

✕

Order

1. ORDER TYPE

Urgent Order ⓘ

Teleradiology Order Dental Technology Order

2. ORDER CENTER

Center

VATECH ENG Center

Search Center

Center Information

Time Zone	(GMT+09:00) Seoul, South
Service Hours	14:00AM - 16:30PM
Urgent Order	<input checked="" type="checkbox"/>

3. ORDER FILE

Modality Attached File

Panorama PX2106225533.dcm **Browse** Preview

+ Click to add more files (max 10)

4. PATIENT INFORMATION

Patient Name * Date of Birth * Age * Sex *

Scarlet Choi 09/08/1996 22 Female

5. CLINIC INFORMATION

Reference Doctor * Clinic Name *

Ewoo Park Ewoo Dental Clinic

Phone 1 Phone 2

031-1234-5678

Email Address *

ewoo.park@ewoo soft.com

Address

13, Samsung 1-ro 2-gil, Hwaseong-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea

6. ORDER COMMENT

Comment

Comment

We have acquired "Consent to release personal information to third parties" from patients

Order Cancel

3. 当該内容を確認します。



■ 注文のキャンセル

『注文』画面下にある『注文キャンセル』ボタンをクリックすると、注文をキャンセルできます。ただし、注文状態が『転送完了』、または『拒否』状態の場合のみキャンセルできます。

5. 結果の確認

5.1 サービスタブで確認

- 注文リストで結果を確認する注文を選択します。「準備」と「完了」状態の注文のみ結果を確認できます。

#	Alarm	Status	Case ID	Order Date	Patient Name	Modality	Center	Action
01		Sent	A001-20-21063124	09/12/2017	Jake Park	Panorama, Cephalo, CT	Center of SNUH	View Result Confirm
02		Sent	A001-20-21063111	09/12/2017	Chris Hong	Cephalo	Center of SNUH	View Result Confirm
03	🚩	Declined	A001-20-21063093	09/12/2017	James Jung	CT, Panorama, Cephalo	Center of SNUH	View Result Confirm
04		In Progress	A001-20-21063071	09/12/2017	Scarlet Choi	Panorama	Center of SNUH	View Result Confirm
05		In Progress	A001-20-21063910	09/12/2017	Chloe Ji	CT, Cephalo, IO Sensor	Center of SNUH	View Result Confirm
06		In Progress	A001-20-21062230	09/12/2017	Dorothy Kim	IO Sensor	Center of SNUH	View Result Confirm
07		In Progress	A001-20-21062108	09/12/2017	Patrick Jung	Panorama	Center of SNUH	View Result Confirm
08		Ready	A001-20-21062059	09/12/2017	Zoe Yeon	Cephalo	Center of SNUH	View Result Confirm
09		Ready	A001-20-21062011	09/12/2017	Johnny Choi	Panorama	Center of SNUH	View Result Confirm
10		Complete	A001-20-21061031	09/12/2017	Danny You	Cephalo	Center of SNUH	View Result Confirm

- 当該注文の『結果確認』ボタンをクリックします。

View Result

- 下図のように『結果確認』画面が表示されます。ユーザーは添付された結果ファイルと、それについての特記事項が確認できます。ただし、EzDent-iではサーバーに結果ファイルがダウンロードされた状態であり、『ダウンロード』ボタンはすべて非アクティブ化しています。

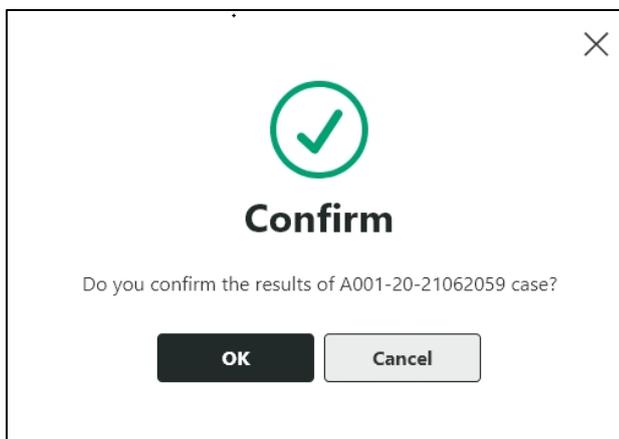
Result View ✕

Result Type	File		
Report	A001-20-21063071.pdf	View	Download
Result Type	File		
Invoice	A001-20-21063072.pdf	View	Download
Result Type	File		
3D Object	A001-20-21063071.stl	View	Download
Result Type	File		
Others	A001-20-21063071.png	View	Download
Comment			
OK			



結果の分類が「3D Object」、「Others」の場合には、ユーザーがViewerを直接インストールしてから、EzDent-iに登録すると結果が確認できます。

4. 結果を確認した後、注文リストで当該ケースの『確認』ボタンをクリックします。下図のように確認メッセージが表示されたら、『確認』ボタンをクリックします。



ユーザーが判読結果を最初に確認した時点を基準に、一週間が経過すると自動で確認処理されます。

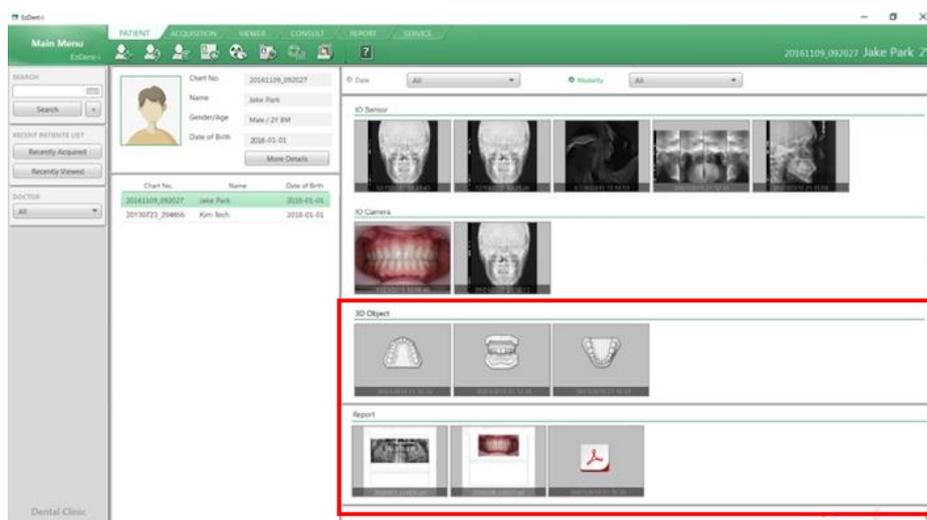
5. 確認処理されたケースの状態は「準備」→「完了」に変更になります。

5.2 患者タブで確認

1. 画面上にある『患者』タブをクリックします。
2. 判読が完了した患者を検索して選択します。

Chart No.	Name	Date of Birth
20161109_092027	Jake Park	09/27/2016
20130723_204655	Kim Tech	02/07/1985

3. 選択した患者の判読結果のサムネイルが、結果タイプ別に区分されて表示されます。当該サムネイルをダブルクリックすると、各ファイルフォーマットに該当するビューアーが実行され、結果を確認できます。



EzDent-iに登録したビューアーがない場合、下図のようなエラーメッセージが表示されます。当該するビューアーをインストールしてください。



Chapter 9. VTFMXLayoutEditor ツール

1. VTFMXLayoutEditor の用途.....	197
2. VTFMXLayoutEditor の実行.....	198
3. FMX 追加・変更・削除.....	199

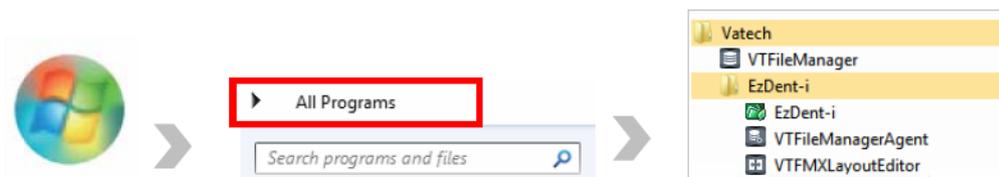
1. VTFMXLayoutEditorの用途

EzDent-i では、撮影タブで口腔内の撮影モダリティ(I/O)の撮影時に使用される FMX のレイアウトを、ユーザーが自由に定義できます。ユーザーが自ら FMX Layout を作成して使用できます。

2. VTFMXLayoutEditorの実行

VTFMXLayoutEditor を実行する方法は次のとおりです。

- Windows スタートプログラムから実行
 1. スタートボタンクリック→すべてのプログラム→Vatech フォルダ→EzDent-i フォルダの順に選択します。



2. EzDent-i フォルダ内の VTFMXLayoutEditor を選択すると、プログラムが実行されます。



- EzDent-i から実行

EzDent-i 実行後、『メインボタン』→『FMX レイアウトエディタ』をクリックし、すぐに実行できます。



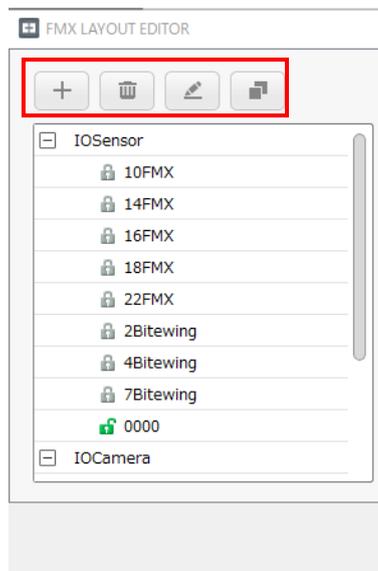
3. FMX追加・変更・削除

VTFMXLayoutEditor を使用して新しい FMX Layout を作成し、変更・削除する方法は次のとおりです。

3.1 新規 FMX 作成

左のレイアウトリスト上にあるボタンから新規レイアウトの追加・変更・削除ができます。各ボタンの機能と使用方法は次のとおりです。

アイコン	アイコン名	説明
	レイアウトを追加する	新規レイアウト作成
	レイアウトを削除する	選択したレイアウトの削除
	レイアウトの名前を変更	選択したレイアウト名を変更
	レイアウトをコピーする	選択したレイアウトをコピーし、新規レイアウトに追加



1. Default で提供されたレイアウトの中から任意のレイアウトを選択し、『レイアウトの追加』ボタンをクリックします。レイアウト追加ウィンドウが表示されます。
2. 当該レイアウトを保存するファイルパスと FMX の名称を入力し、『OK』ボタンをクリックします。



3. ユーザーがマウントを追加・方向転換・縮小・削除で自由にレイアウトを作成します。

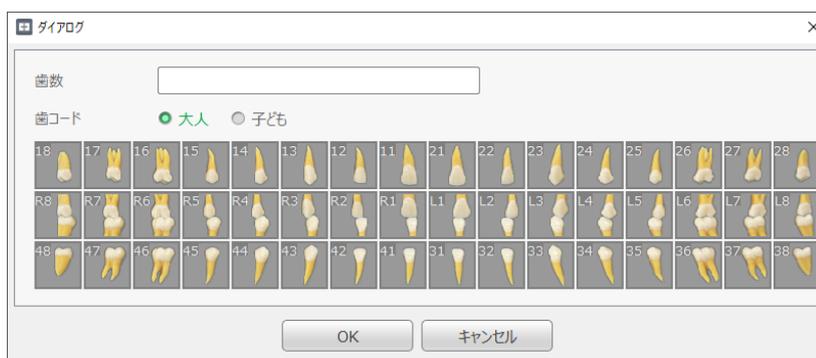
アイコン	アイコン名	説明
	横マウント追加	横に長い長方形のマウントを追加
	縦マウント追加	縦に長い長方形のマウントを追加
	左に 90°回転	マウント方向転換
	右に 90°回転	マウント方向転換
	マウントサイズの拡大	全体マウントサイズを大きく
	マウントサイズの縮小	全体マウントサイズを小さく
	選択したマウントの削除	選択したマウントの削除
<input checked="" type="checkbox"/> グリッドの表示	グリッドの表示	グリッドの表示/非表示
<input checked="" type="checkbox"/> グリッドにスナップ	グリッドにスナップ	方眼紙の目盛りに合わせてマウント移動

- マウント(Mount)とは？

FMX Layout を構成するボックスの一つをマウントと呼びます。



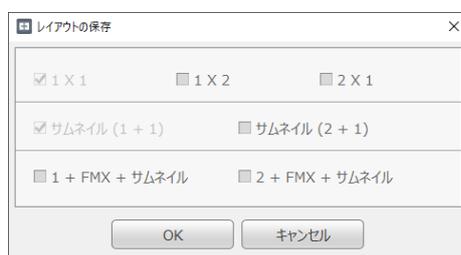
4. マウントに歯数情報を指定する場合、マウントをダブルクリックします。『ダイアログ』ウィンドウで歯数をクリックして選択し、『OK』ボタンをクリックします。



5. 函数が追加されたら『FMX LAYOUT EDITOR』ウィンドウの『保存』ボタンをクリックします。



6. 『レイアウトの保存』ウィンドウが表示されたら、『OK』ボタンをクリックします。



7. 追加したレイアウトは FXM LAYOUT EDITOR リストに表示され、マウスカーソルを乗せると当該レイアウトが属する Set がツールチップで表示されます。

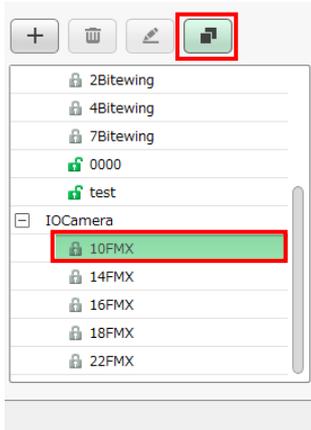


8. レイアウトを保存した後、撮影タブの『レイアウトの変更』ウィンドウで『レイアウトマネージャー』を実行すると、レイアウトリストに保存したファイル名での追加が確認できます。

3.2 既存の FMX レイアウトの変更

選択したレイアウトをコピーし、新規レイアウトを作成します。レイアウトを新しく作成するのが難しい場合、既存のレイアウトを変更して活用できます。

1. 既存の FMX Layout を選択し、『レイアウトコピー』ボタンをクリックします。



2. 当該レイアウトを保存するファイルパスと FMX の名称を入力し、『OK』ボタンをクリックします。
3. 選択したレイアウト名が変更され、追加されました。レイアウトのマウントを自由に変更し、『保存』・『閉じる』ボタンをクリックします。撮影タブの『レイアウトの変更』に追加したレイアウトが表示されます。

3.3 FMX レイアウト名変更

FMX レイアウトを選択し、『レイアウトの名前を変更』ボタンをクリックすると、レイアウト名が変更できます。

左の FMX レイアウトリストでレイアウトを選択すると、右のワークスペースで当該レイアウトを変更できます。

3.4 FMX レイアウトの削除

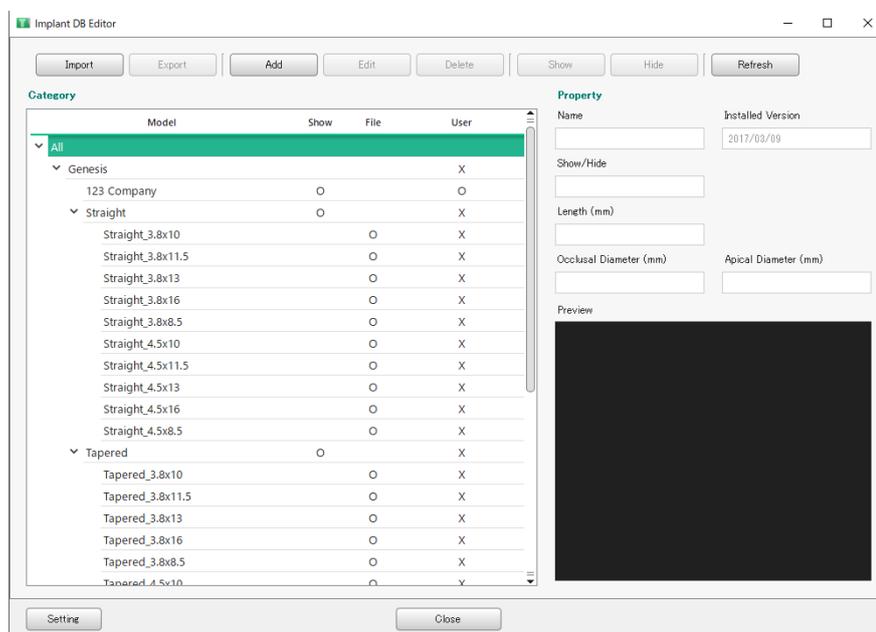
FMX レイアウトを選択し、『レイアウトを削除する』ボタンをクリックすると当該レイアウトを削除できます。

Chapter 10. インプラントデータベースエディタ

1. インプラントデータベースエディタの用途.....205
2. インプラントデータベースエディタの実行.....206
3. インプラントデータベースエディタの機能.....207

1. インプラントデータベースエディタの用途

インプラントデータベースエディタを通じて、EzDent-i がデフォルトとして提供するインプラント モデル以外に、会社から提供されたインプラント情報をユーザーが直接 DB に登録でき、登録したインプラントを編集・削除できます。

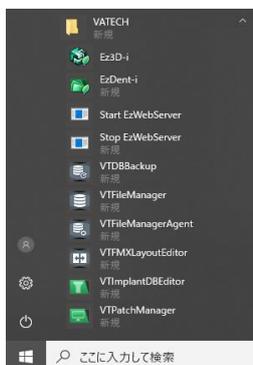


ImplantDBのインストール方法は「Chapter 1.EzDent-iのインストール」をご参照ください。

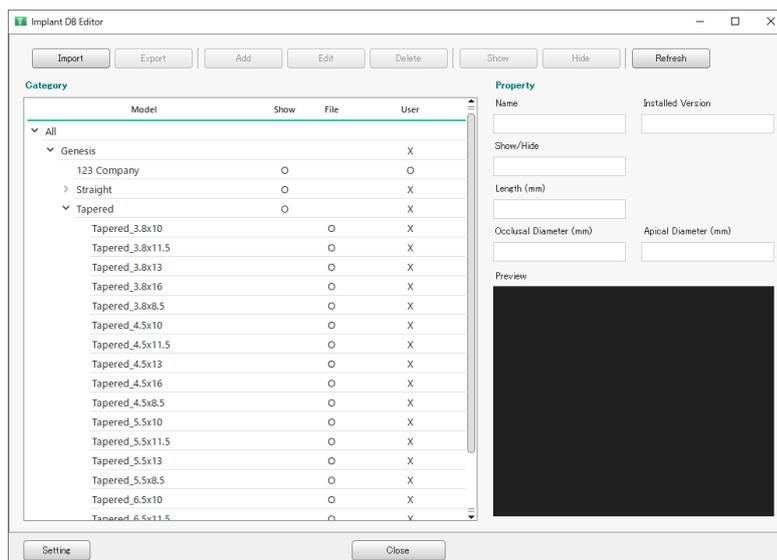
2. インプラントデータベースエディタの実行

インプラントデータベースエディタを実行する方法は次のとおりです。

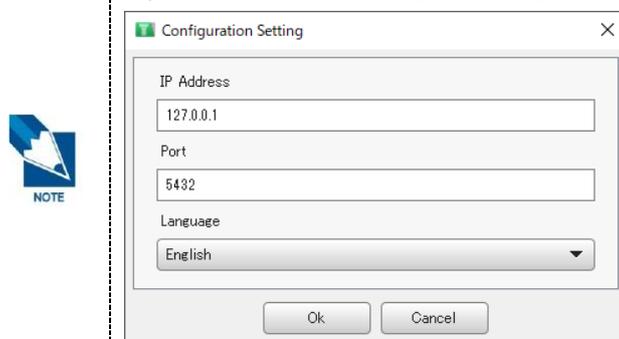
1. デスクトップ画面の Windows ボタンを押して、プログラム検索ウィンドウをアクティブ化します。
2. VATECH フォルダ下位の VTImplantDBEditor を実行します。



3. 次のように ImplantDB Editor が実行されます。



ImplantDB Editor の実行後、『OK』ボタンをクリックすると IP・ポート・言語設定ができます。

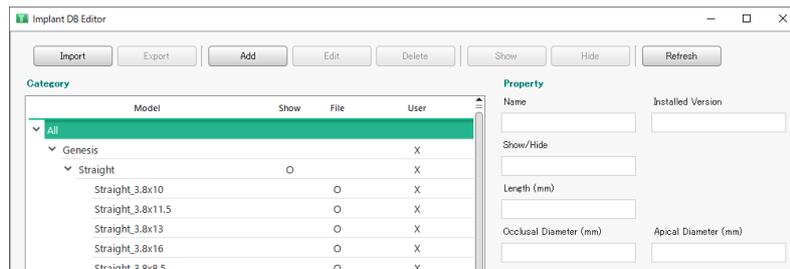


3. インプラントデータベースエディタの機能

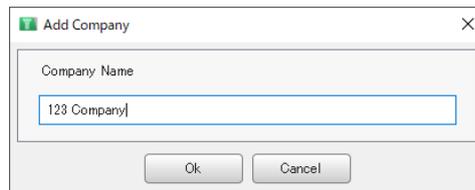
3.1 追加

■ 会社の追加

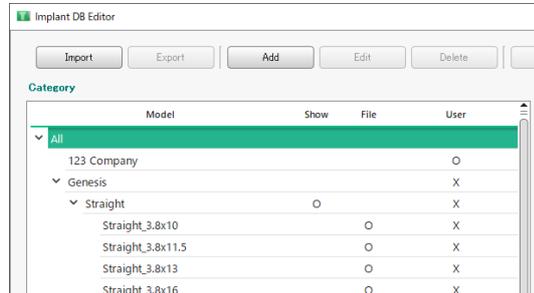
1. カテゴリの最も上位段階の『ALL』をクリックすると、『追加』ボタンがアクティブ化し、会社を追加できます。



2. 『追加』ボタンを選択し、希望する会社名を入力して『OK』ボタンを押します。

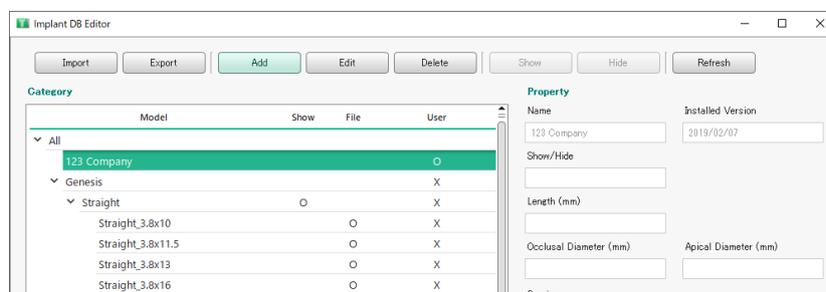


3. 入力した会社名がリストに追加されたことが確認できます。

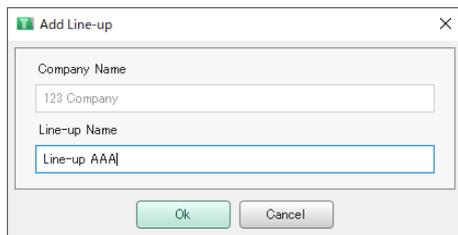


■ ラインアップ追加

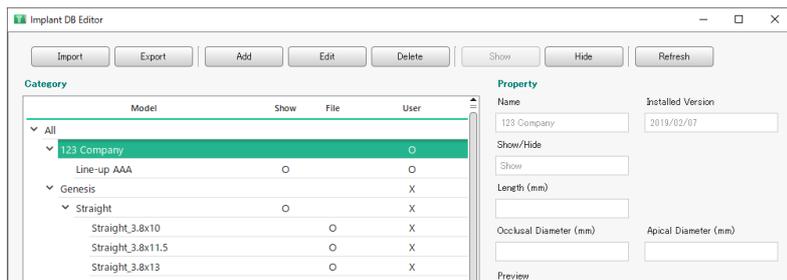
1. ラインアップを追加したい会社を選択すると、『追加』ボタンがアクティブ化します。



- 『追加』ボタンを選択し、希望するラインアップ名を入力します。



- 選択した会社の下に、入力したラインアップが追加されたことが確認できます。

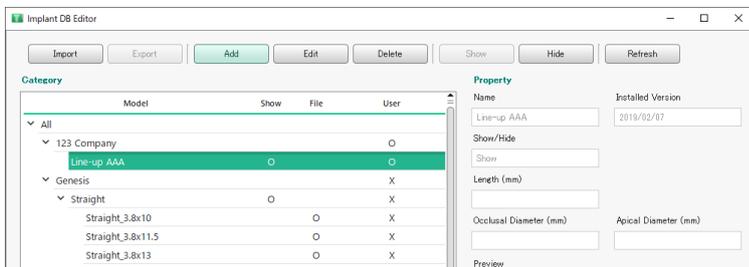


■ インプラントモデルの追加

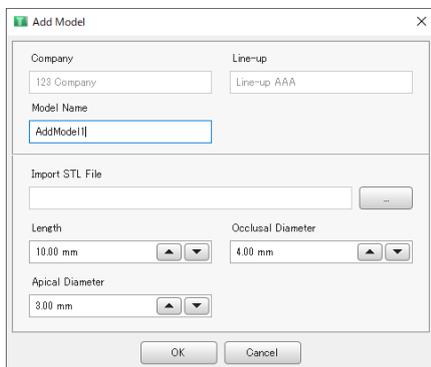


追加するインプラントモデルは、必ず認証機関から承認を受けた製品である必要があります。会社から受け取ったインプラントモデルの承認状態を確認し、患者の安全のために検証済みのモデルのみを使用する責任はユーザーにあります。

- インプラントモデルを追加したいラインアップを選択すると、『追加』ボタンがアクティブ化します。

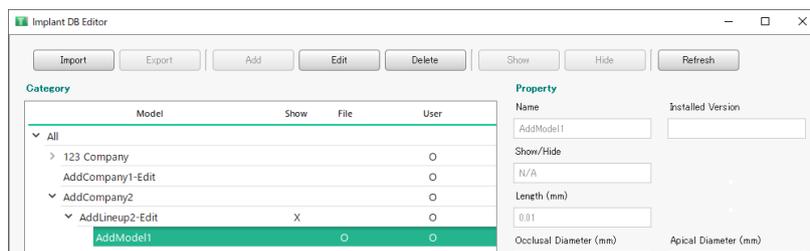


- 追加ボタンを選択し、インプラントモデル名を入力します。



- 『Import STL File』の『…』ボタンをクリックし、希望する STL ファイルを読み込みます。

- 『OK』ボタンをクリックすると、当該 STL ファイルが指定した会社・ラインアップの下位に追加されたことが確認できます。



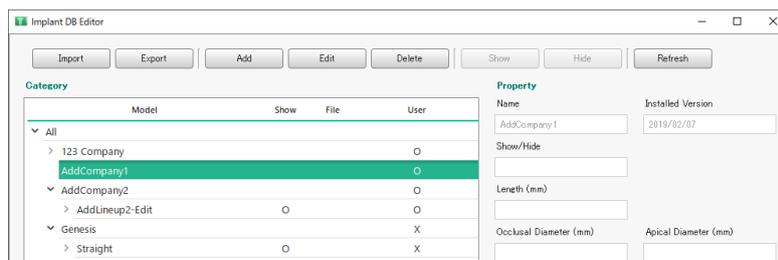
3.2 編集



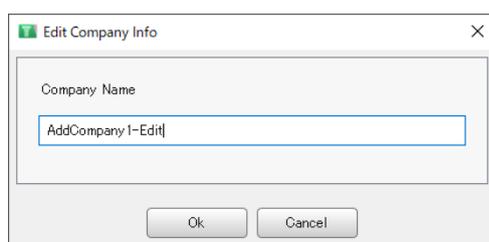
基本的に提供される会社・ラインアップ・インプラントモデルは編集ができず、『編集』ボタンがアクティブ化されません。

■ 会社の編集

- ユーザーが追加した会社を選択すると『編集』ボタンがアクティブ化します。



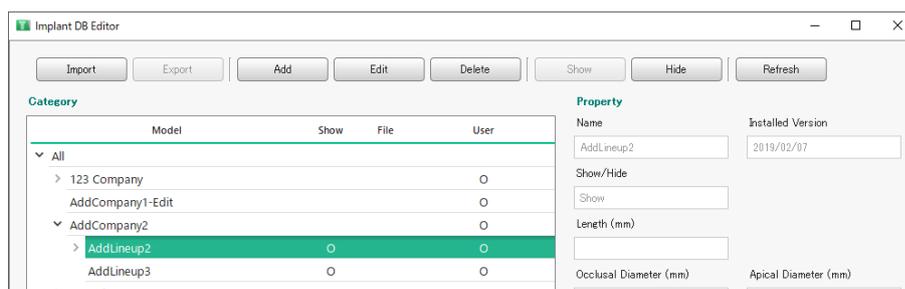
- 変更を希望する会社名を入力し、『OK』ボタンを押します。



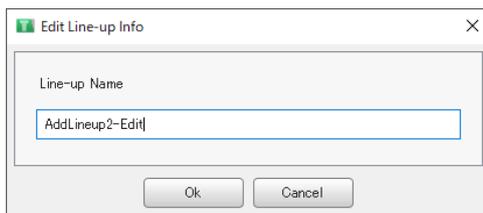
- 会社名がアップデートされ、表示されます。

■ ラインアップ編集

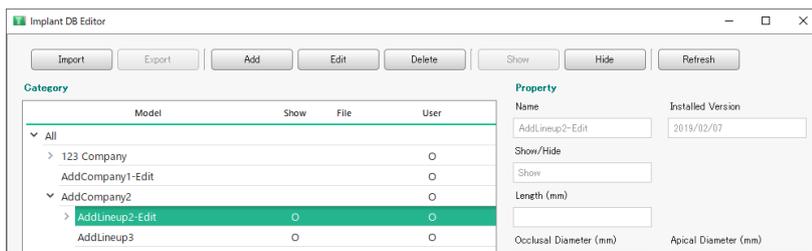
- ユーザーが追加したラインアップを選択すると『編集』ボタンがアクティブ化します。



2. 変更を希望するラインアップ名を入力し、『OK』ボタンを押します。

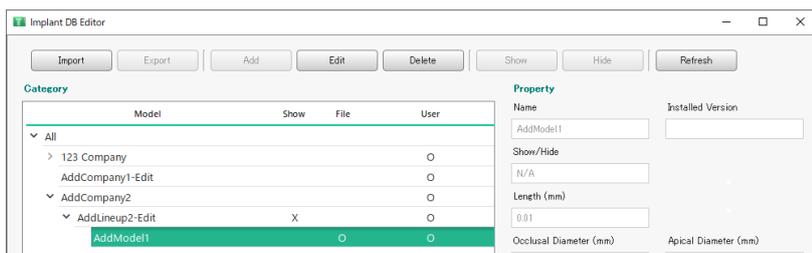


3. ラインアップ名がアップデートされ、表示されます。

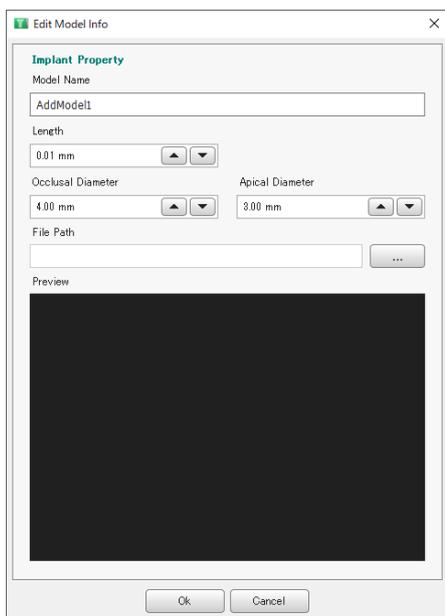


■ インプラント編集

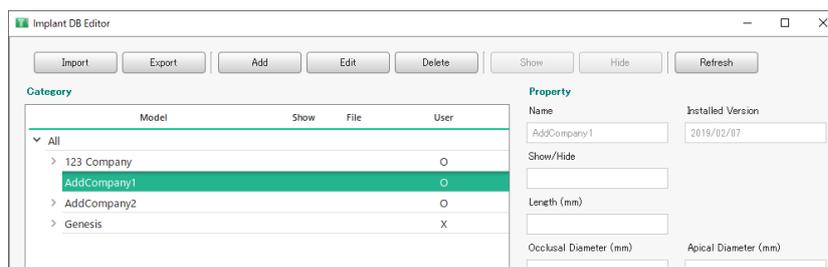
1. ユーザーが追加したインプラントモデルを選択すると『編集』ボタンがアクティブ化します。



2. 編集ボタンをクリックすると、モデル情報の変更ウィンドウが表示されます。



3. 変更した内容がインプラントデータベースエディタダイアログのプロパティに反映されます。



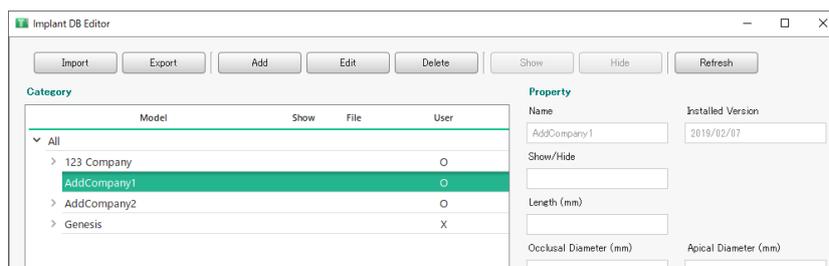
3.3 削除



基本的に提供される会社・ラインアップ・インプラントモデルは編集ができず、『削除』ボタンがアクティブ化されません。

■ 会社削除

1. ユーザーが追加した会社を選択すると『削除』ボタンがアクティブ化します。



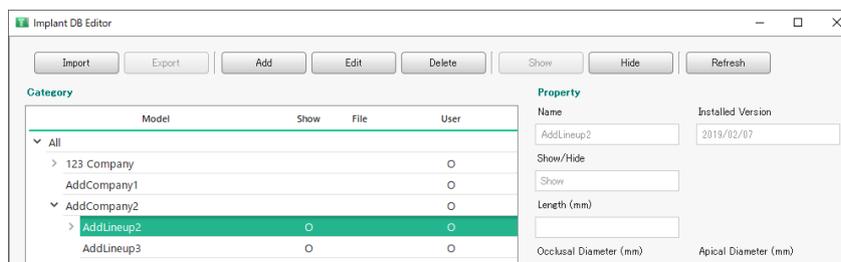
2. 警告ウィンドウを確認し、『OK』ボタンを押します。



3. 当該会社名がリストから削除されます。

■ ラインアップ削除

1. ユーザーが追加したラインアップを選択すると『削除』ボタンがアクティブ化します。



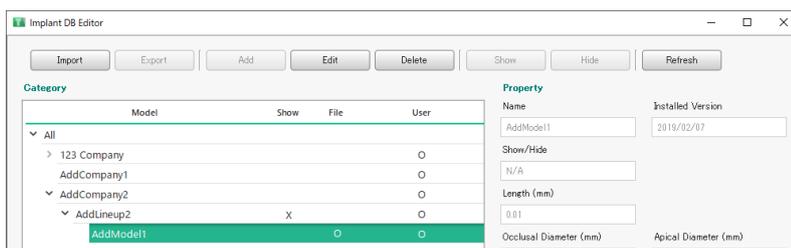
- 警告ウィンドウを確認し、『OK』ボタンを押します。



- ラインアップ名がリストから削除されます。

- インプラント削除

- ユーザーが追加したインプラントモデルを選択すると『編集』ボタンがアクティブ化します。



- 警告ウィンドウを確認し、『OK』ボタンを押します。



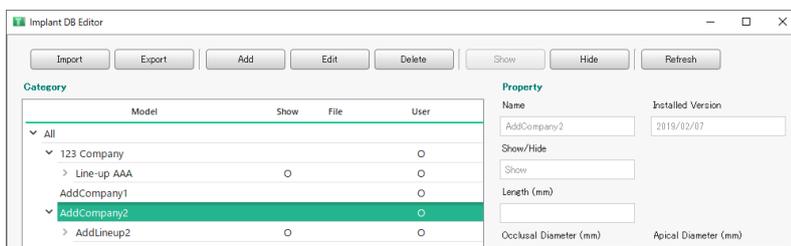
- 当該モデルがリストから削除されます。

3.4 インポート/ エクスポート

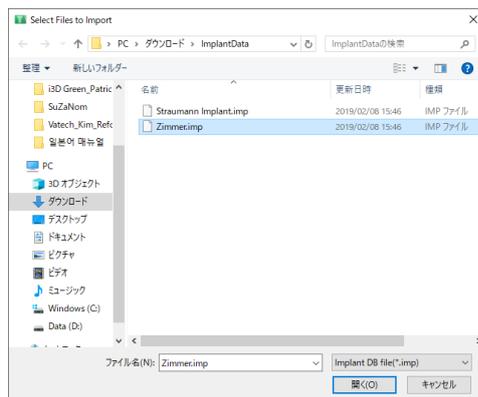
インプラントデータベースエディタではユーザーが指定した会社・ラインアップ・モデルをインプラントデータベース(.imp)ファイル形式で一緒にエクスポートでき、ユーザーのコンピュータに保存されているインプラントデータベースファイルをインポートできます。

- インポート

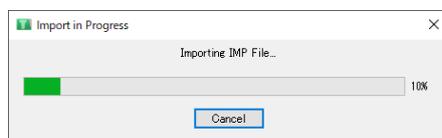
- ImplantDB Editor でインポートボタンをクリックします。



- インポートするファイルを選択し、『開く』ボタンをクリックします。



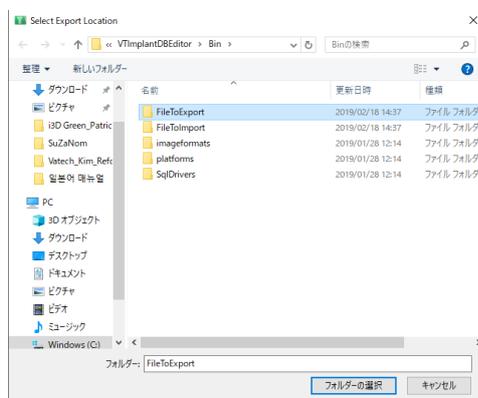
- IMP ファイルのインポートが完了するまで待機します。



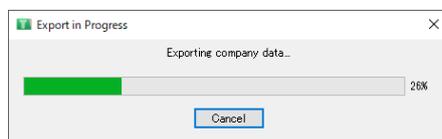
- インポートした IMP ファイルがカテゴリに追加されます。

- エクスポート

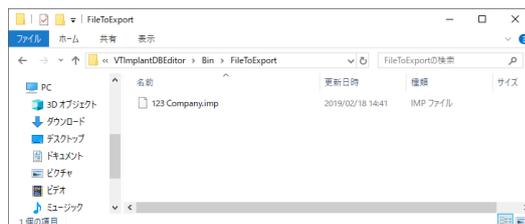
- カテゴリをチェックし、『エクスポート』ボタンを選択します。
- エクスポートする位置を選択し、『フォルダの選択』ボタンを押します。



- エクスポートが完了するまで待機します。



- 保存したフォルダに .imp 形式のファイルが作成されます。



3.5 表示/ 非表示

インプラントデータベースエディタダイアログ上の表示/非表示ボタンを利用し、希望する会社、またはラインアップの表示/非表示設定ができます。また、当該設定にしたがって当該会社/ラインアップ情報がインプラント挿入ウィンドウに表示/非表示となります。



Chapter 11. TRAgent

1. TRAgent の使用217

1. TRAgentの使用

TRAgent は、vatech hub から依頼結果を受け取り、EzServer に伝えるプログラムです。

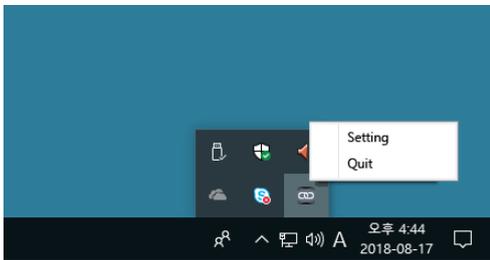
※ 注意: このセクションは、vatech hub のユーザーにのみ適用されます。

1.1 スタート

TRAgentはコンピュータ起動時に自動で実行します。

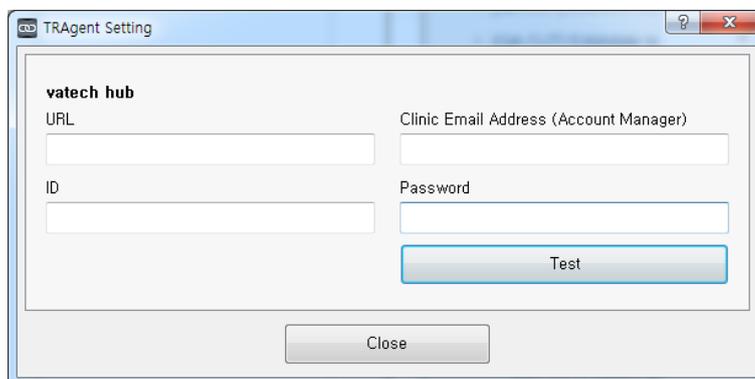
1.2 終了

Tray Iconをクリックすると表示されるポップアップメニューで『Quit』をクリックします。



1.3 Setting

Tray Iconをクリックすると表示されるポップアップメニューで『Setting』をクリックします。



- Vatech hub: Vatech hubのURL及びアカウント情報を入力し、Connection Checkのために『Test』ボタンをクリックします。

著作権© 2022 (株)Ewoosoft

EzDent-i ソフトウェアに含まれているすべてのソフトウェアプログラム・資料ファイル・データ・マニュアル・その他文書の内容などは、著作権法と大韓民国コンピュータプログラム保護法により保護されています。

製品名	2等級歯科画像転送モダリティソフトウェア
モデル名	EzDent-i
バージョン	3.3
Serial No.	製品に記載
製造企業名	(株)Ewoosoft
アドレス	京畿道華城市三聖1路2キル13、Vatechネットワークス棟8階801号
製造許可番号	製認 13-883号
製造番号	製品に記載
製造年月	製品に記載
包装単位	1 Set
本製品は医療モダリティです。	

EzDent-i

バージョン : 3.3